

2023年度
日本赤十字看護大学
教育評価・学生生活調査報告書

本調査の概要

■ 調査テーマ : 教育評価・学生生活調査

■ 調査目的

1. 教育評価

カリキュラムおよび学生への学習効果について学生からの評価を得て、実態を把握するとともに教育評価の基礎資料とする。

2. 学生生活調査

学生生活全体に関する実態を把握するとともに大学としての支援を検討する資料とする。

■ 調査対象・調査方法

2023年度に在籍していた看護学部（編入含む）、さいたま看護学部の学生。

WEB調査（Microsoft Forms）

■ 調査時期

2023年11月～2024年4月

■ 調査項目

調査内容は、A. 教育等に関する調査、B. 学生生活全般に関する調査で構成される。

A. 教育等に関する調査

学部ごとカリキュラムが異なるため、質問数、質問内容は学部ごとに若干異なる。それぞれの項目数については、以下の表で示した通りである。

表 I. 教育等に関する調査 項目内訳

2022年度在学学生	教育等評価調査 総項目数	身に着けた能力の 項目	カリキュラムに関する項目	満足度に関する 項目
看護学部1～4年生（編入含む）	66	25	10	31
さいたま看護学部1～4年生	68	27	10	31

B. 学生生活全般に関する調査 47項目

住居、収入、支出、アルバイト、課外活動、睡眠時間、学修時間、勉強の仕方、通学時間、食生活、悩みや不安、大学生活について、卒業後の進路、等

■ 回答数

調査対象である両学部学生総数939名（看護学部585名、さいたま看護学部354名）中、計721名（看護学部383名、さいたま看護学部338名）（76.78%）が調査に回答した。回答者数の詳細は、以下の通りである。

学年	看護学部		さいたま看護学部	
1年生	77名	56.6%	88名	95.7%
2年生	62名	41.3%	82名	94.3%
3年生+編入生	123名（うち編入生10名）	83.7%	86名	97.7%
4年生+編入生	121名（うち編入生1名）	79.6%	82名	94.3%
計	383名		338名	

●目次●

内容

A 教育等に関する調査.....	6
1 現時点であなたが身につけている能力.....	6
1-1 一人ひとりの人間を総合的に理解することができる.....	6
1-2 他の人たちと相互に支え合い、成長し合う関係を築くことができる.....	6
1-3 異なる文化、価値観を持つ人々を、かけがえのない人間として尊重する態度を持つことができる.....	7
1-4 さまざまな人との間に支援に向けた関係を深めることができる.....	7
1-5 人間の尊厳と権利を倫理的な視点から擁護する上での課題に気づくことができる.....	8
1-6 一人ひとりの人間の意思と独自性を尊重し守ることができる.....	8
1-7 看護を受ける人の成長発達や生活の場に応じた看護に必要な知識・技術を用い、実践することができる.....	9
1-8 看護を受ける人の持つ力を活かして実践することができる.....	9
1-9 健康レベルに応じた諸課題への対処に必要な知識・技術を用い、実践することができる.....	10
1-10 看護を受ける人の安全を守るための配慮ができる（さいたま看護学部）.....	10
1-11 自らの行った実践を振り返り、評価することができる.....	11
1-12 災害等の危機的な状況下での人々の健康問題や支援活動に関心を持つことができる.....	11
1-13 自らを取り巻く状況で取り組むべき課題を見出すことができる.....	12
1-14 自らが設定した諸課題の情報を適切に収集し、分析することができる.....	12
1-15 自らが設定した諸課題の解決に向けて、根拠に基づいて解決策を検討することができる.....	13
1-16 新たな課題に関心を持ち、解決に向けて主体的に取り組むことができる.....	13
1-17 変化する保健医療福祉システムにおける看護職及び他の専門職の機能と役割を理解することができる.....	14
1-18 他の関係職種との情報交換や問題解決にむけた連携に参加することができる.....	14
1-19 地域社会（コミュニティ）のなかで、健康上の諸課題に対応するためにネットワークの一員として参加することができる.....	15
1-20 専門職として成長し続けるための自己の課題を見出すことができる.....	15
1-21 国内外の社会変化に関心を持ち、看護専門職として学び続ける態度を持つことができる.....	16
1-22 専門職を目指す者同士で共に教え学びあい、成長し合う姿勢を持つことができる.....	16
1-23 人々の生活の場であるコミュニティに関心を向けることができる（さいたま看護学部）.....	17
1-24 コミュニティにおける健康上の諸課題とその背景を理解することができる（さいたま看護学部）.....	17
1-25 国内外の健康上の諸課題とその背景を理解することができる（看護学部）.....	17
1-26 看護の専門性を活かした国際貢献に関心と意欲を持つことができる（看護学部）.....	18
1-27 看護の専門性を活かしたコミュニティへの貢献に関心と意欲を持つことができる（さいたま看護学部）.....	18
1-28 変動する社会や種々の状況下での人々の健康へのニーズに関心を持つことができる.....	18
1-29 より良い社会の実現にむけて、新たな看護を創り出そうとする姿勢を持つことができる.....	19
2 本学のカリキュラムに対するあなたの考え.....	20
2-1 高等学校での学習を補ったり、大学での学習へとつないでいくことを考えたカリキュラムである.....	20
2-2 幅広い視点から創造的な思考力を育成するようなカリキュラムである.....	20
2-3 医療の高度化や看護ニーズの多様化等に対応する専門的能力を育成するようなカリキュラムである.....	21

2-4	エビデンスに基づいた看護を展開できる力を育成するようなカリキュラムである.....	21
2-5	さまざまな健康レベルや場に応じた課題に対応できる実践能力を育成するようなカリキュラムである.....	22
2-6	国内外の災害救援・救護や国際開発協力等における実践能力を育成するようなカリキュラムである（看護学部）.....	22
2-7	コミュニティで生きる人々の視点に基づいた看護支援を行うための能力の育成に向けてコミュニティアプローチを系統的に学ぶことができるカリキュラムである（さいたま看護学部）.....	22
2-8	看護職（保健師・看護師）に共通する地域社会（コミュニティ）の中で連携して実践していくための能力を育成するようなカリキュラムである.....	23
2-9	学習段階に応じたレベル別の看護学実習を展開するようなカリキュラムである.....	23
2-10	一人ひとりの人間がもつ固有の価値を認めて関係を築く能力と人間の尊厳と権利を擁護する能力を育成するようなカリキュラムである.....	24
2-11	健康レベルに応じた看護実践能力に加え、急性期化する医療機関での看護実践能力を育成するようなカリキュラムである（看護学部）.....	24
2-12	健康レベルに応じた看護実践能力に加え、人々の生活の場であるコミュニティでの看護実践能力を育成するようなカリキュラムである（さいたま看護学部）.....	24
3	学生生活における満足度.....	25
3-1	学生一人一人を尊重してくれる教員が多い.....	25
3-2	授業以外でも、学生の質問や意見に適切に対応してくれる教員が多い.....	25
3-3	人間的に魅力があり、尊敬できる教員が多い.....	26
3-4	学問分野の専門家として優れた教員が多い.....	26
3-5	教員による個別指導が充実している.....	27
3-6	クラス担当教員による支援に満足している／学生担当教員による支援に満足している.....	27
3-7	事務職員の対応や支援に満足している.....	28
3-8	保健室による支援に満足している.....	28
3-8	学生相談室による支援に満足している.....	29
3-9	課外活動(部活・サークル・学園祭)に関する支援に満足している.....	29
3-10	図書館の開館時間は適切である.....	30
3-11	図書館の蔵書の種類や冊数は十分である.....	30
3-12	図書館の文献検索システムは充実している.....	31
3-13	図書館に関する情報の案内（メールによる情報提供等）は充実している.....	31
3-14	図書館の利用に関する支援に満足している.....	32
3-15	情報処理室あるいは視聴覚教室の開室時間は適切である.....	32
3-16	情報処理室あるいは視聴覚教室のパソコン・印刷機の処理能力や使えるアプリケーションは十分である.....	33
3-17	情報処理室あるいは視聴覚教室で利用できるパソコンの台数は十分である.....	33
3-18	実習室の教育器材は充実している.....	34
3-19	実習室は学習したい時間に自由に学習できる.....	34
3-20	生協や食堂または自動販売機（食品販売機）のサービスに満足している（看護学部）.....	35
3-21	自動販売機（食品販売機）、生協無人販売所のサービスに満足している（さいたま看護学部）.....	35
3-22	ハラスメント防止のための大学の体制や支援に満足している.....	35
3-23	国際交流・留学に関する支援に満足している.....	36
3-24	就職・キャリアに関する支援に満足している.....	36
3-25	奨学金制度など経済的なサポートが充実している.....	37
3-26	国家試験に関する支援に満足している.....	37

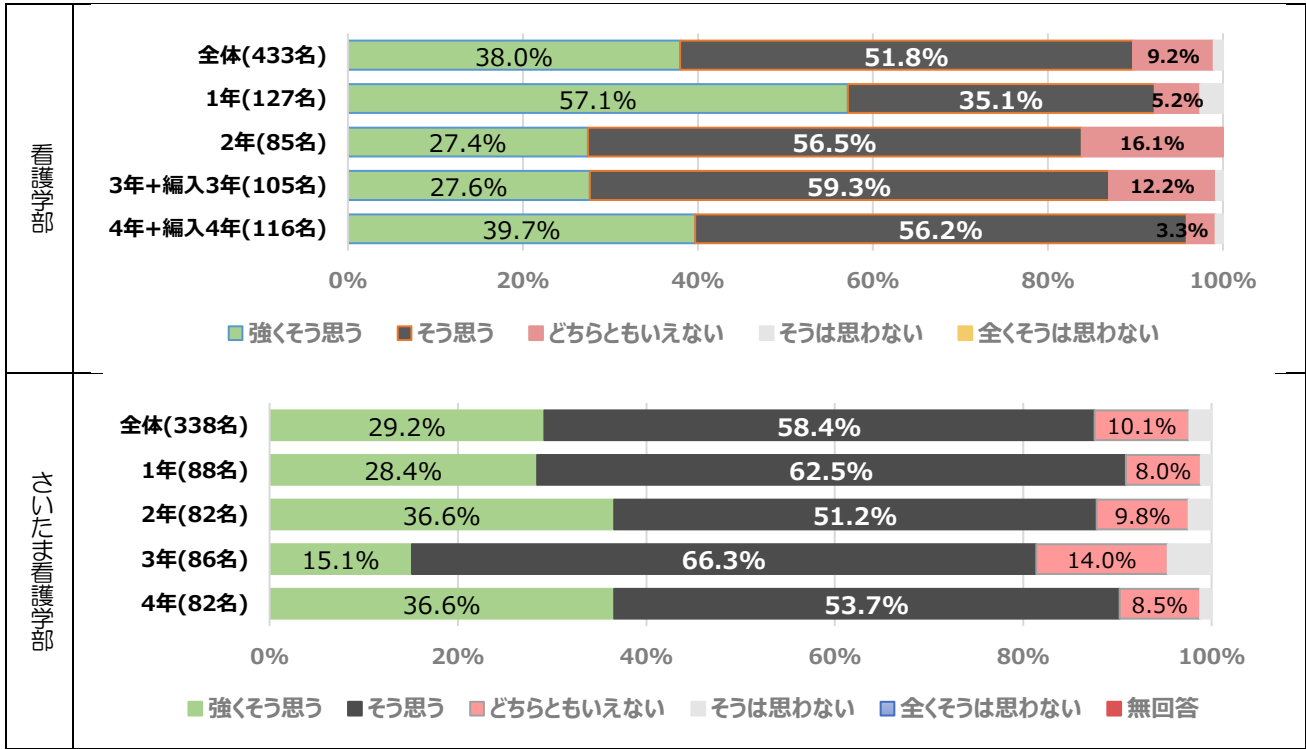
3-27	学生からの要望を即時的に聞き取るシステム（目安箱）に満足している	38
3-28	一般的に施設・設備・教育器材に満足している	38
3-29	一般的に学生生活に満足している	39
3-30	本学に入学してよかったと思う	39
3-31	自分の成長を実感している	40
B	学生生活全般に関する調査	41
1-2	アルバイトによる収入	41
1-3	アルバイトの目的はなんですか。	42
1-4	あなたは、現在、課外活動（学内・学外）に参加していますか。	42
1-5	普段時（実習がない期間）の学習時間（看護専門科目）	43
1-6	「看護専門科目」について、「学習時間」が「30分未満」「30分～1時間未満」と回答した学生への質問です。その理由として最も当てはまる1つをチェックしてください。	44
1-7	普段時（実習がない期間）の学習時間（基礎教養科目）	44
1-8	「基礎教養科目」について、「学習時間」が「30分未満」「30分～1時間未満」と回答した学生への質問です。その理由として最も当てはまる1つをチェックしてください。	45
1-9	実習がある期間の学習時間	46
1-10	あなたは授業をよく理解するために、どのような勉強の仕方をしていますか。該当する項目全てをチェックしてください。（複数回答）	46

A 教育等に関する調査

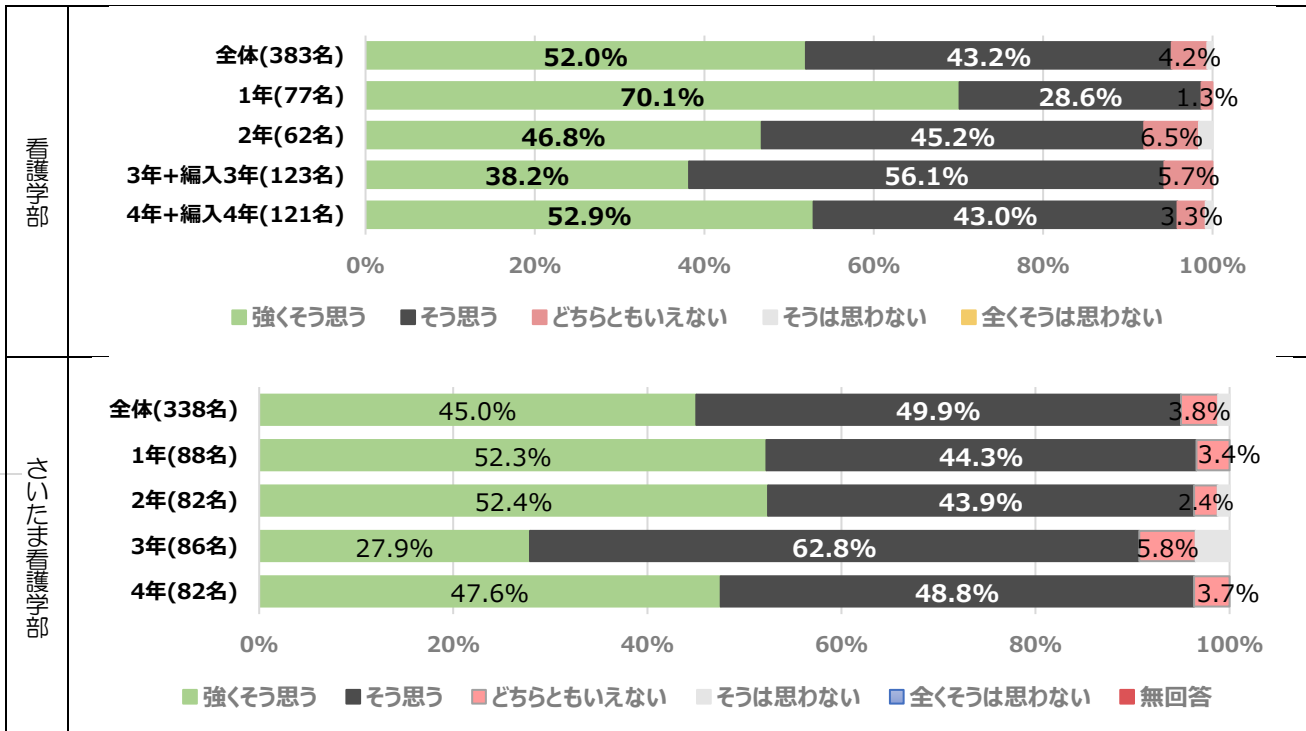
1 現時点であなたが身につけている能力

現時点であなたが以下の項目の能力を身につけているかについて、回答してください。

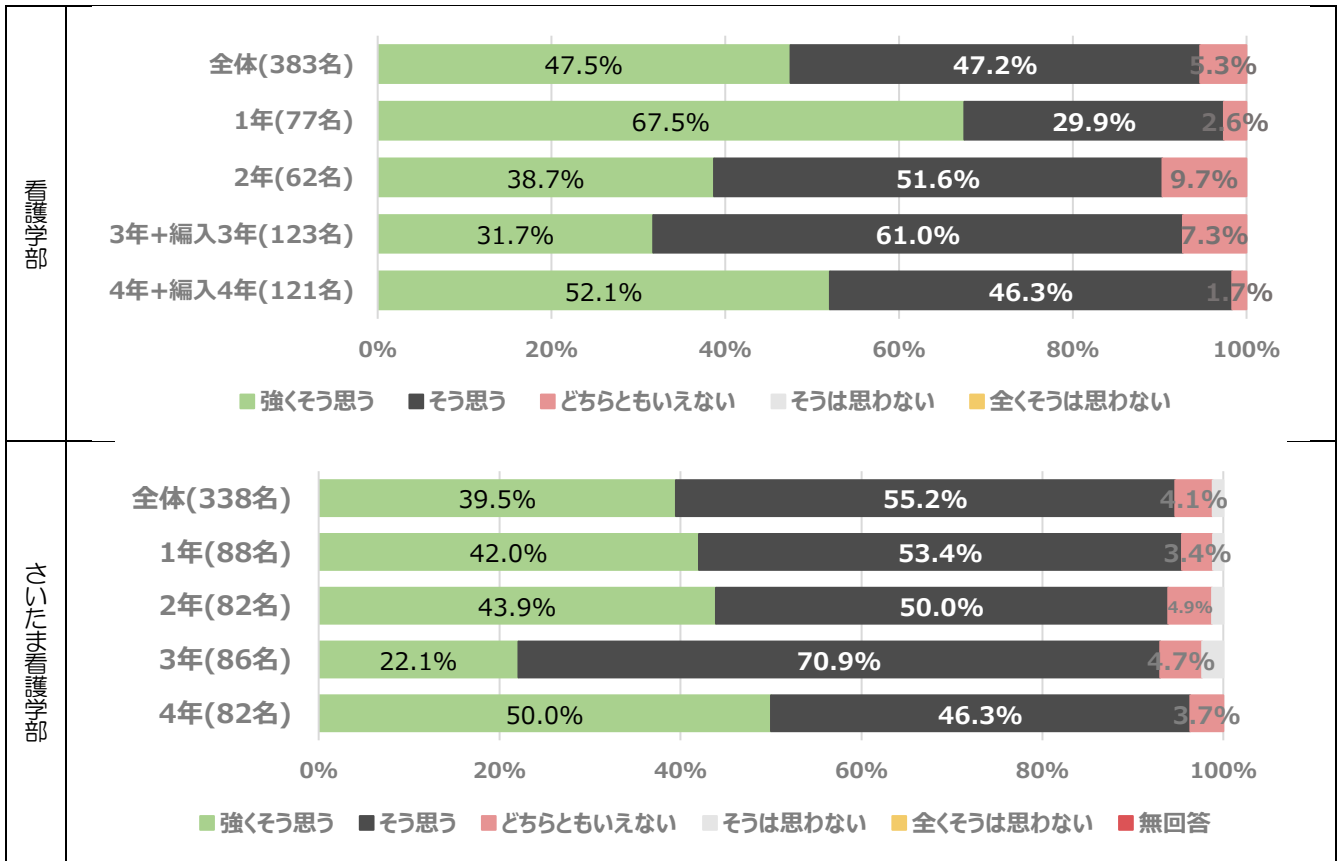
1-1 一人ひとりの人間を総合的に理解することができる



1-2 他の人たちと相互に支え合い、成長し合う関係を築くことができる。

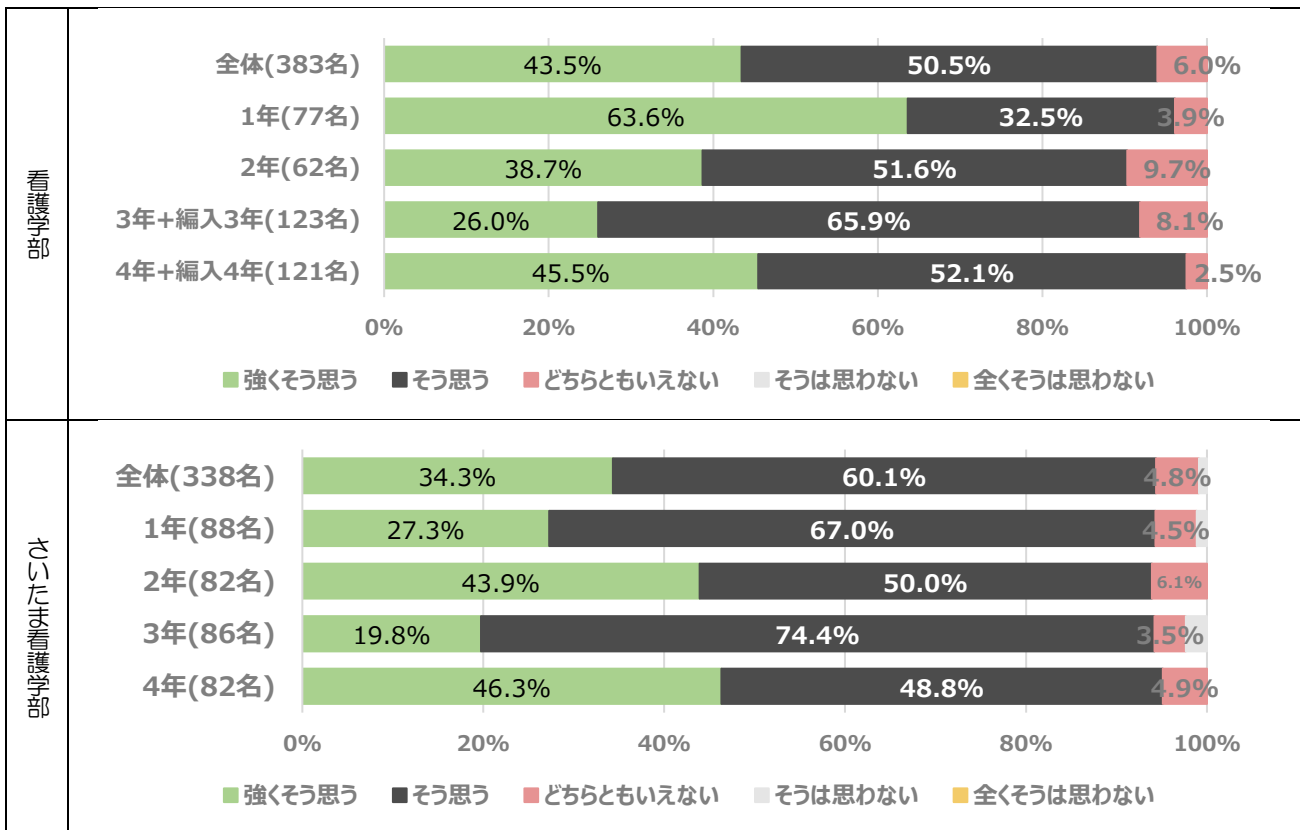


1-3 異なる文化、価値観を持つ人々を、かけがえのない人間として尊重する態度を持つことができる。

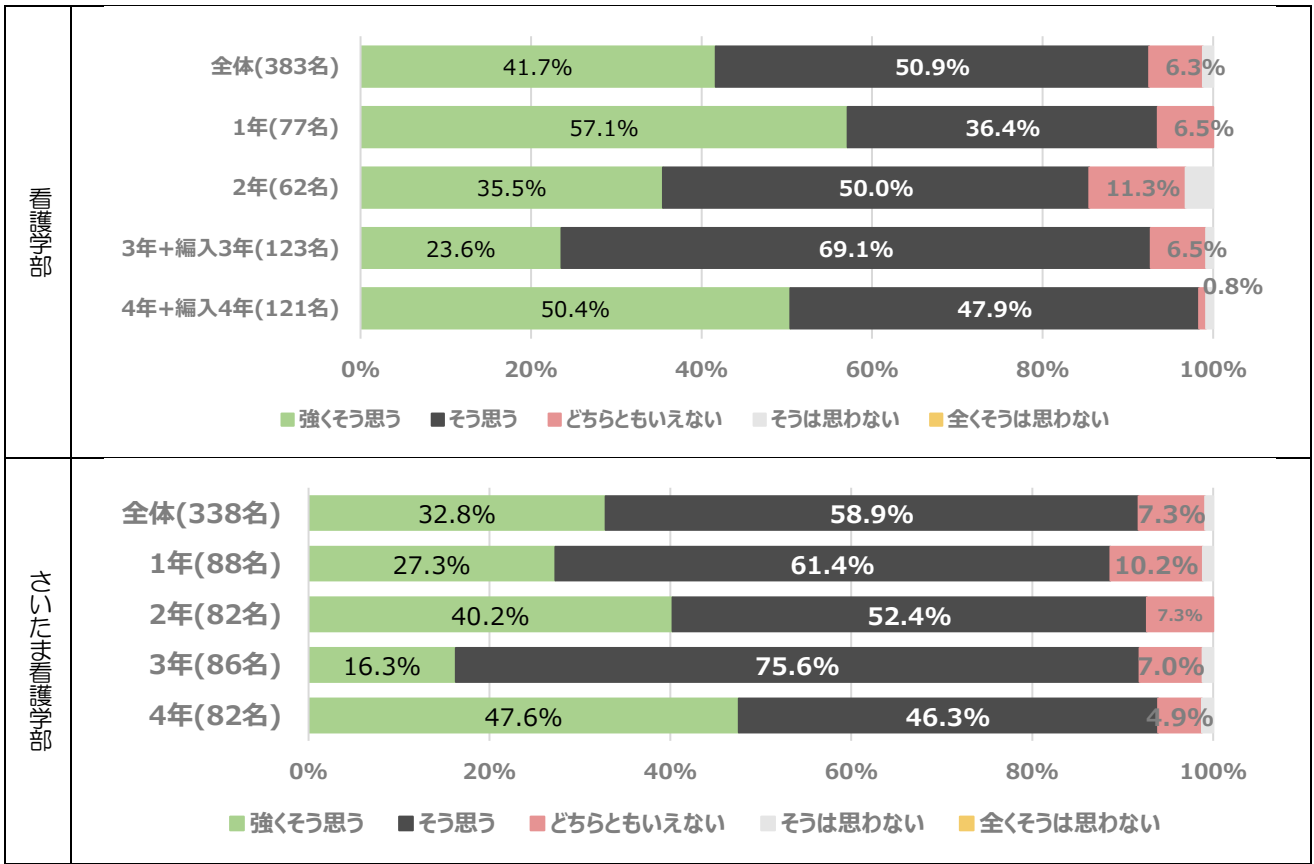


▶ 教育等に関する調査

1-4 さまざまな人との間に支援に向けた関係を深めることができる。

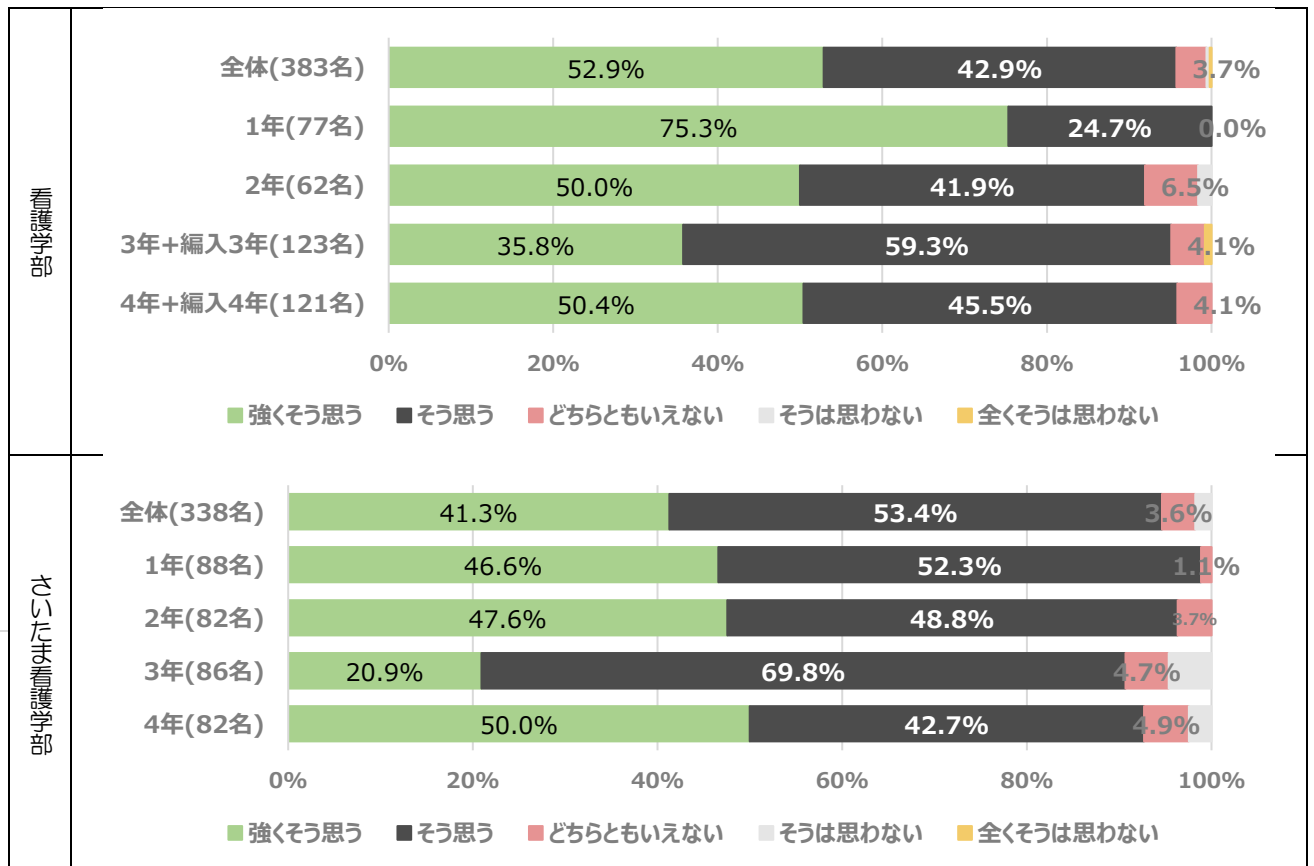


1-5 人間の尊厳と権利を倫理的な視点から擁護する上での課題に気づくことができる。

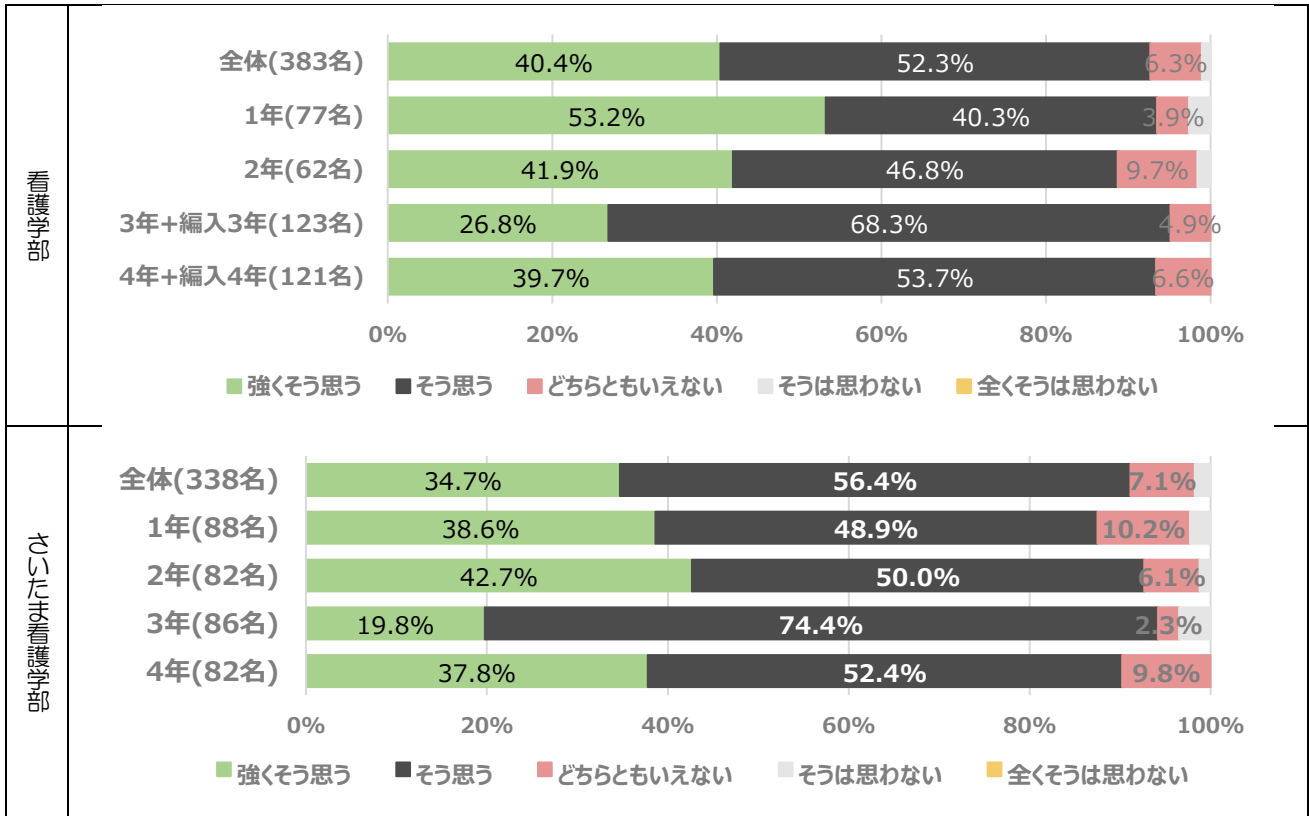


▶ 教育等に関する調査

1-6 一人ひとりの人間の意思と独自性を尊重し守ることができる

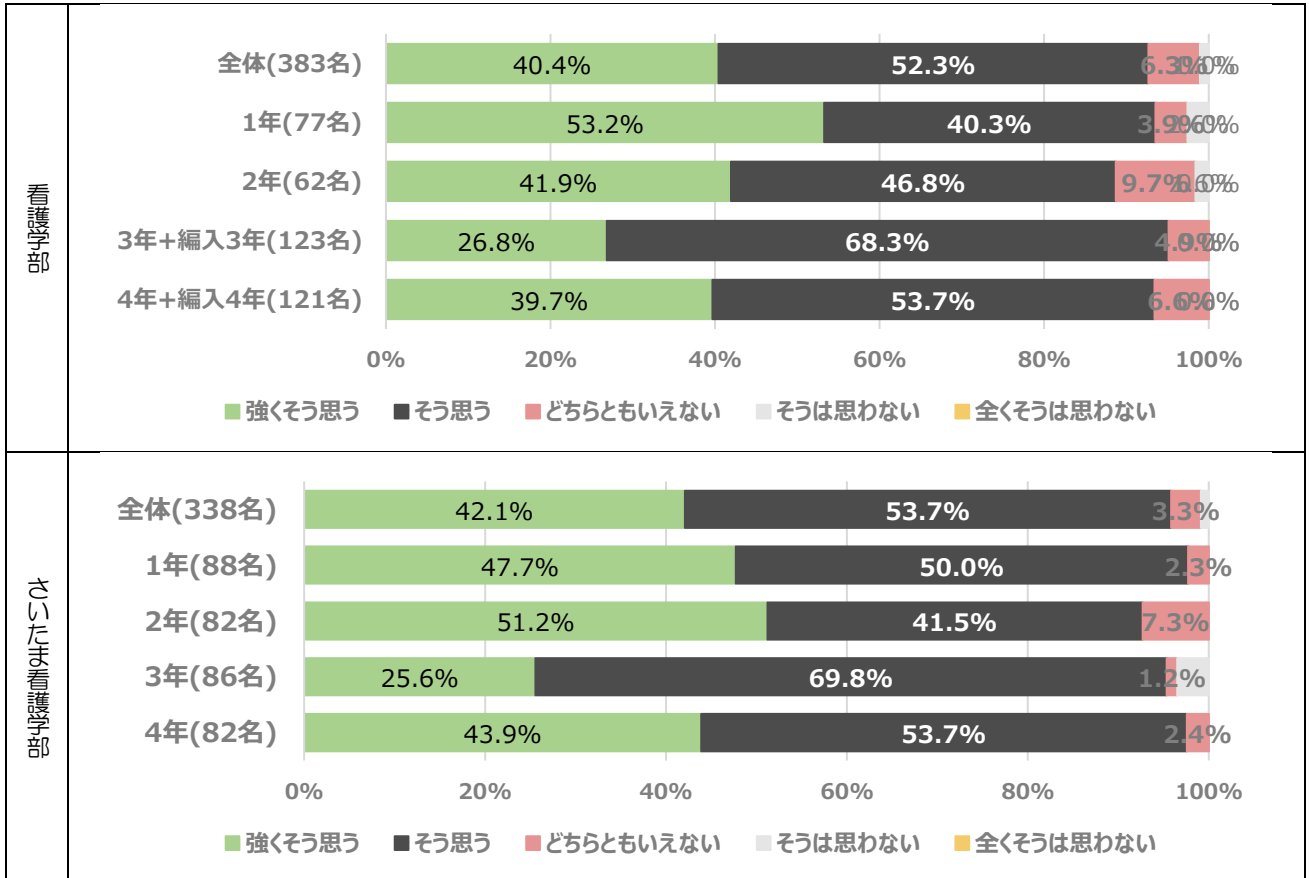


1-7 看護を受ける人の成長発達や生活の場に応じた看護に必要な知識・技術を用い、実践することができる

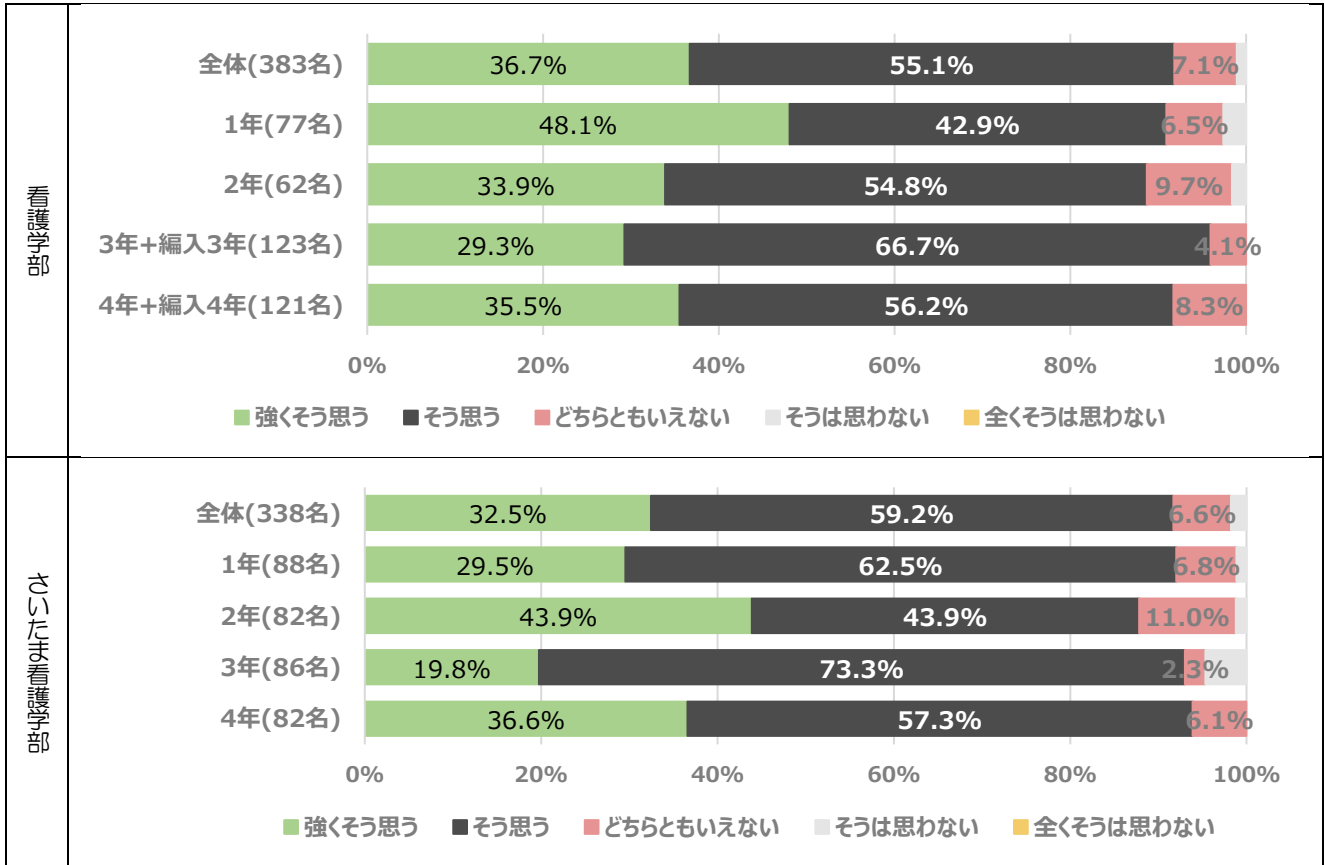


▶ 教育等に関する調査

1-8 看護を受ける人の持つ力を活かして実践することができる

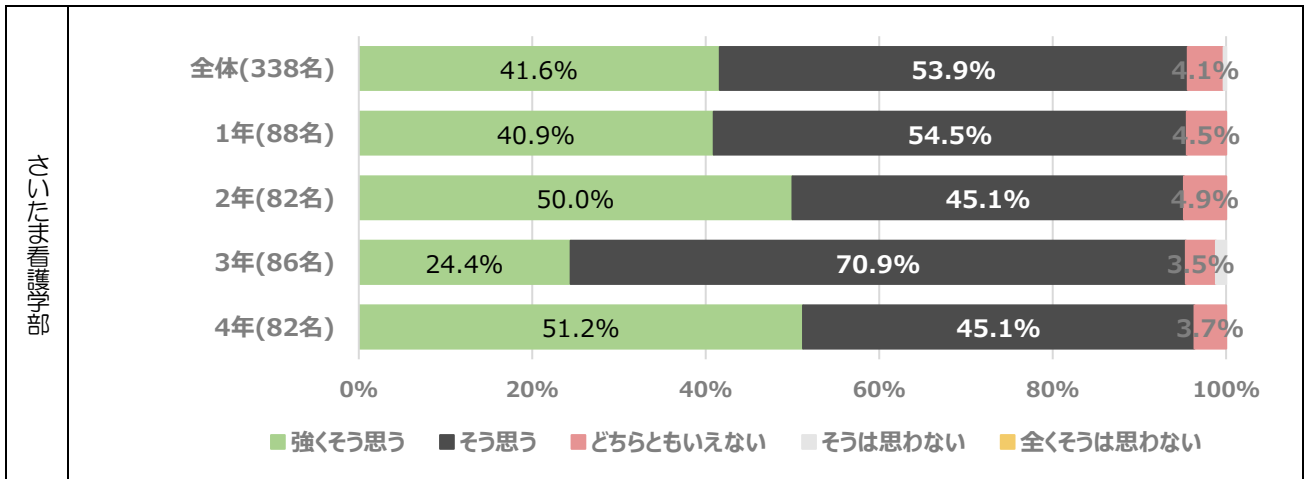


1-9 健康レベルに応じた諸課題への対処に必要な知識・技術を用い、実践することができる

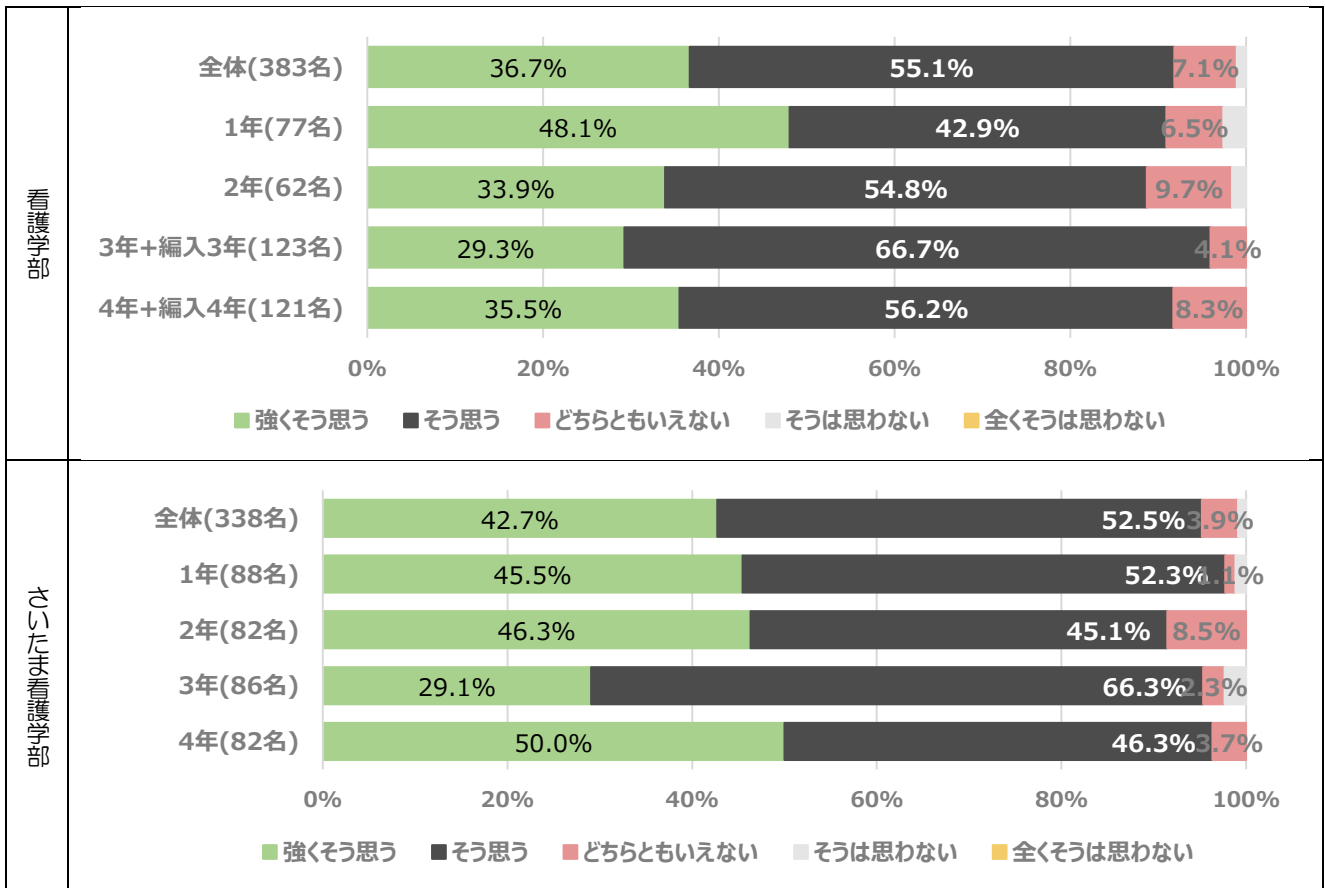


▶ 教育等に関する調査

1-10 看護を受ける人の安全を守るための配慮ができる (さいたま看護学部)

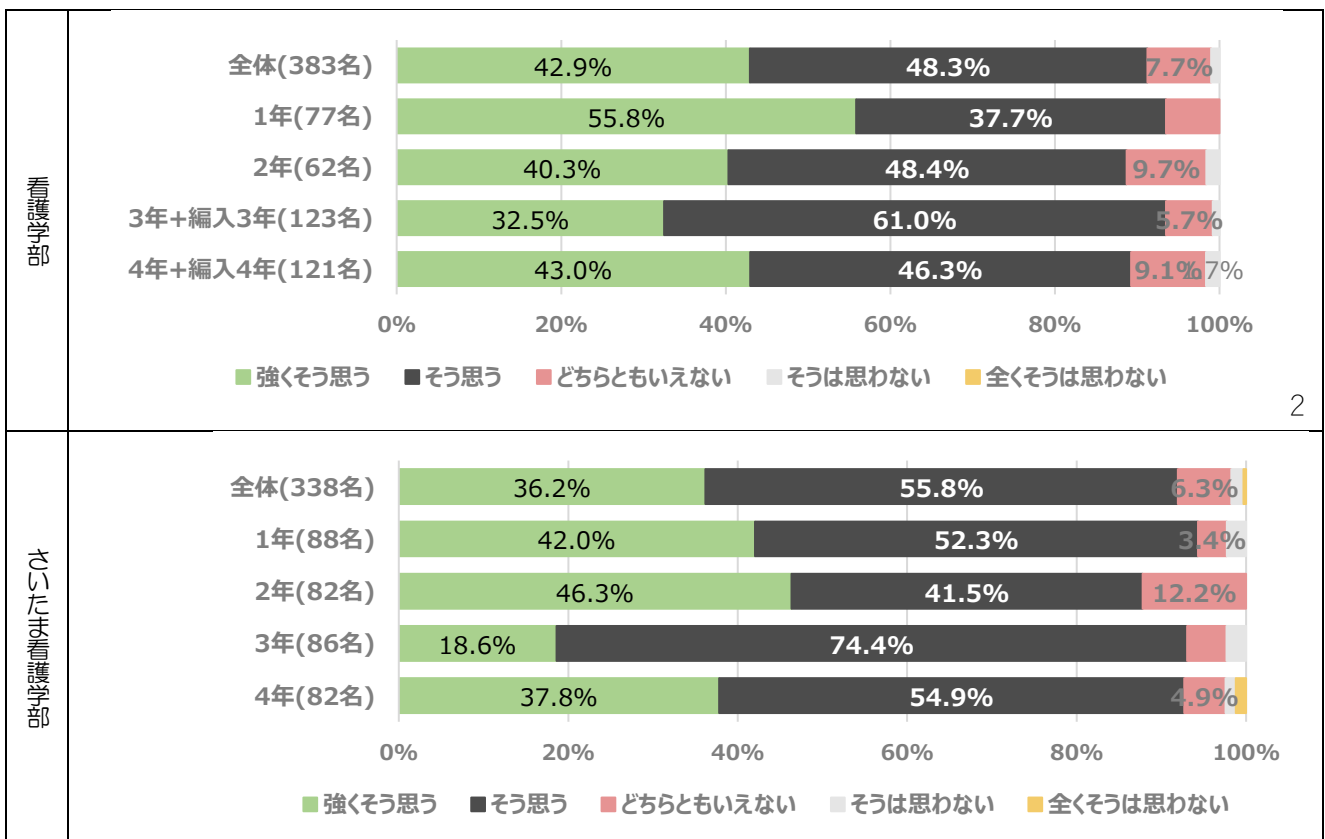


1-11 自らの行った実践を振り返り、評価することができる

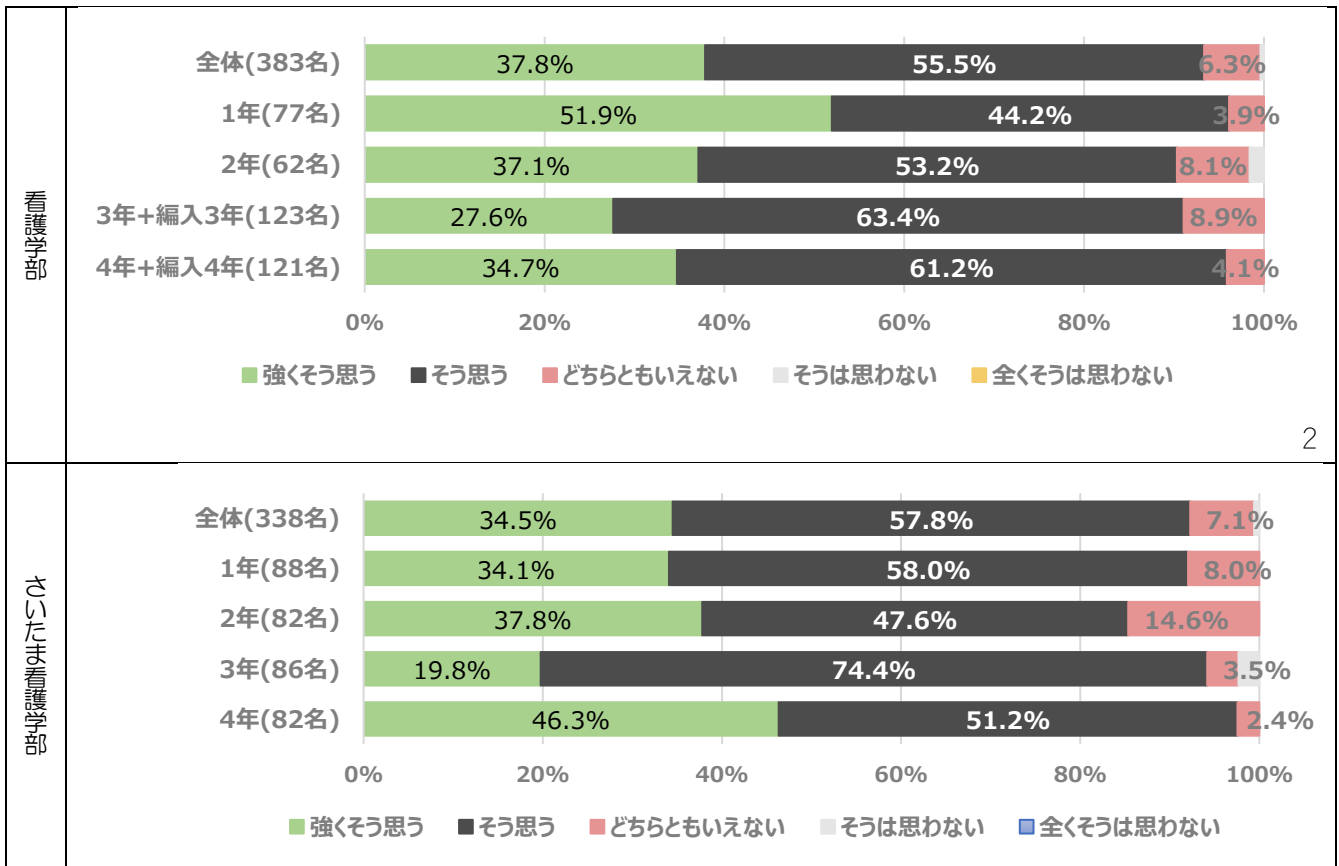


▶ 教育等に関する調査

1-12 災害等の危機的な状況下での人々の健康問題や支援活動に関心を持つことができる

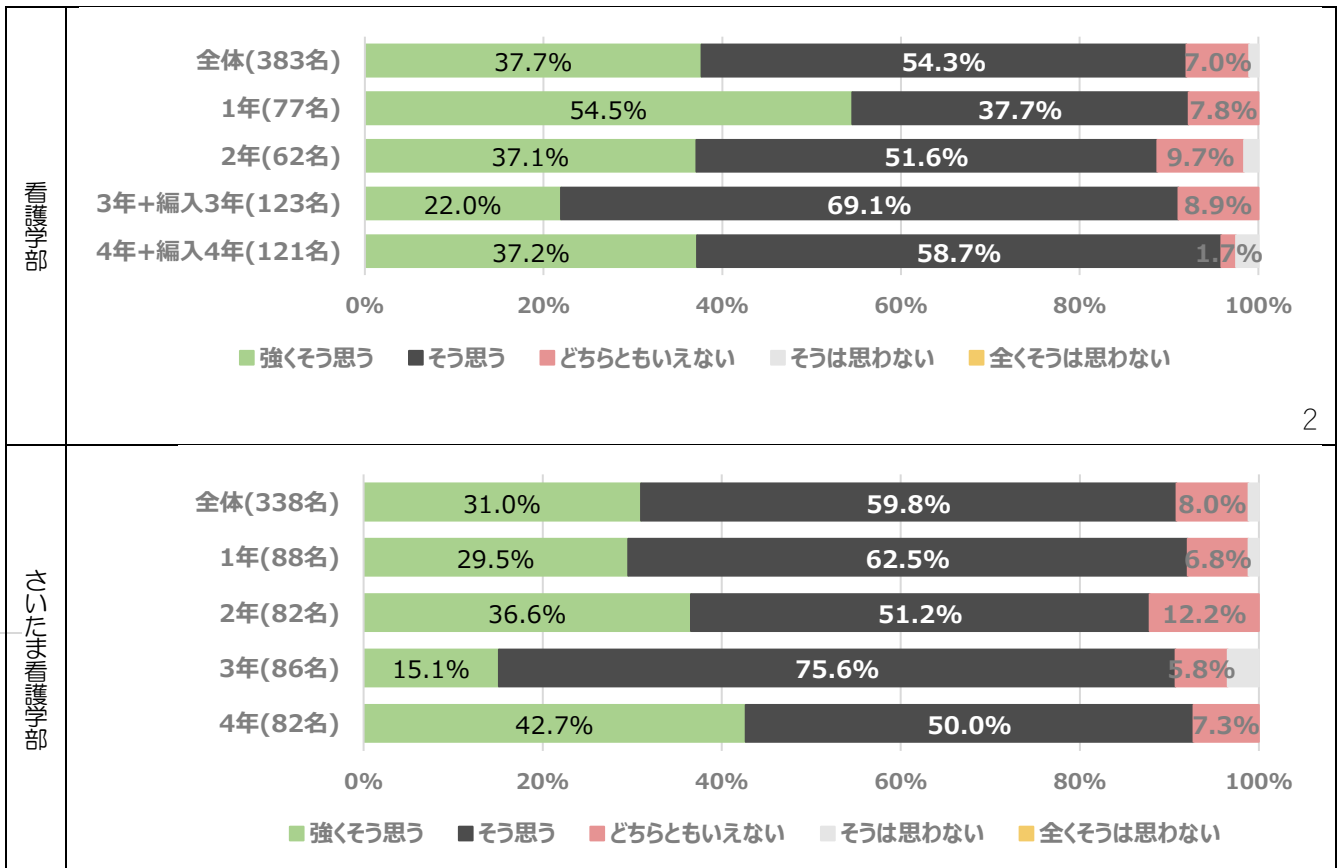


1-13 自らを取り巻く状況で取り組むべき課題を見出すことができる



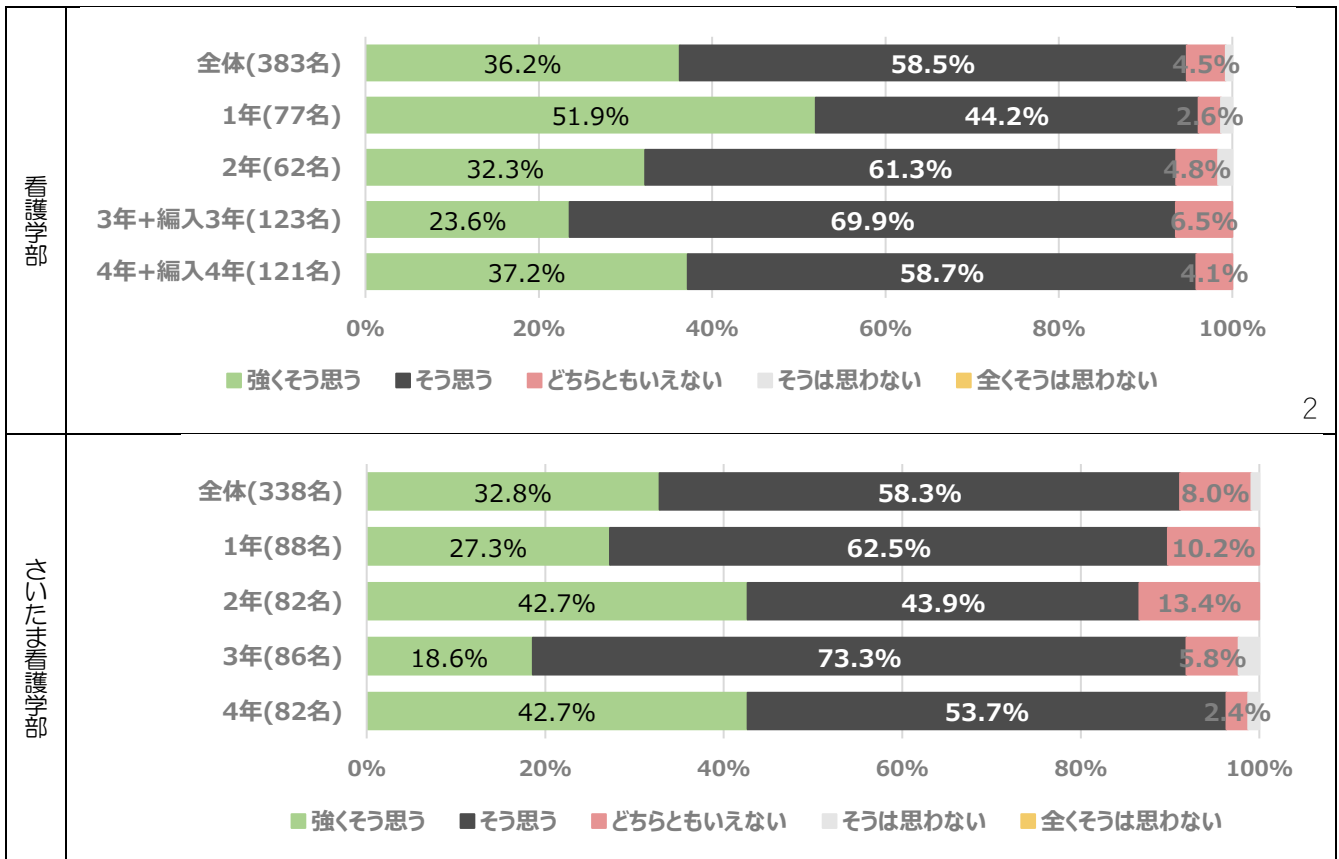
2

1-14 自らが設定した諸課題の情報を適切に収集し、分析することができる

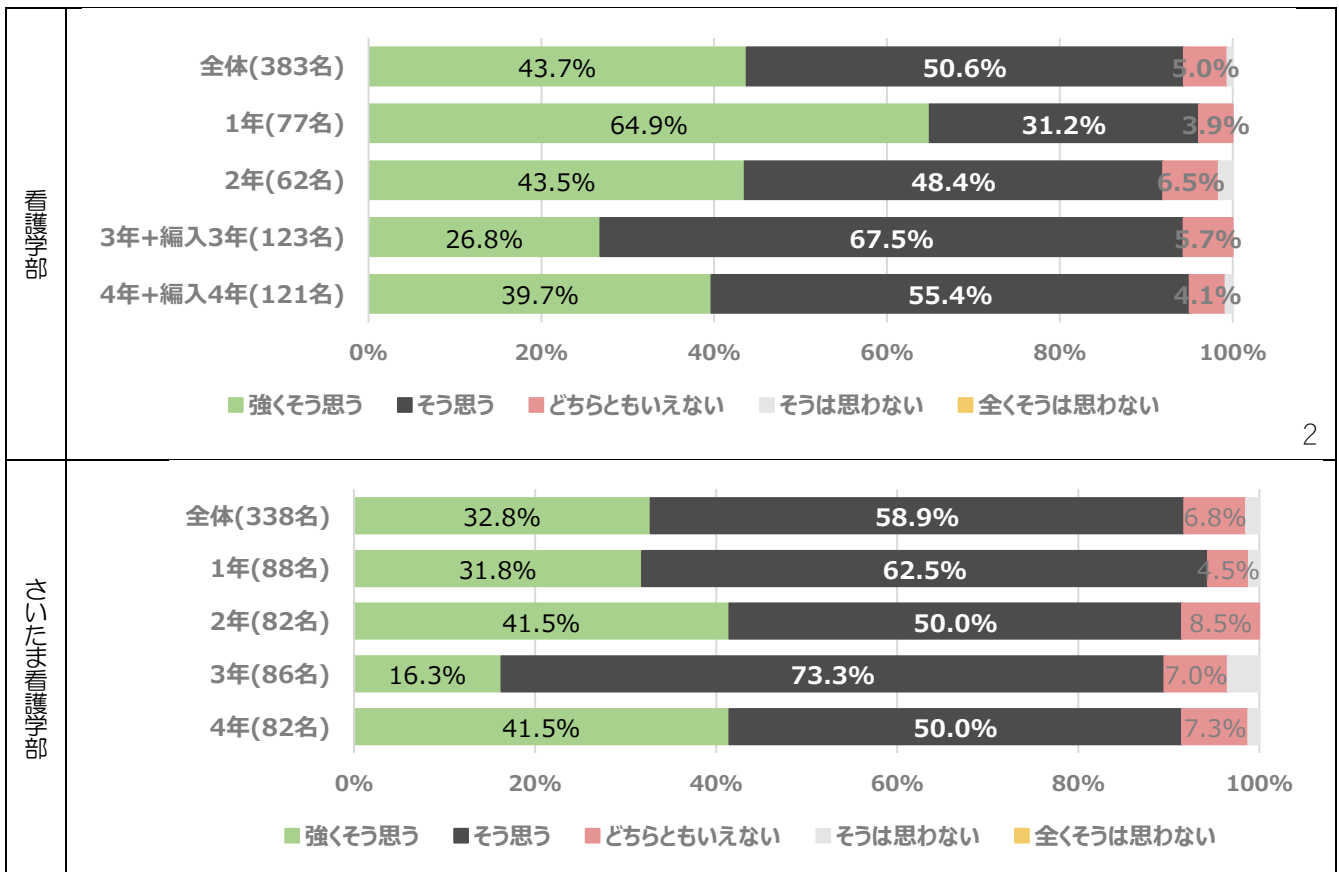


2

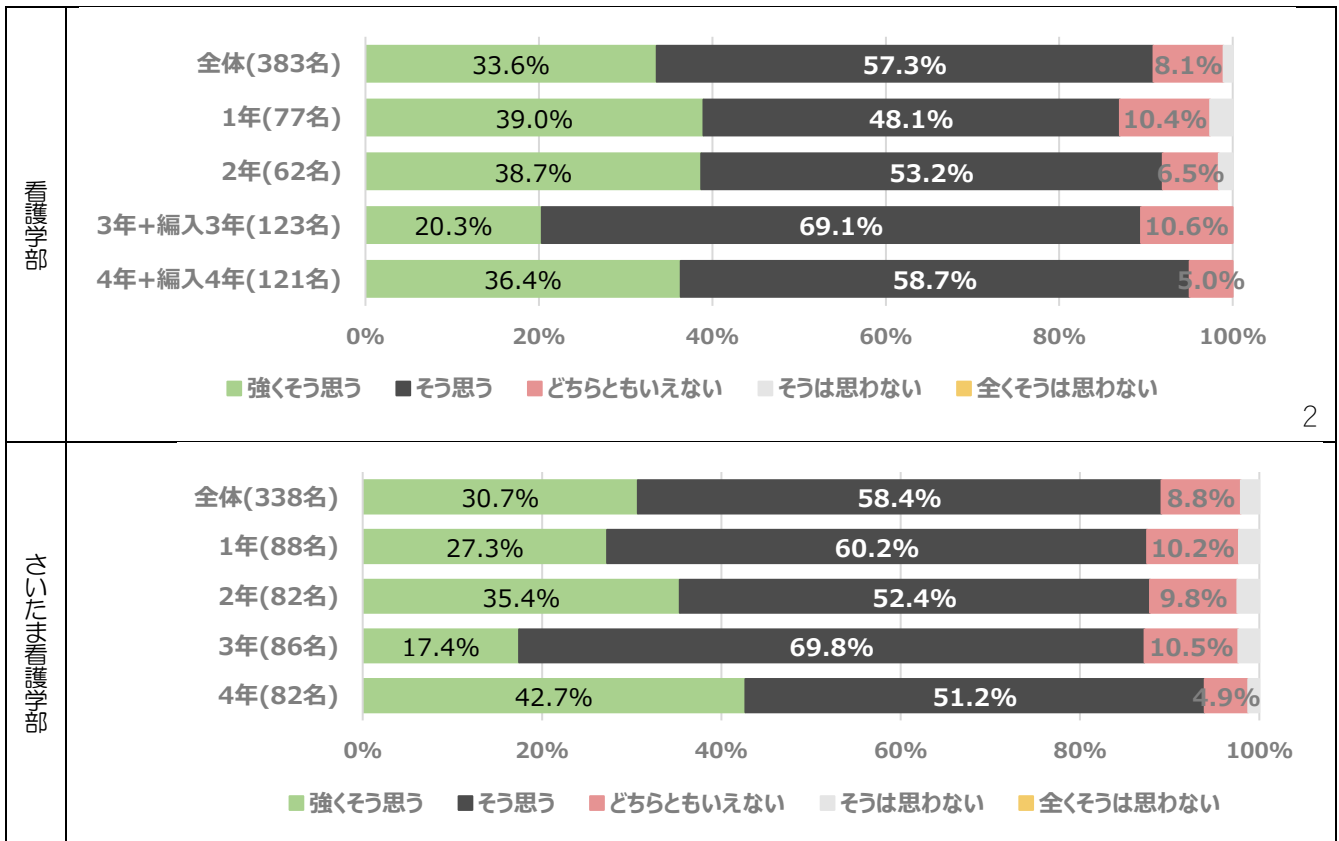
1-15 自らが設定した諸課題の解決に向けて、根拠に基づいて解決策を検討することができる



1-16 新たな課題に関心を持ち、解決に向けて主体的に取り組むことができる

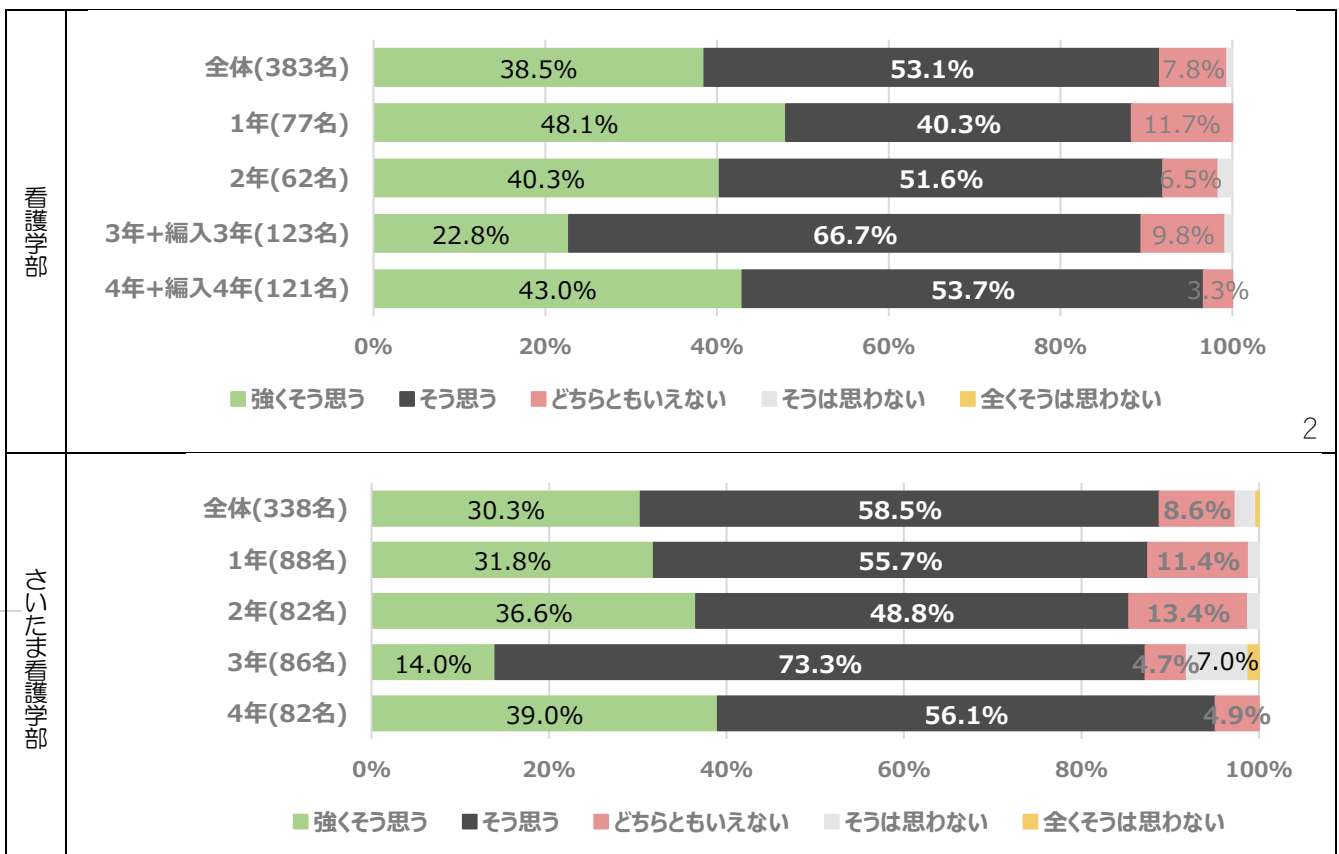


1-17 変化する保健医療福祉システムにおける看護職及び他の専門職の機能と役割を理解することができる



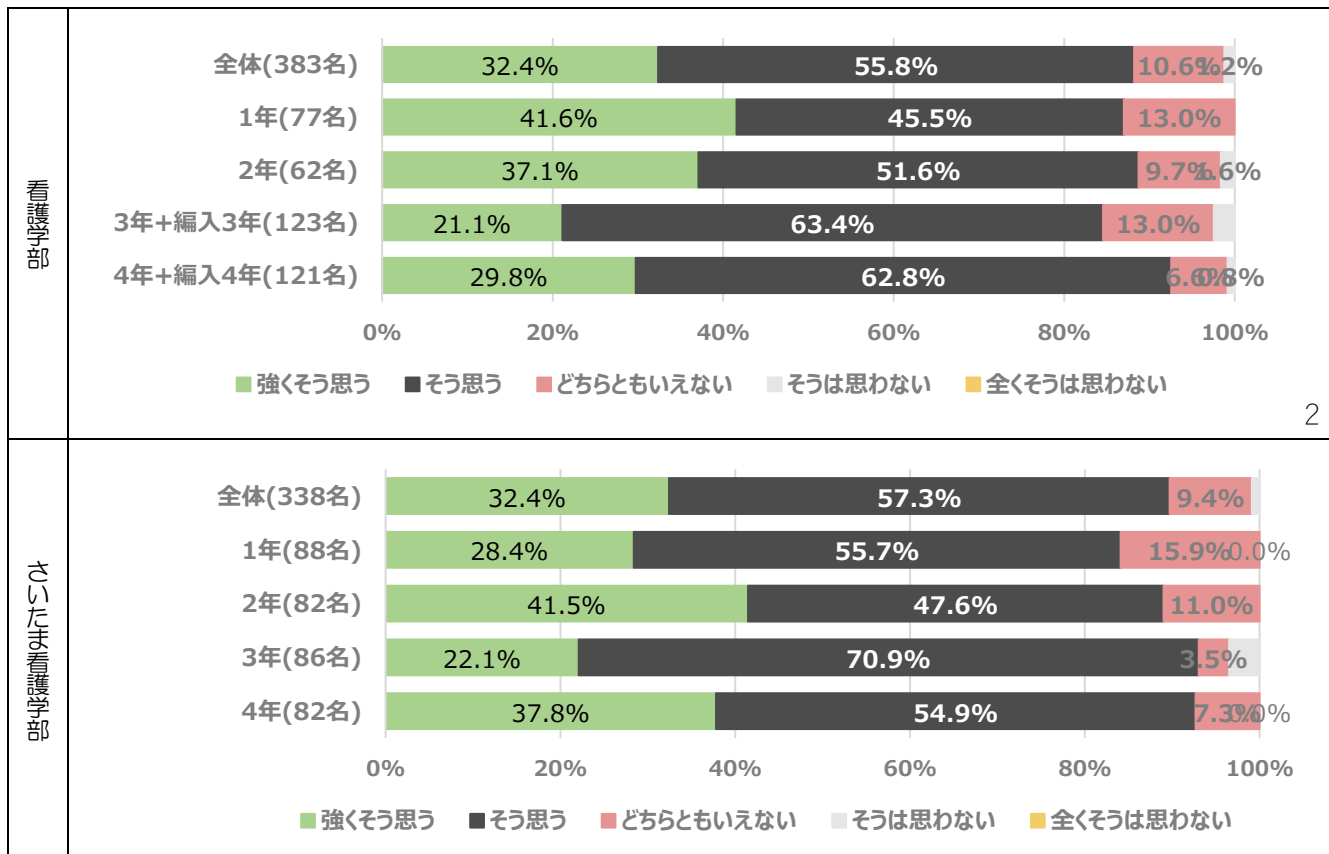
2

1-18 他の関係職種との情報交換や問題解決にむけた連携に参加することができる



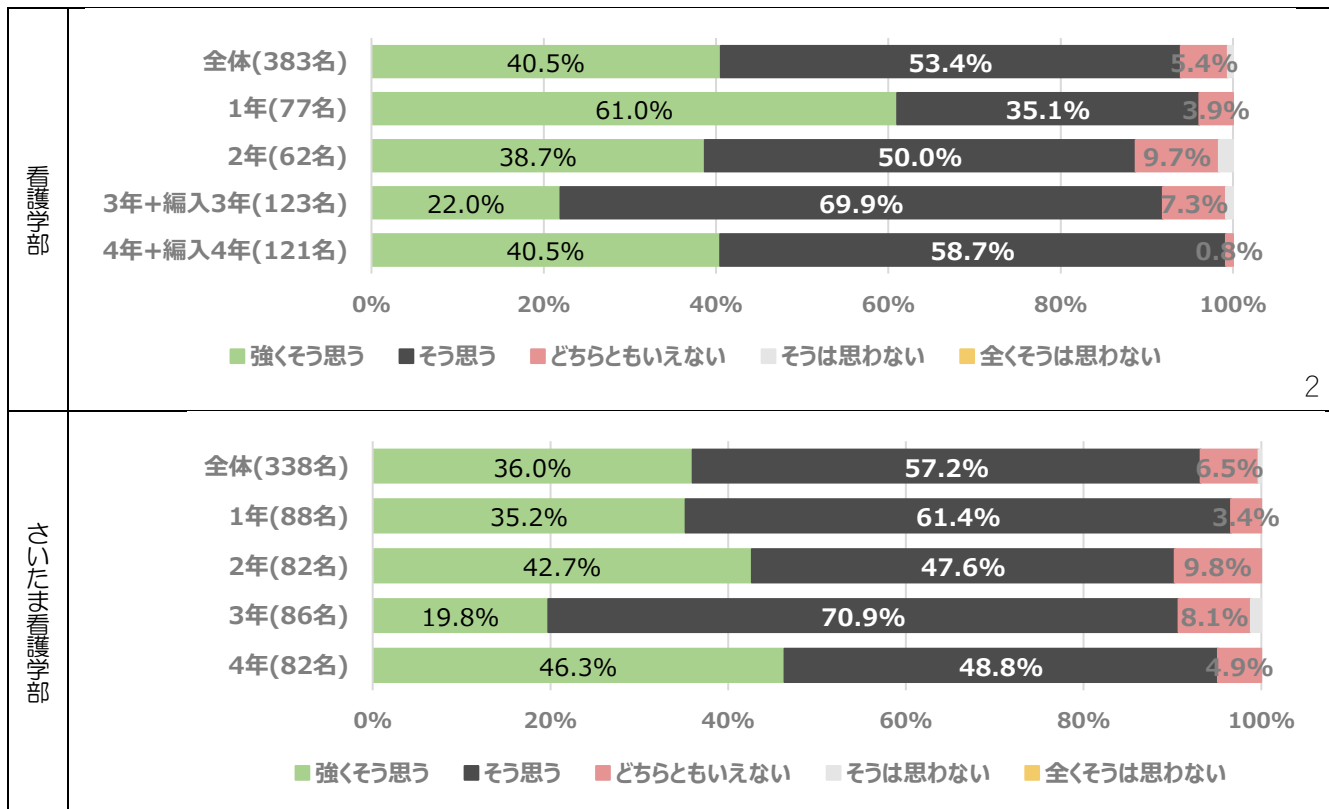
2

1-19 地域社会（コミュニティ）のなかで、健康上の諸課題に対応するためにネットワークの一員として参加することができる

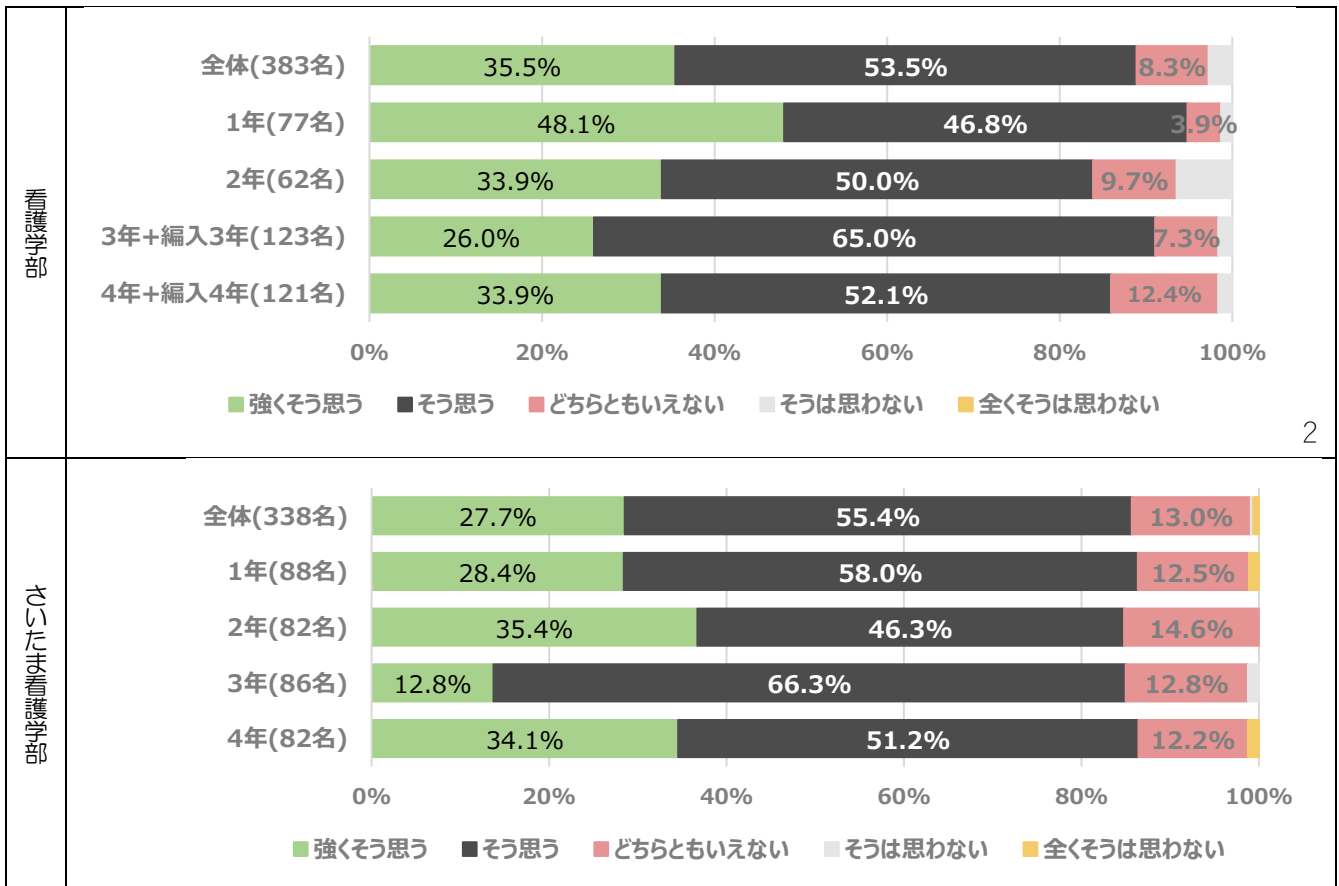


▶ 教育等に関する調査

1-20 専門職として成長し続けるための自己の課題を見出すことができる

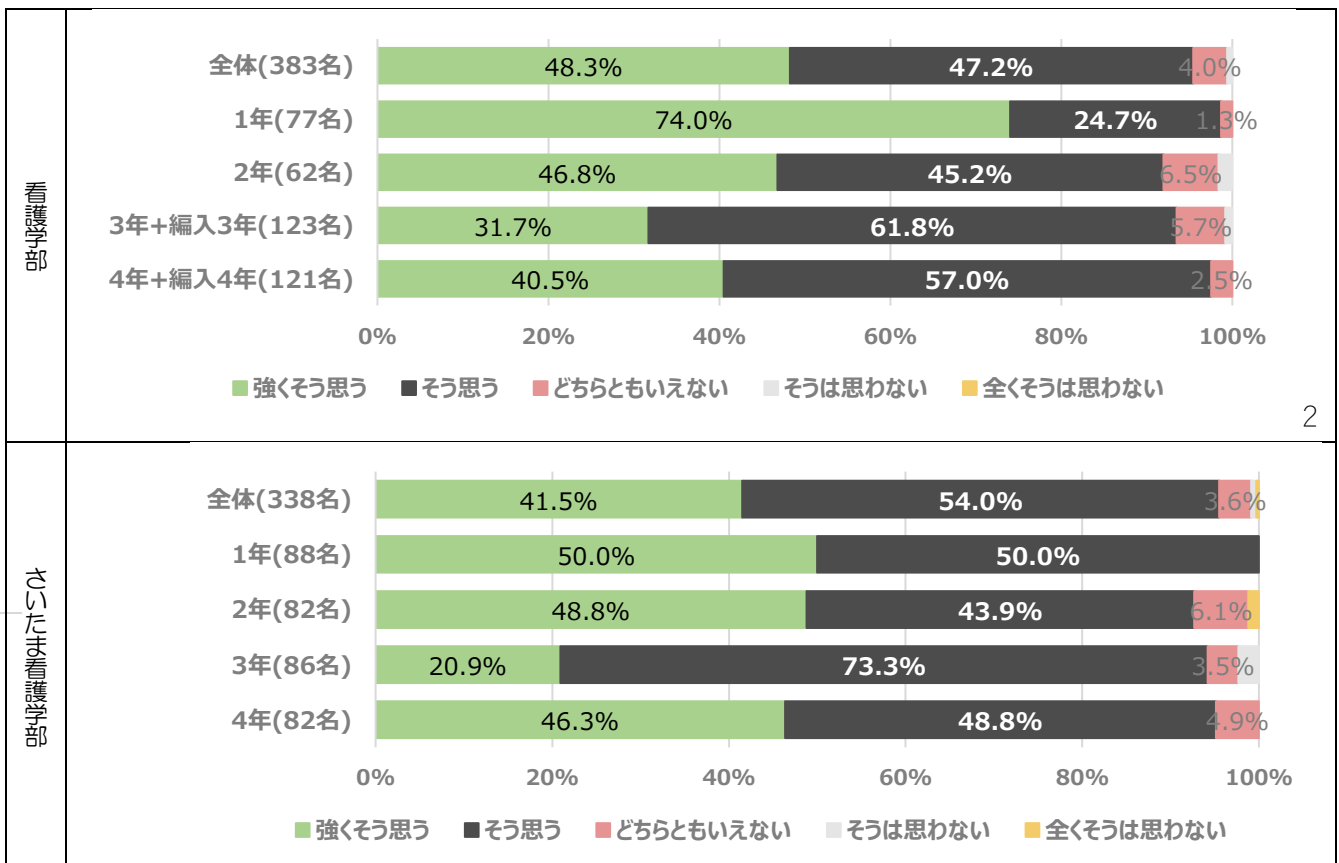


1-21 国内外の社会変化に関心を持ち、看護専門職として学び続ける態度を持つことができる



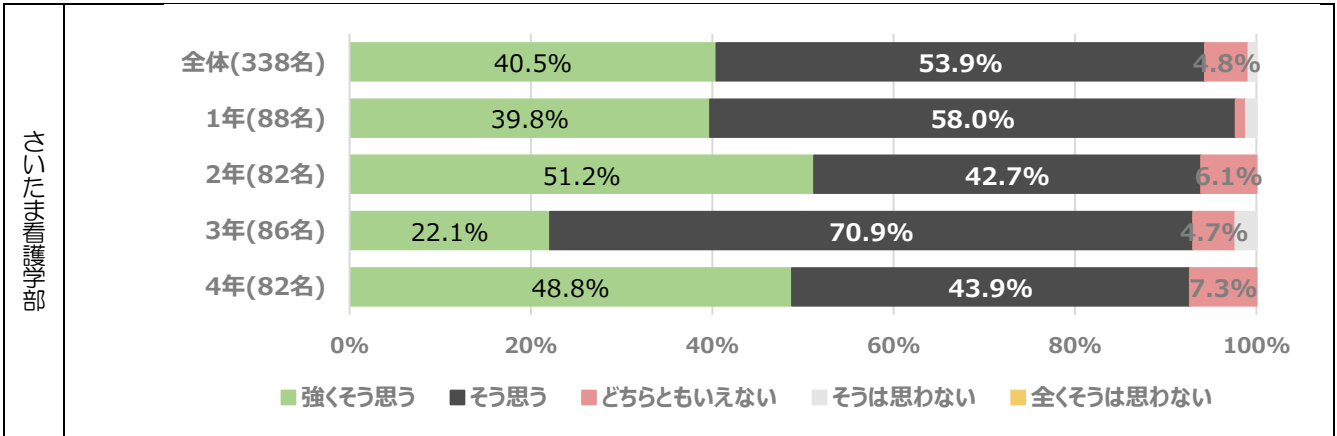
2

1-22 専門職を目指す者同士で共に教え学びあい、成長し合う姿勢を持つことができる

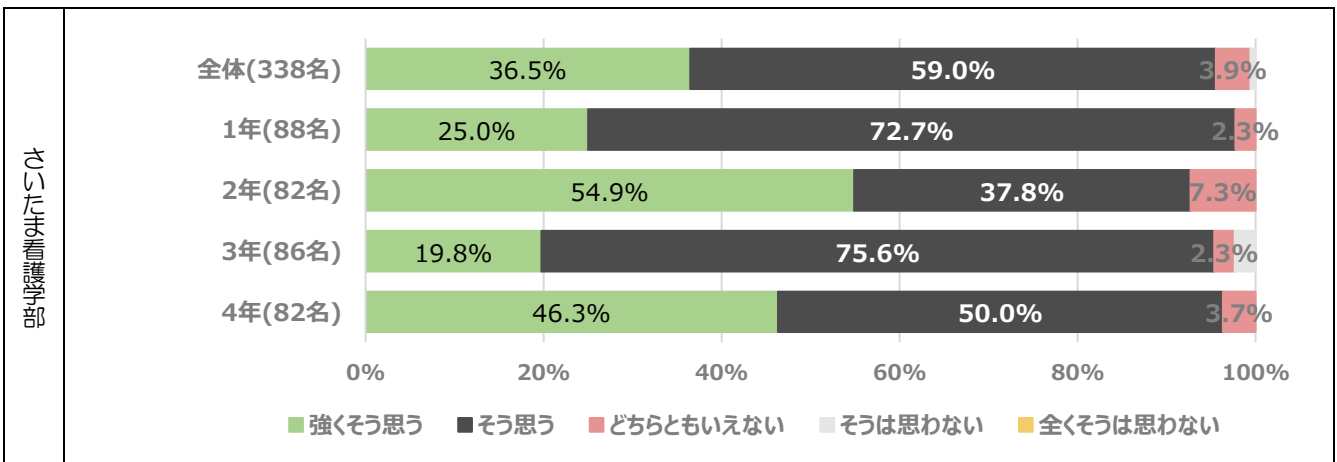


2

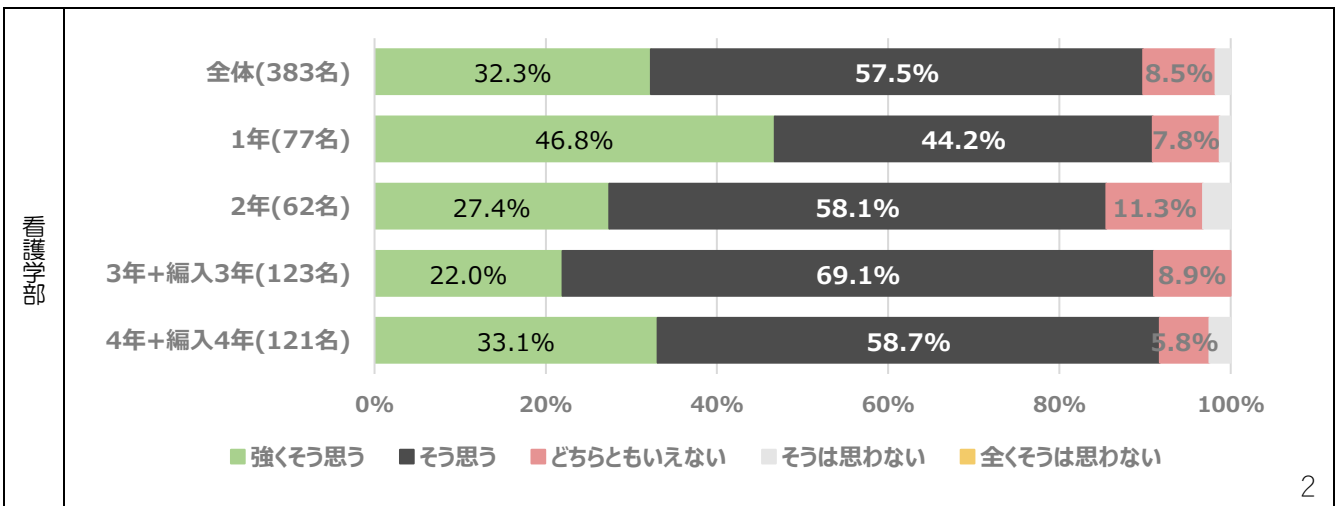
1-23 人々の生活の場であるコミュニティに関心を向けることができる (さいたま看護学部)



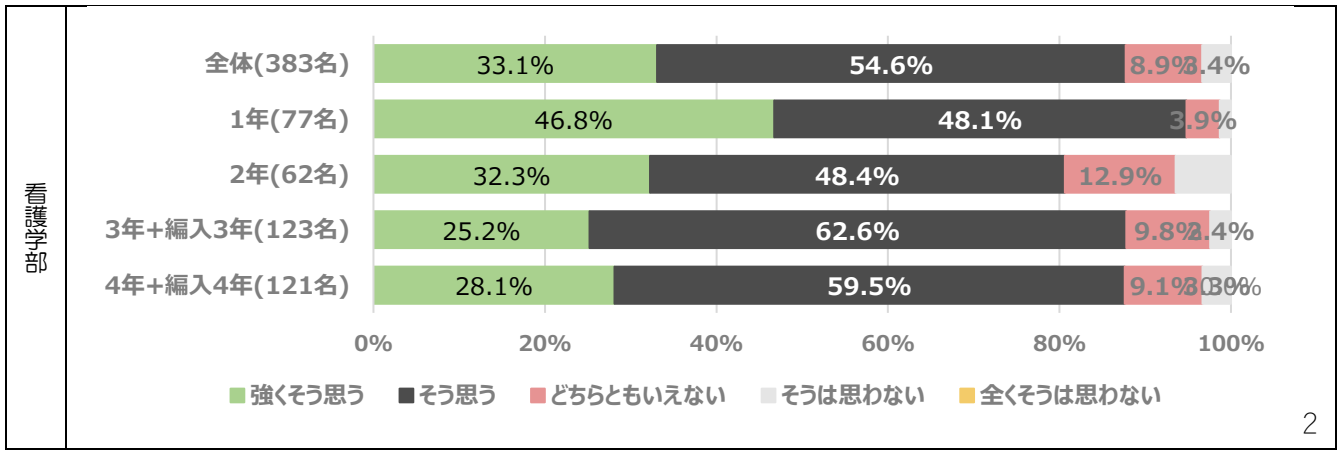
1-24 コミュニティにおける健康上の諸課題とその背景を理解することができる (さいたま看護学部)



1-25 国内外の健康上の諸課題とその背景を理解することができる (看護学部)

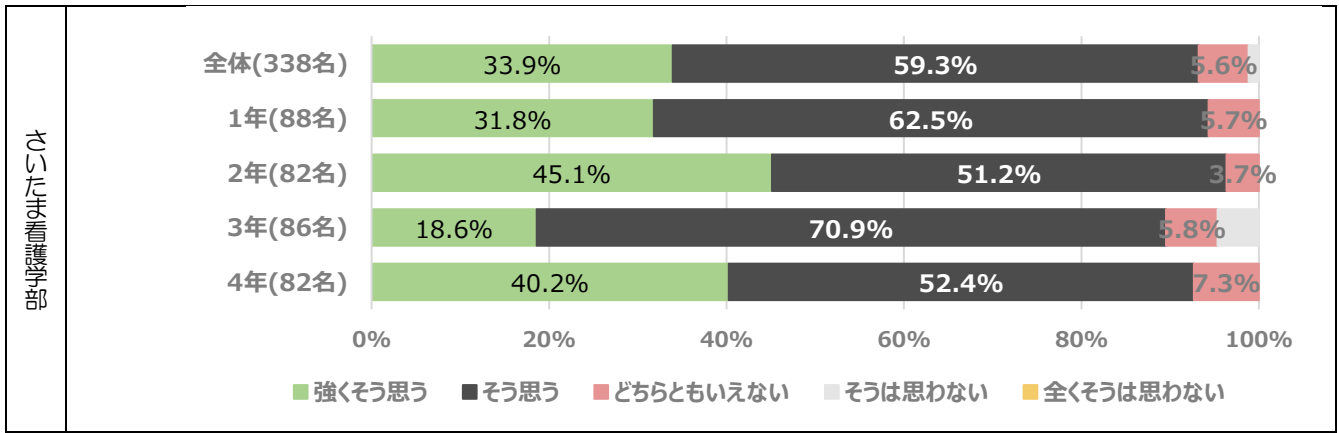


1-26 看護の専門性を活かした国際貢献に関心と意欲を持つことができる（看護学部）

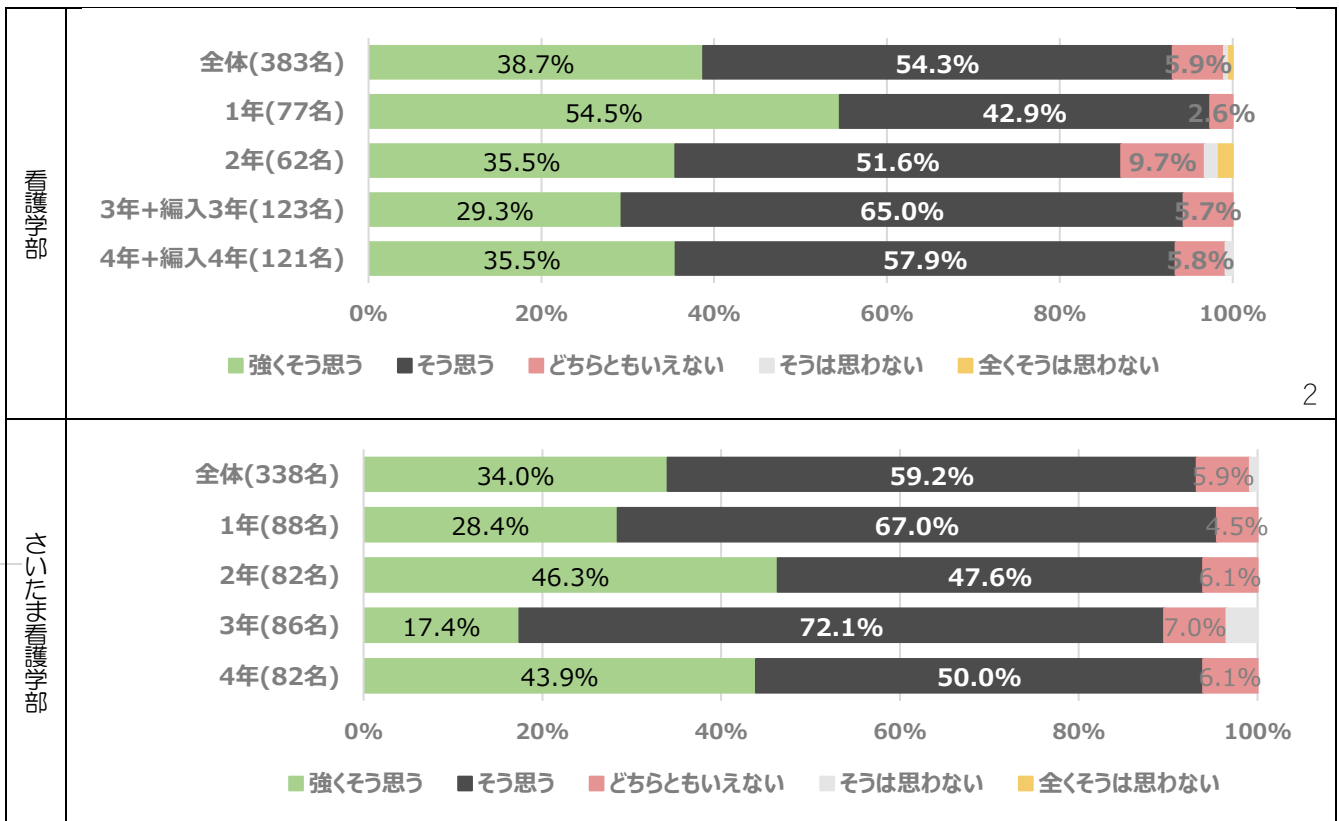


2

1-27 看護の専門性を活かしたコミュニティへの貢献に関心と意欲を持つことができる（さいたま看護学部）

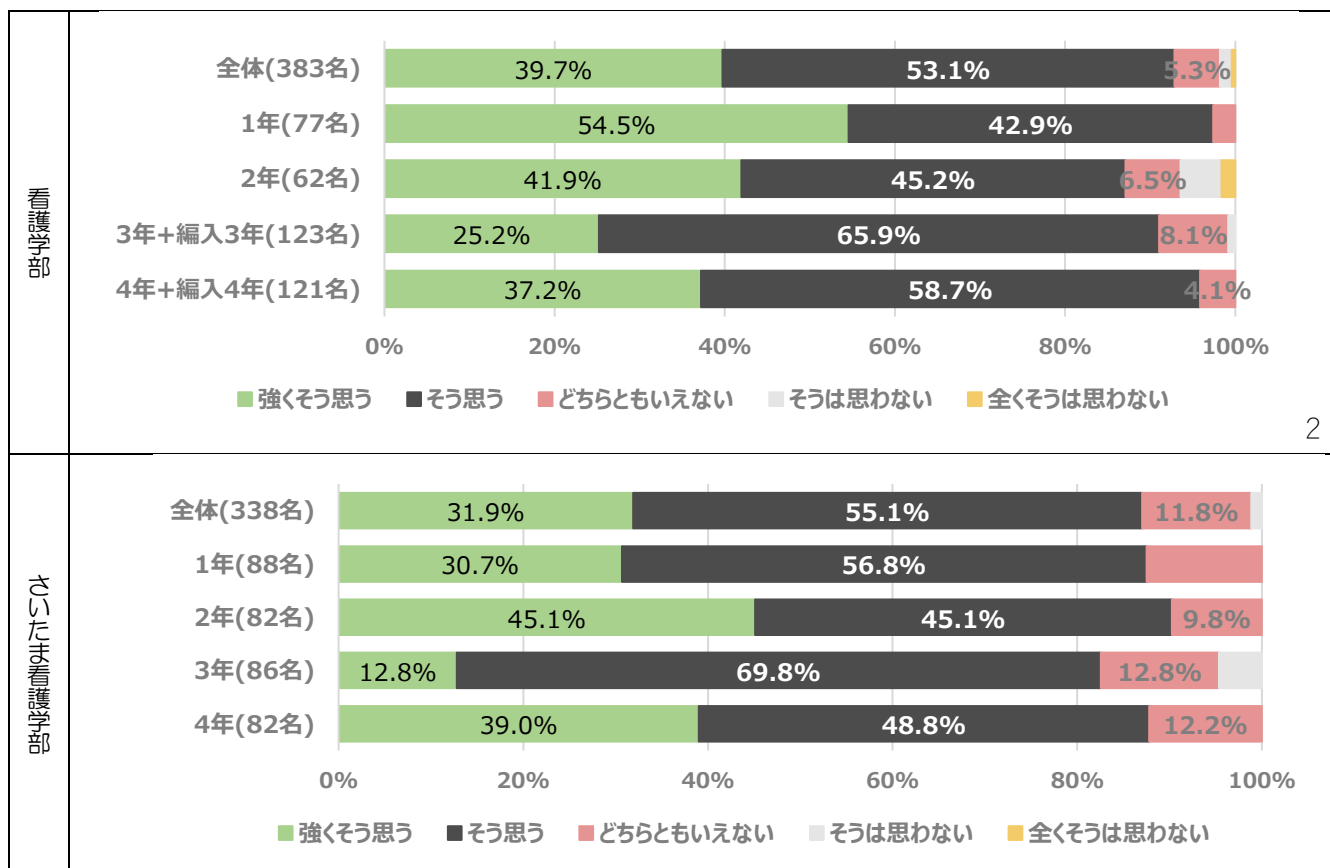


1-28 変動する社会や種々の状況下での人々の健康へのニーズに関心を持つことができる



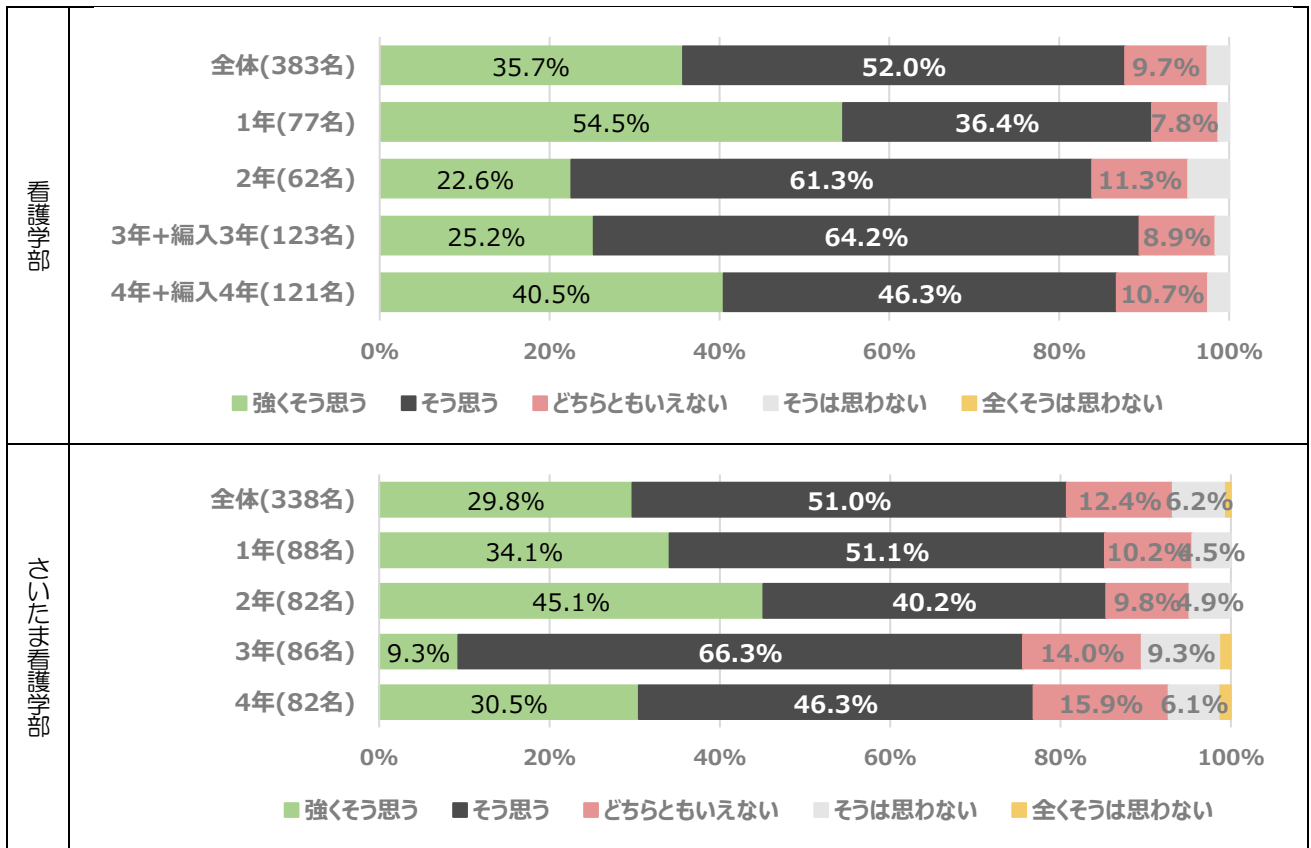
2

1-29 より良い社会の実現にむけて、新たな看護を創り出そうとする姿勢を持つことができる

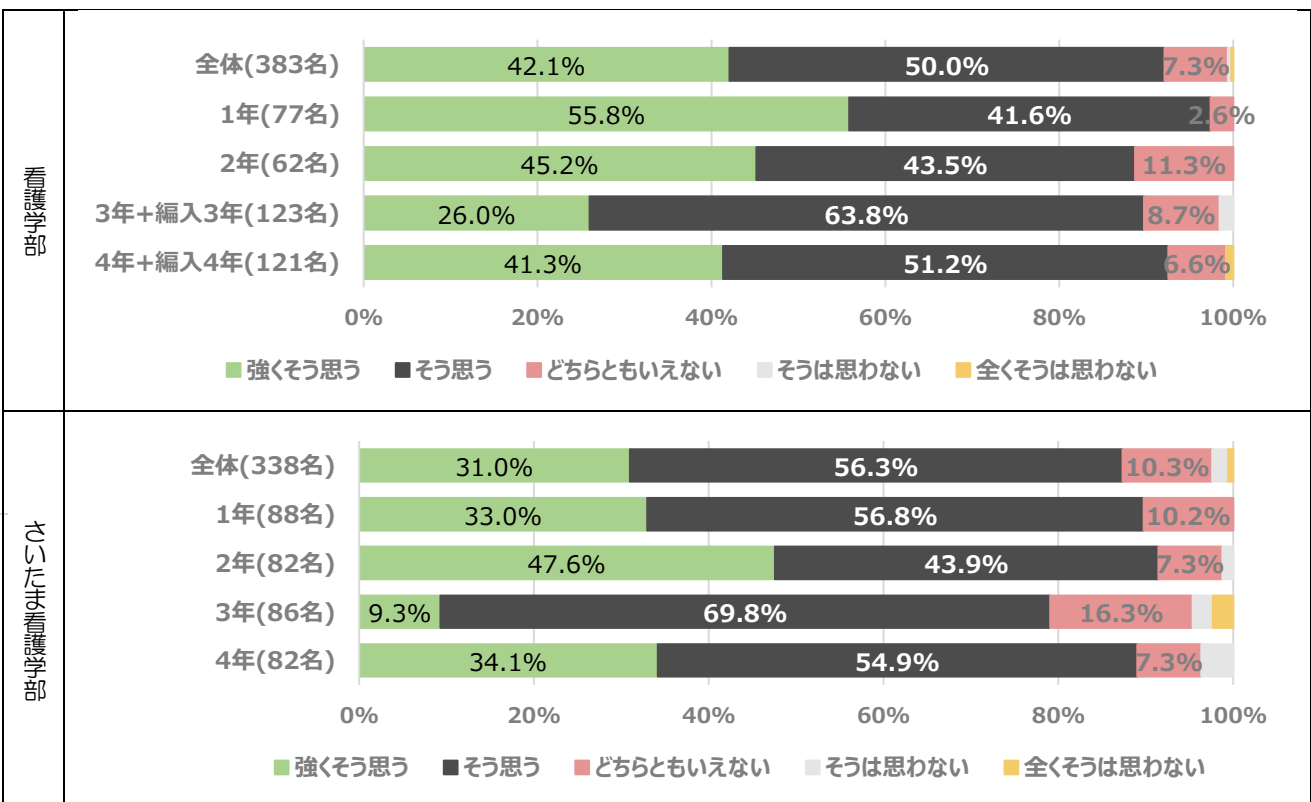


2 本学のカリキュラムに対するあなたの考え

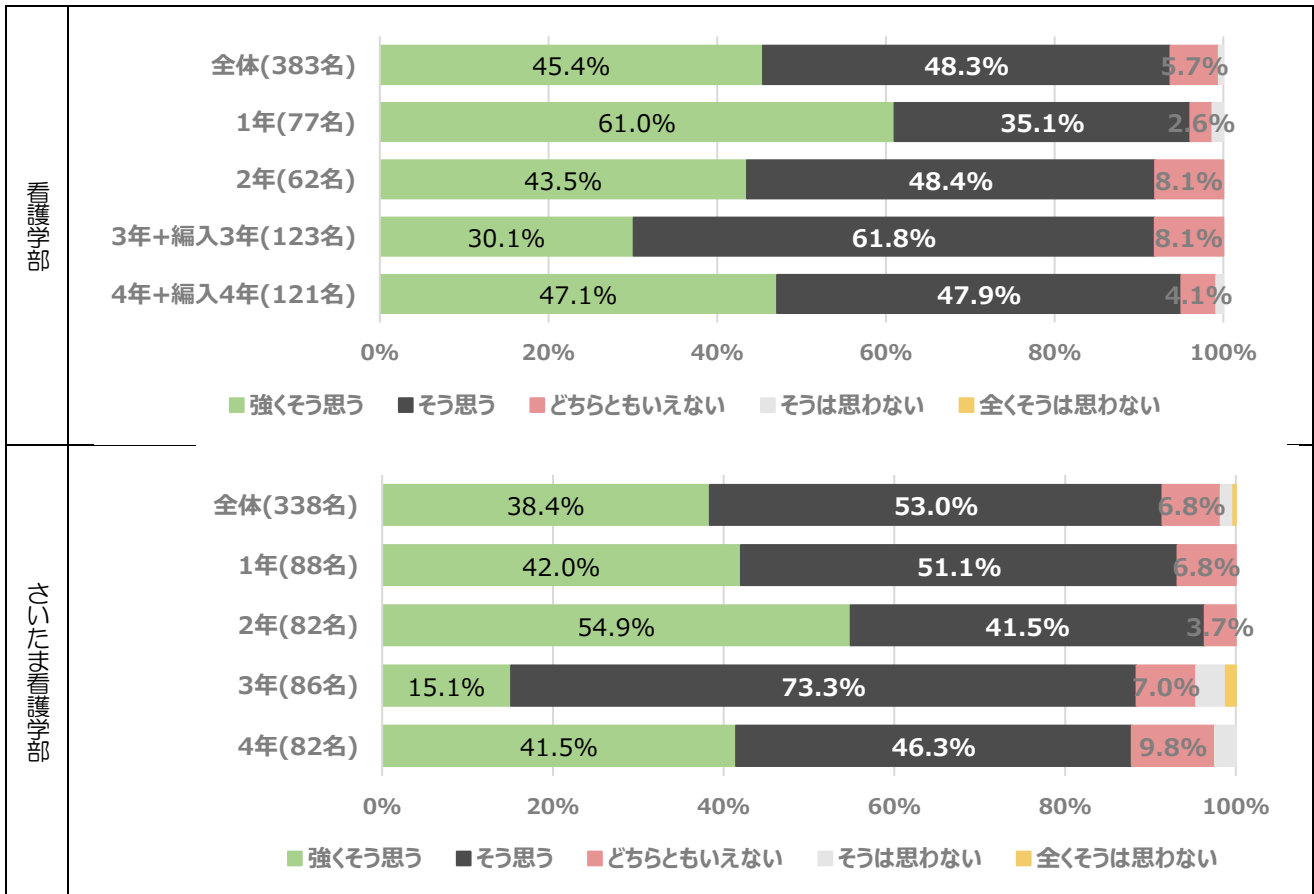
2-1 高等学校での学習を補ったり、大学での学習へとつないでいくことを考えたカリキュラムである



2-2 幅広い視点から創造的な思考力を育成するようなカリキュラムである

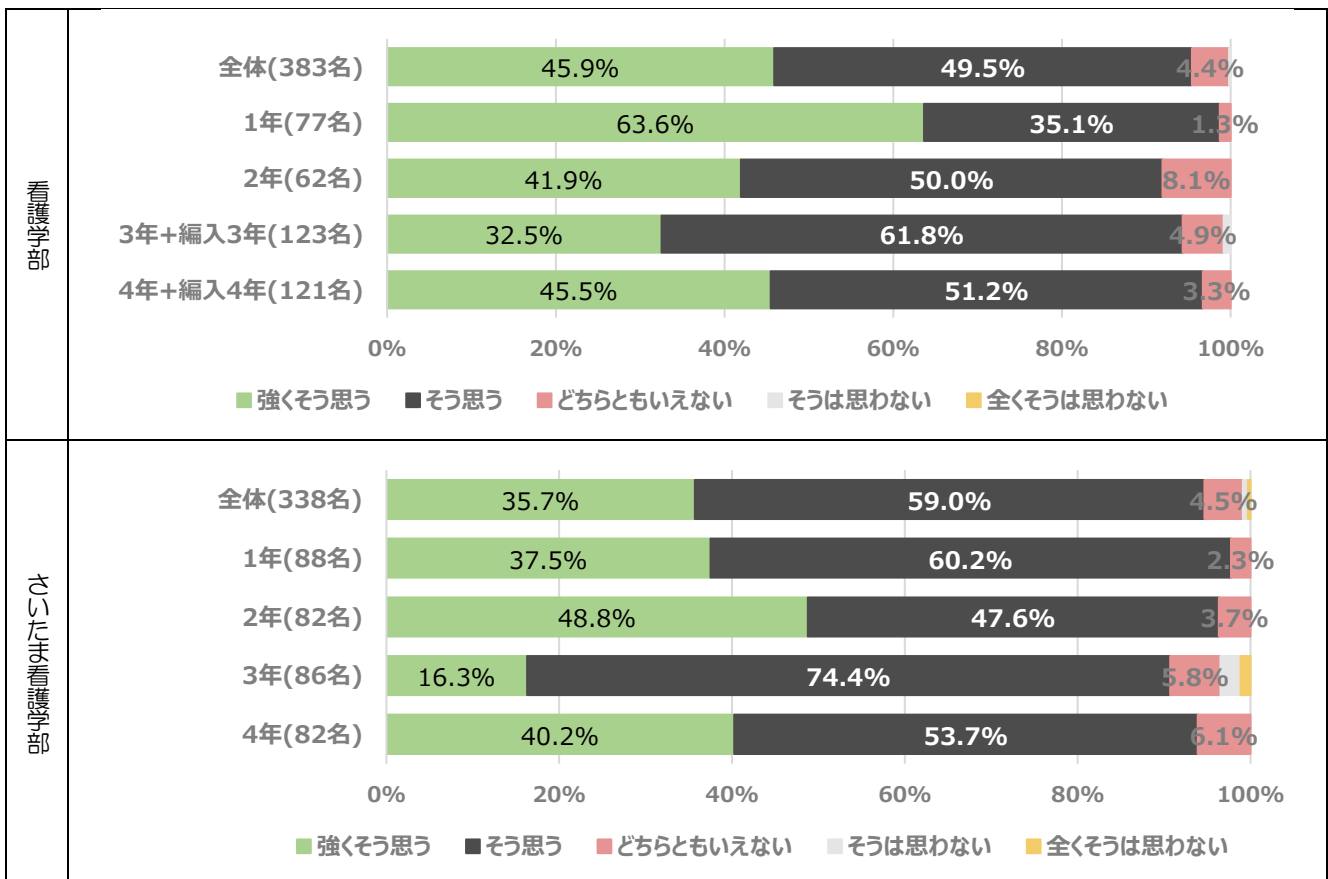


2-3 医療の高度化や看護ニーズの多様化等に対応する専門的能力を育成するようなカリキュラムである

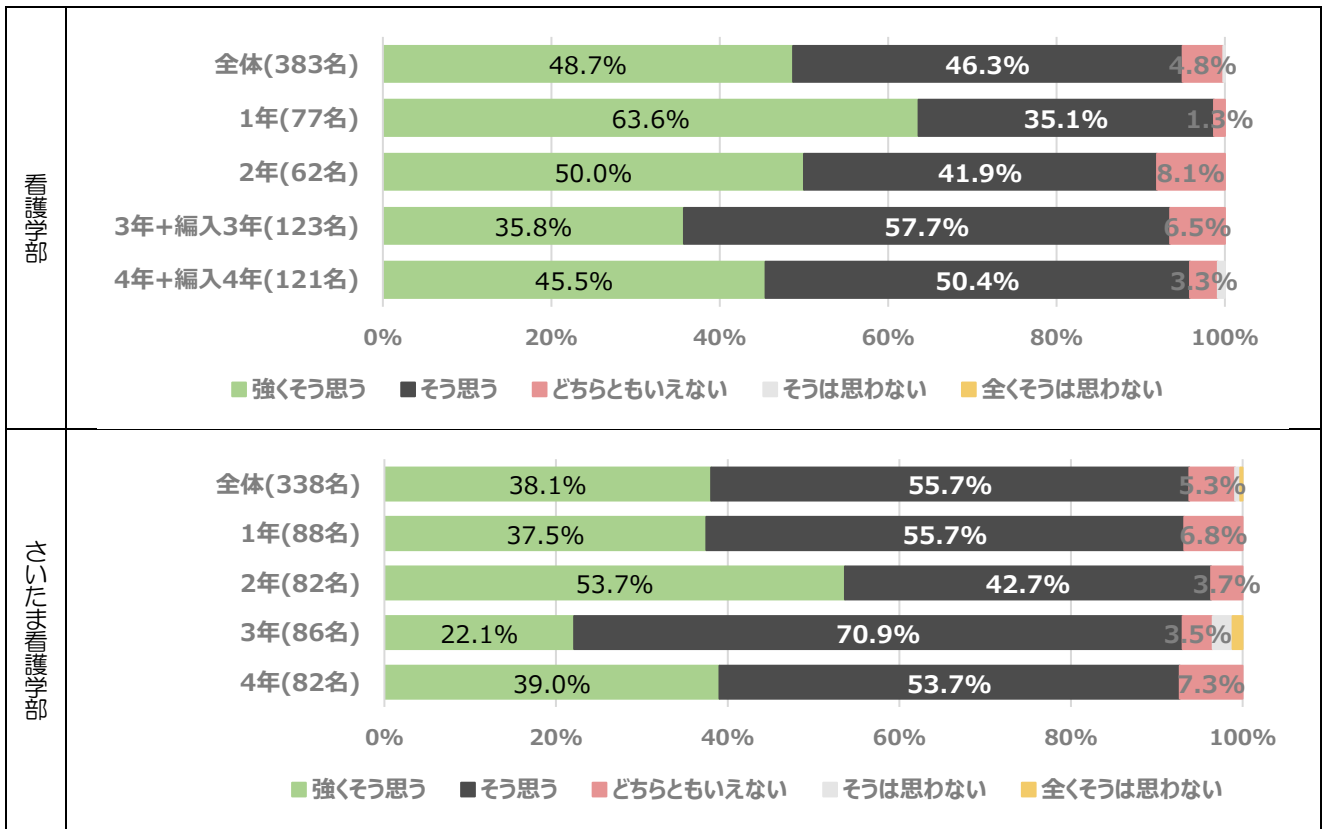


▶ 教育等に関する調査

2-4 エビデンスに基づいた看護を展開できる力を育成するようなカリキュラムである

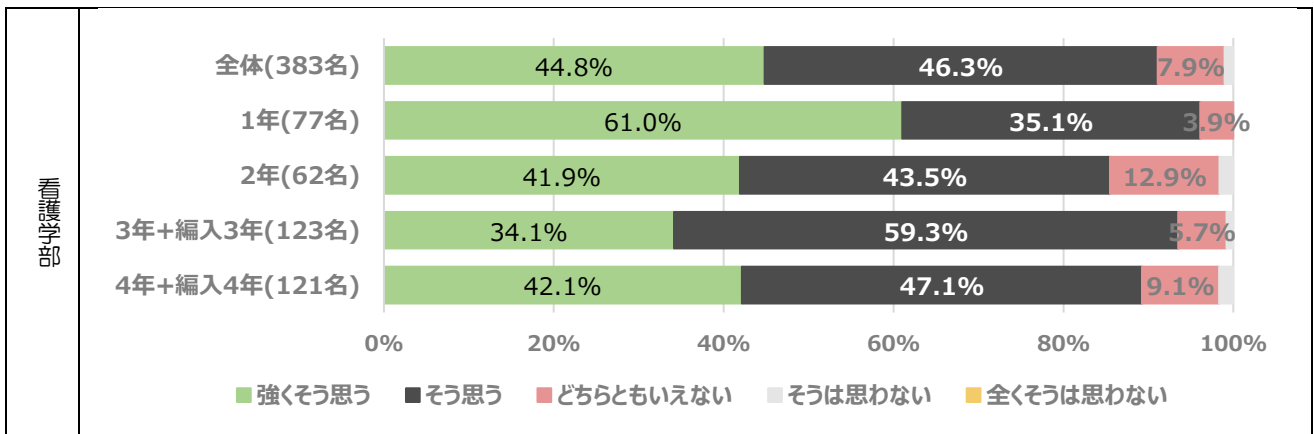


2-5 さまざまな健康レベルや場に応じた課題に対応できる実践能力を育成するようなカリキュラムである

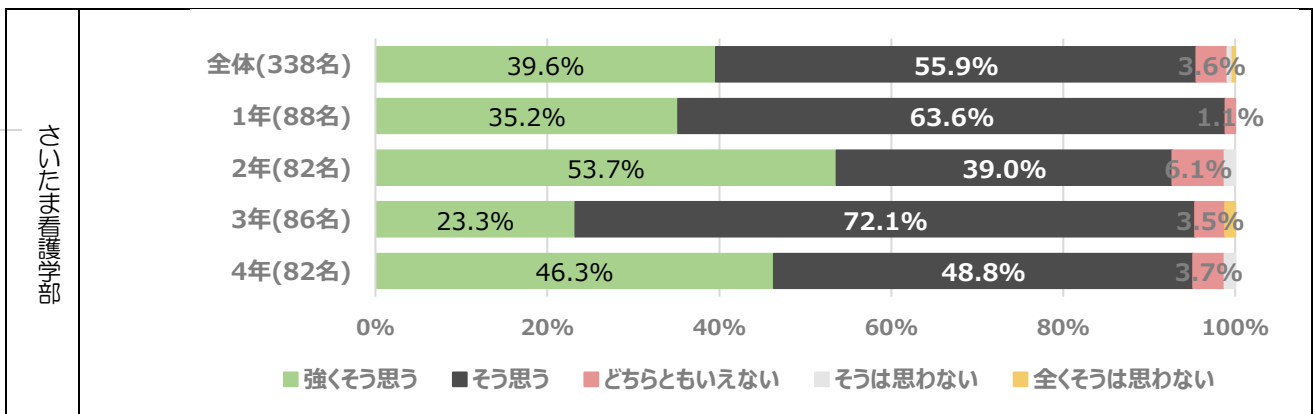


▶ 教育等に関する調査

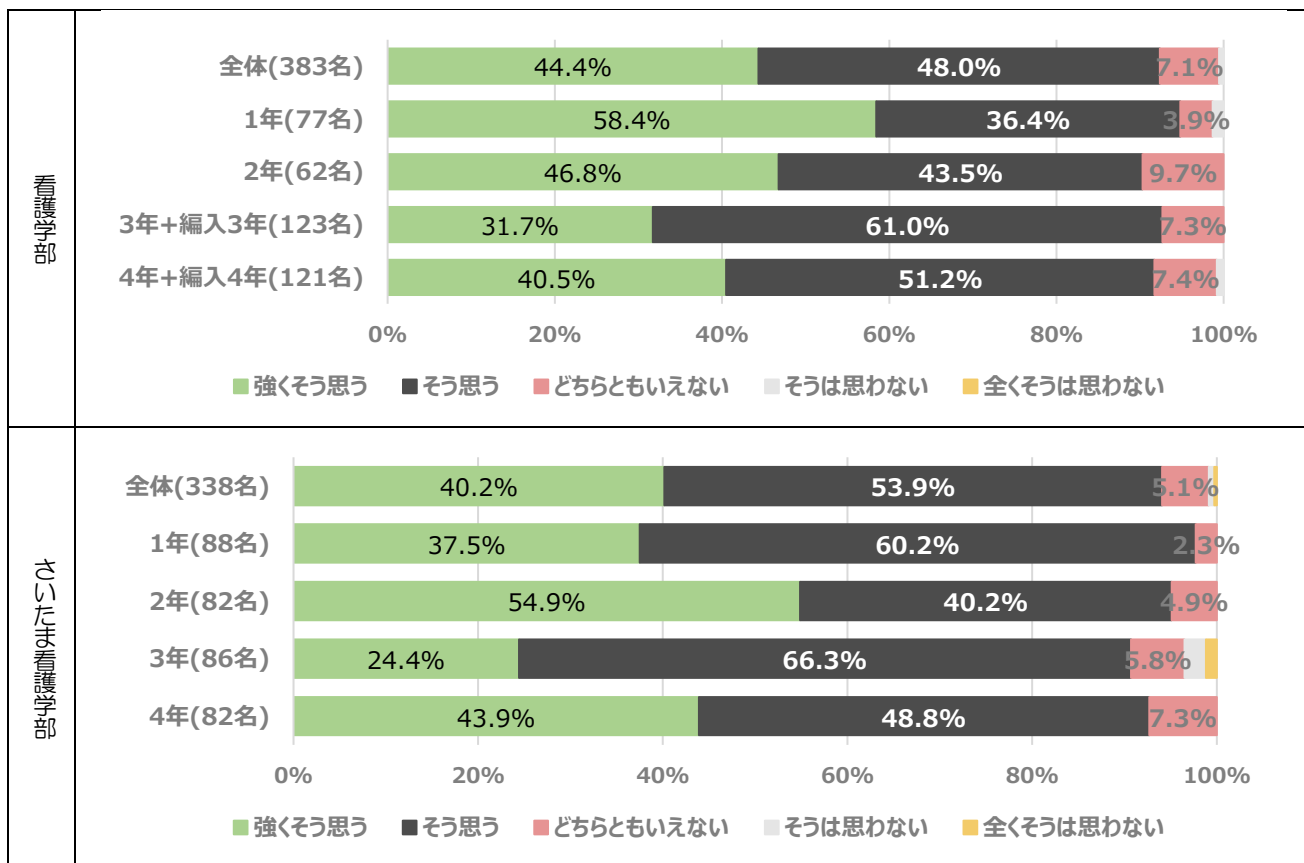
2-6 国内外の災害救援・救護や国際開発協力等における実践能力を育成するようなカリキュラムである (看護学部)



2-7 コミュニティで生きる人々の視点に基づいた看護支援を行うための能力の育成に向けてコミュニティアートを系統的に学ぶことができるカリキュラムである (さいたま看護学部)

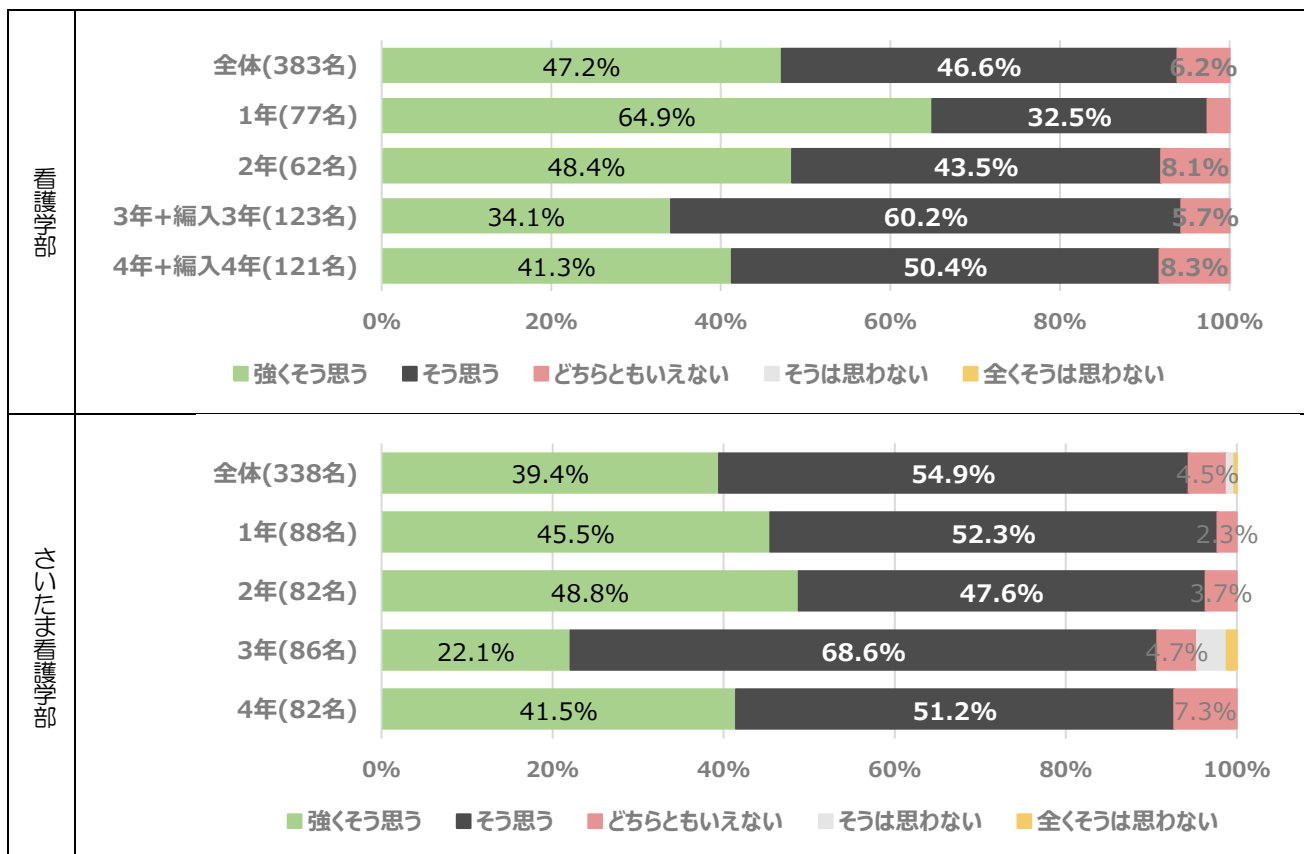


2-8 看護職（保健師・看護師）に共通する地域社会（コミュニティ）の中で連携して実践していくための能力を育成するようなカリキュラムである

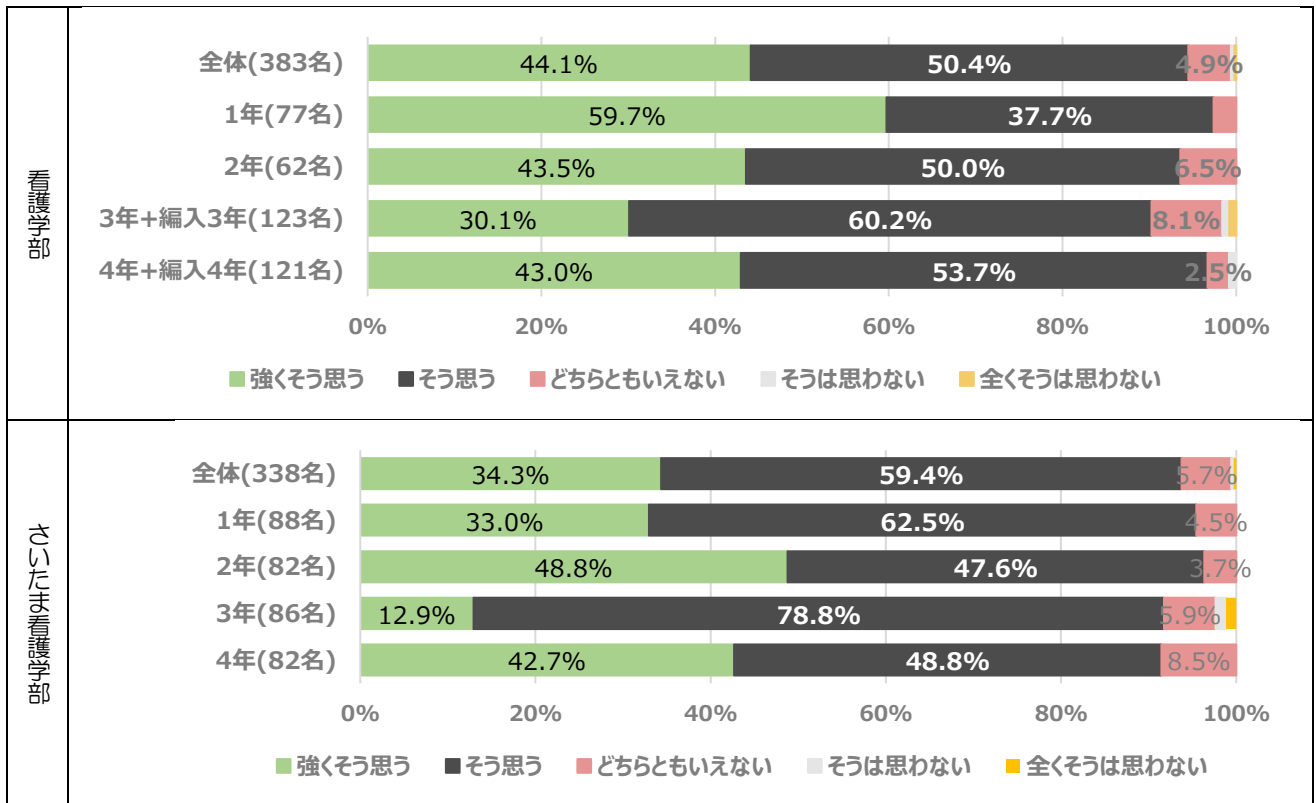


▶ 教育等に関する調査

2-9 学習段階に応じたレベル別の看護学実習を展開するようなカリキュラムである

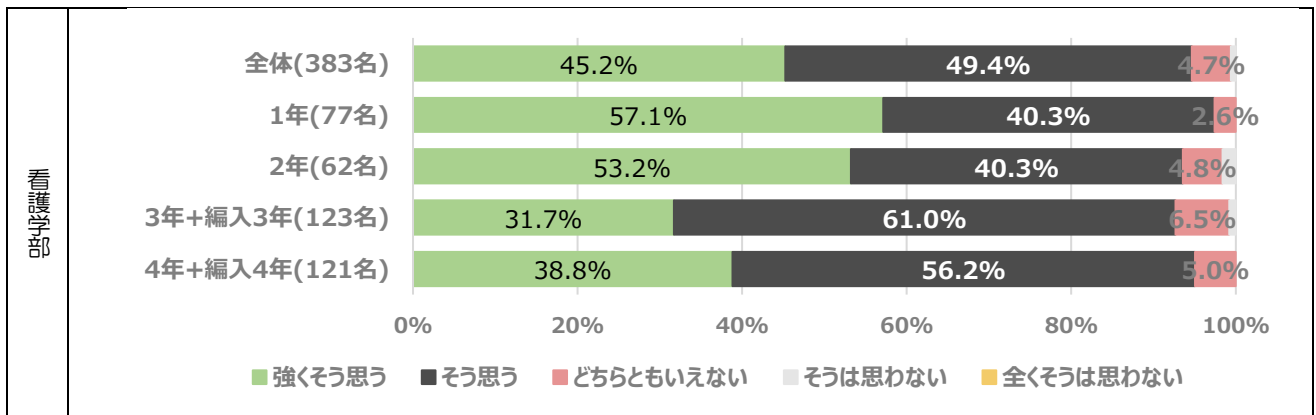


2-10 一人ひとりの人間がもつ固有の価値を認めて関係を築く能力と人間の尊厳と権利を擁護する能力を育成するようなカリキュラムである

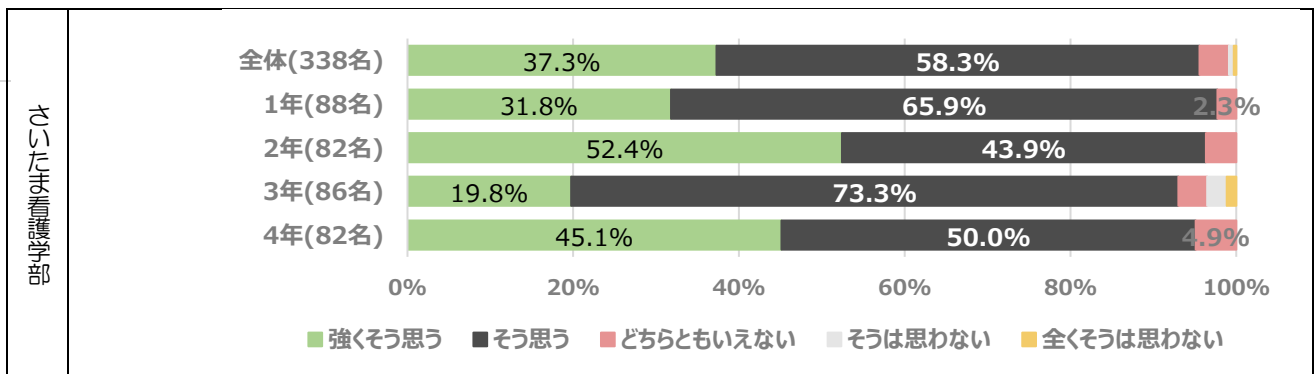


教育等に関する調査

2-11 健康レベルに応じた看護実践能力に加え、急性期化する医療機関での看護実践能力を育成するようなカリキュラムである (看護学部)

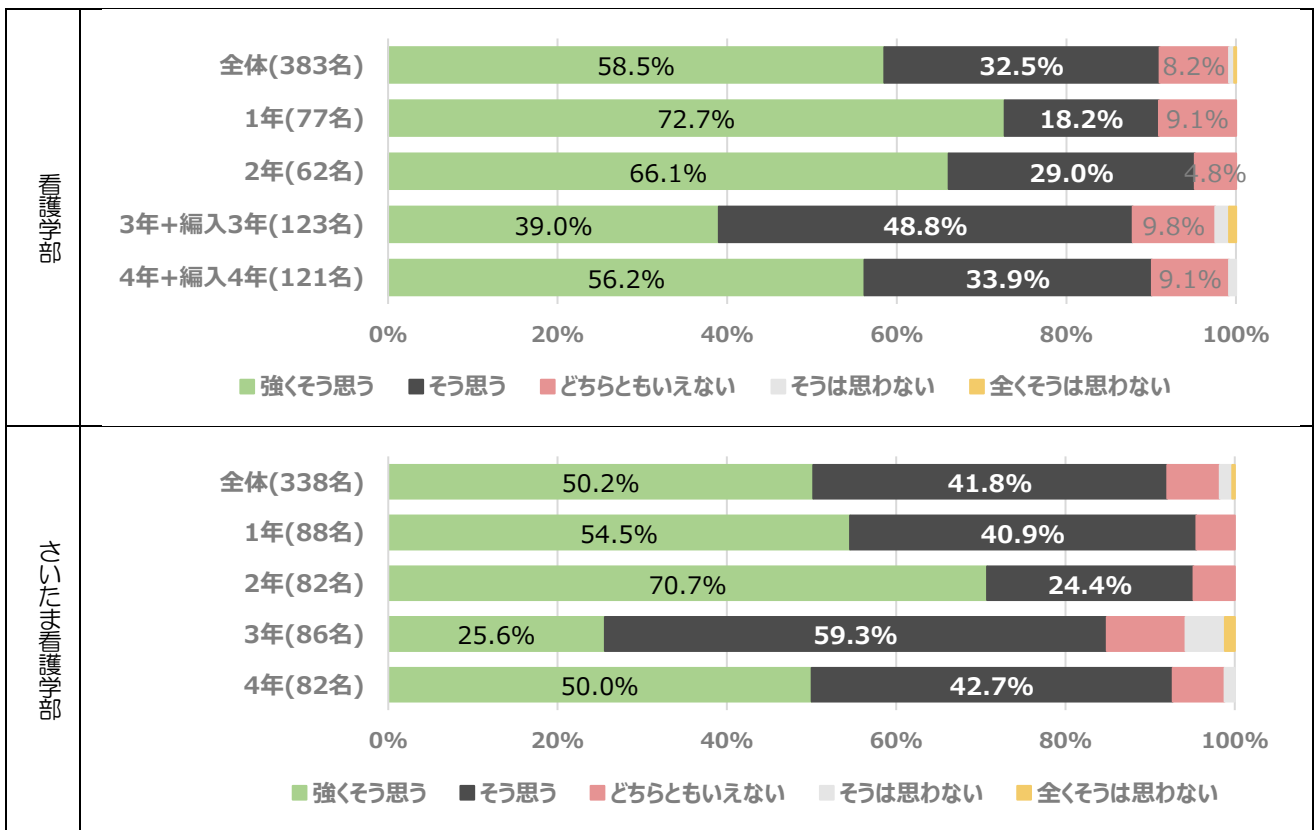


2-12 健康レベルに応じた看護実践能力に加え、人々の生活の場であるコミュニティでの看護実践能力を育成するようなカリキュラムである (さいたま看護学部)



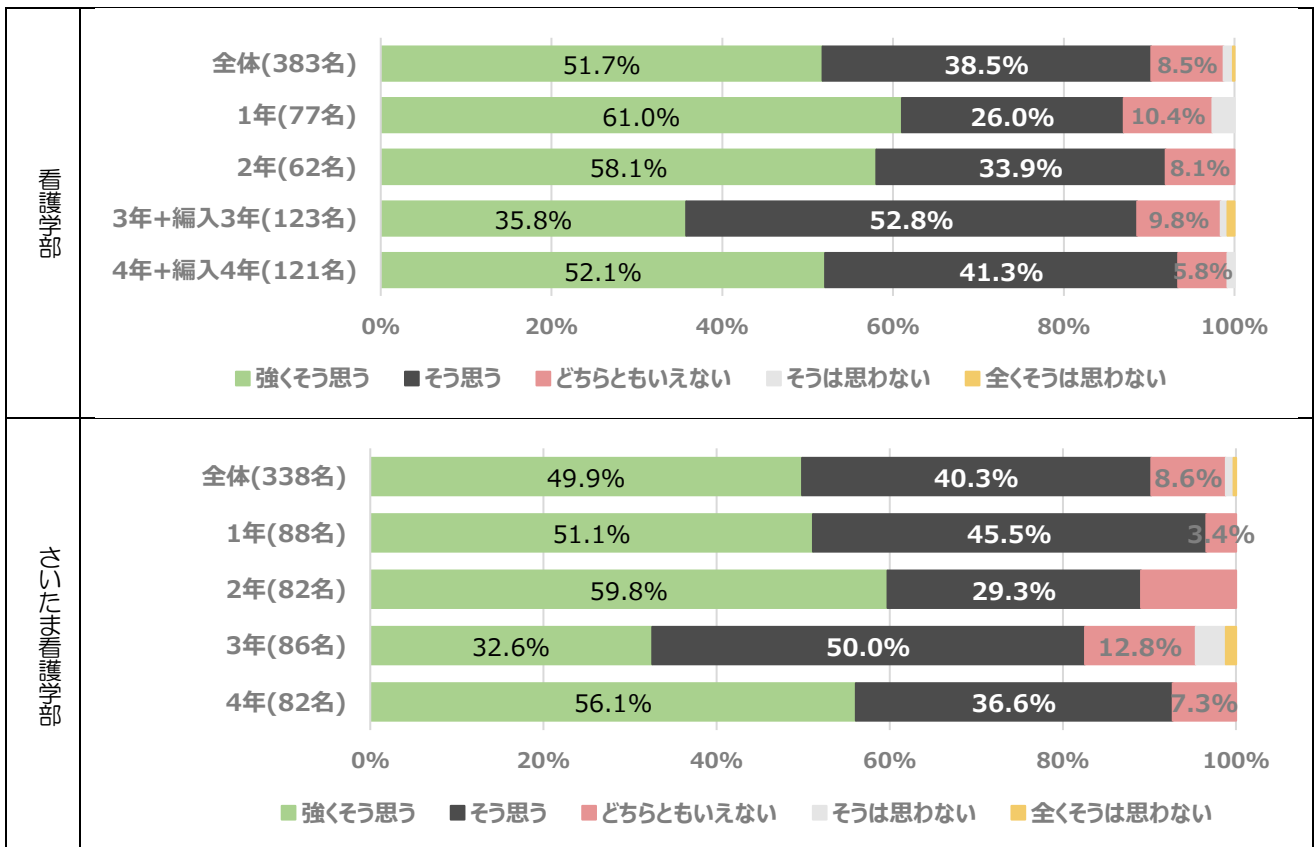
3 学生生活における満足度

3-1 学生一人一人を尊重してくれる教員が多い

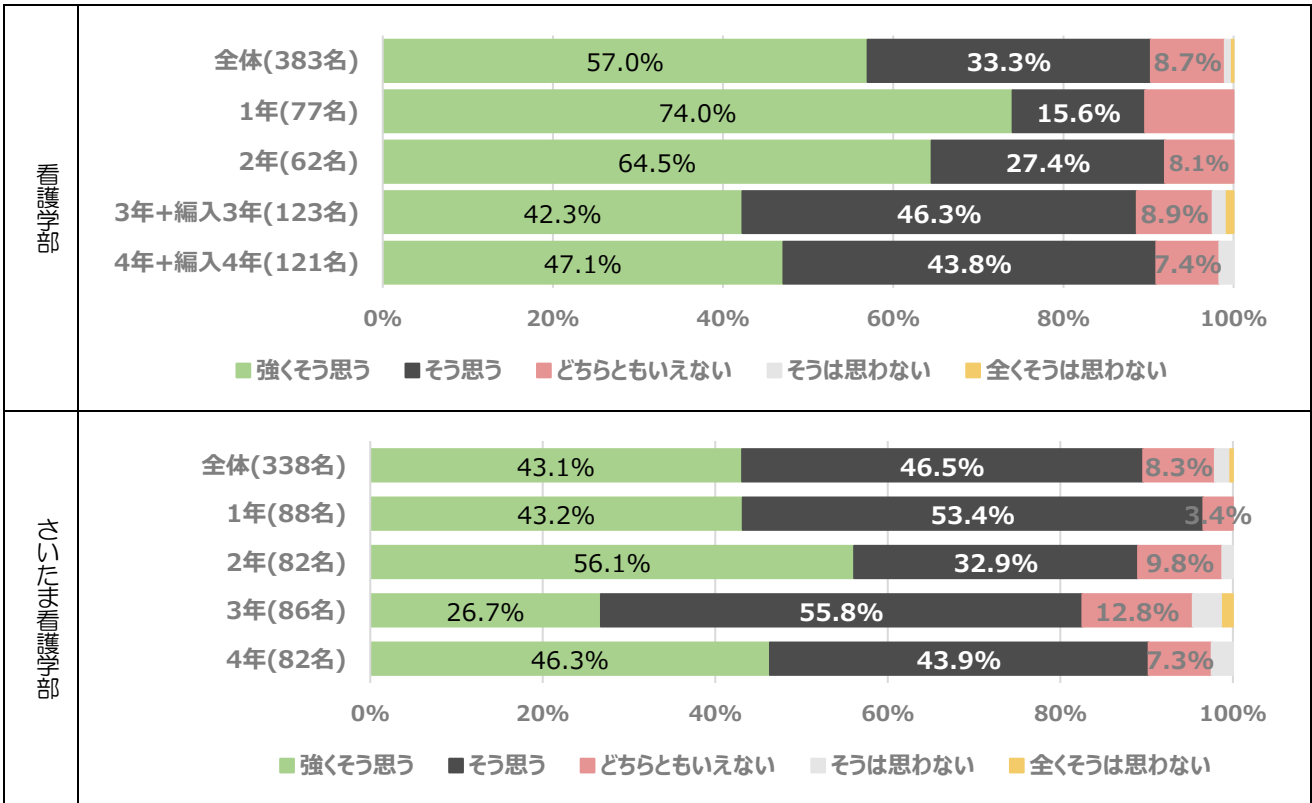


▶ 教育等に関する調査

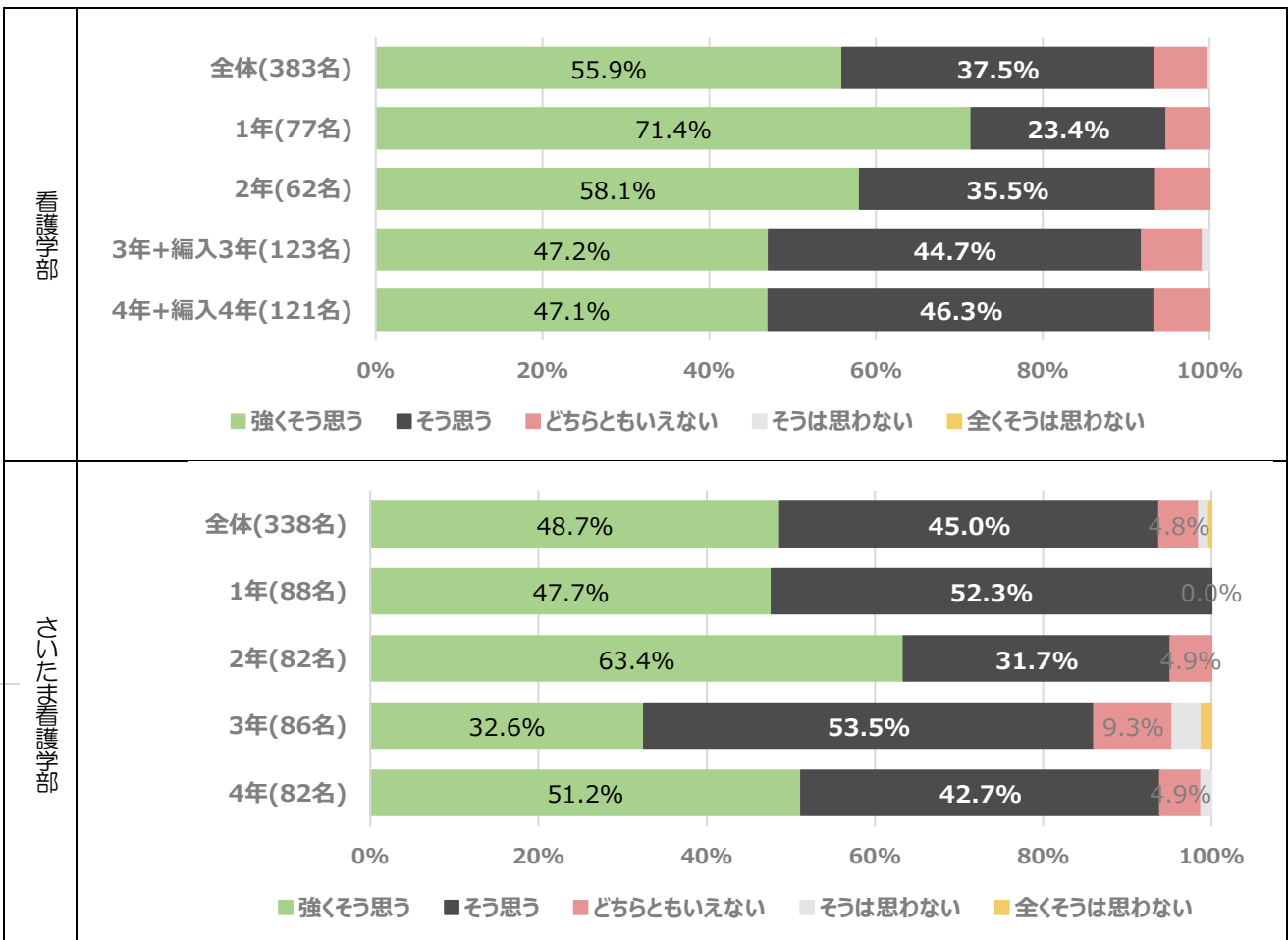
3-2 授業以外でも、学生の質問や意見に適切に対応してくれる教員が多い



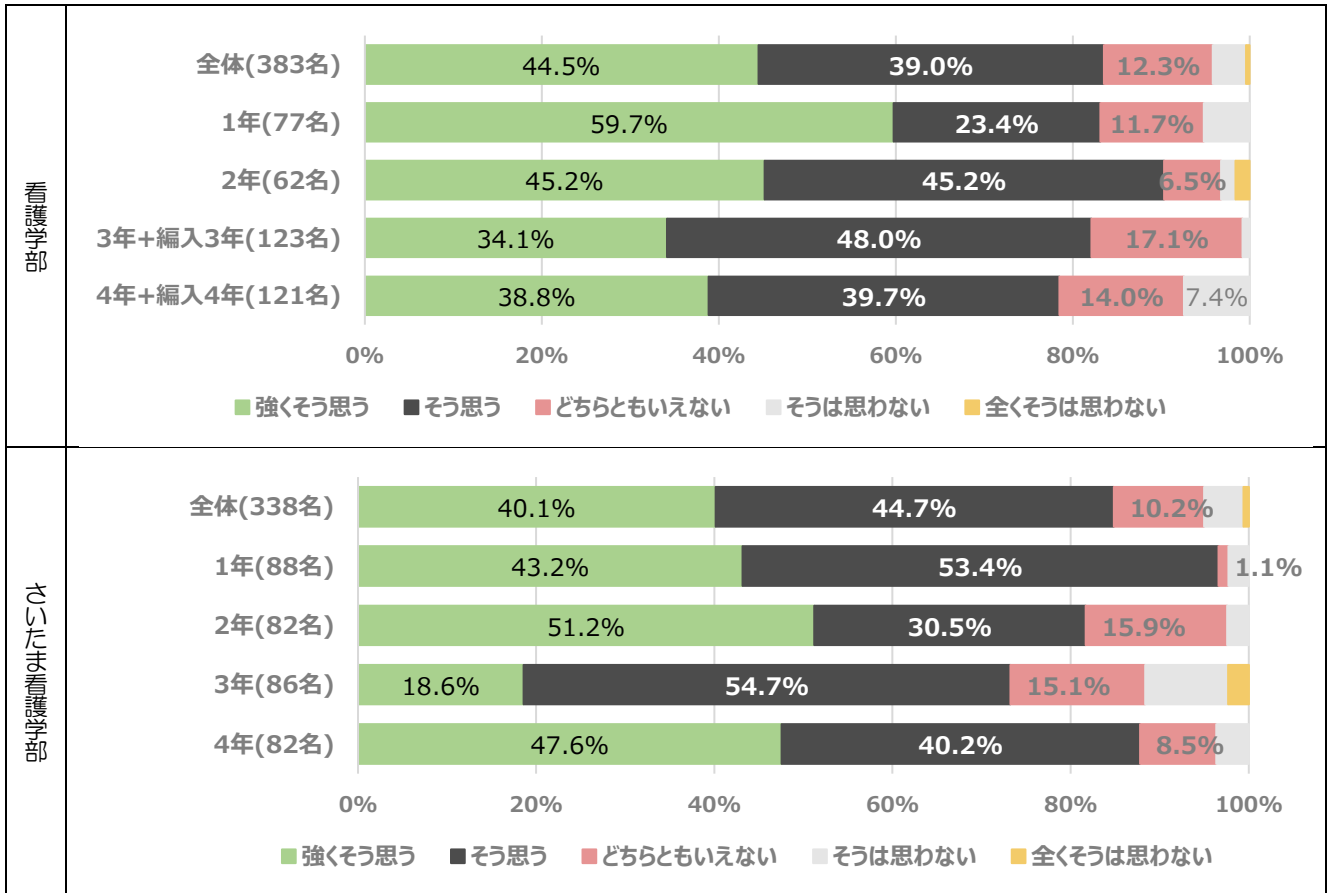
3-3 人間的に魅力があり、尊敬できる教員が多い



3-4 学問分野の専門家として優れた教員が多い

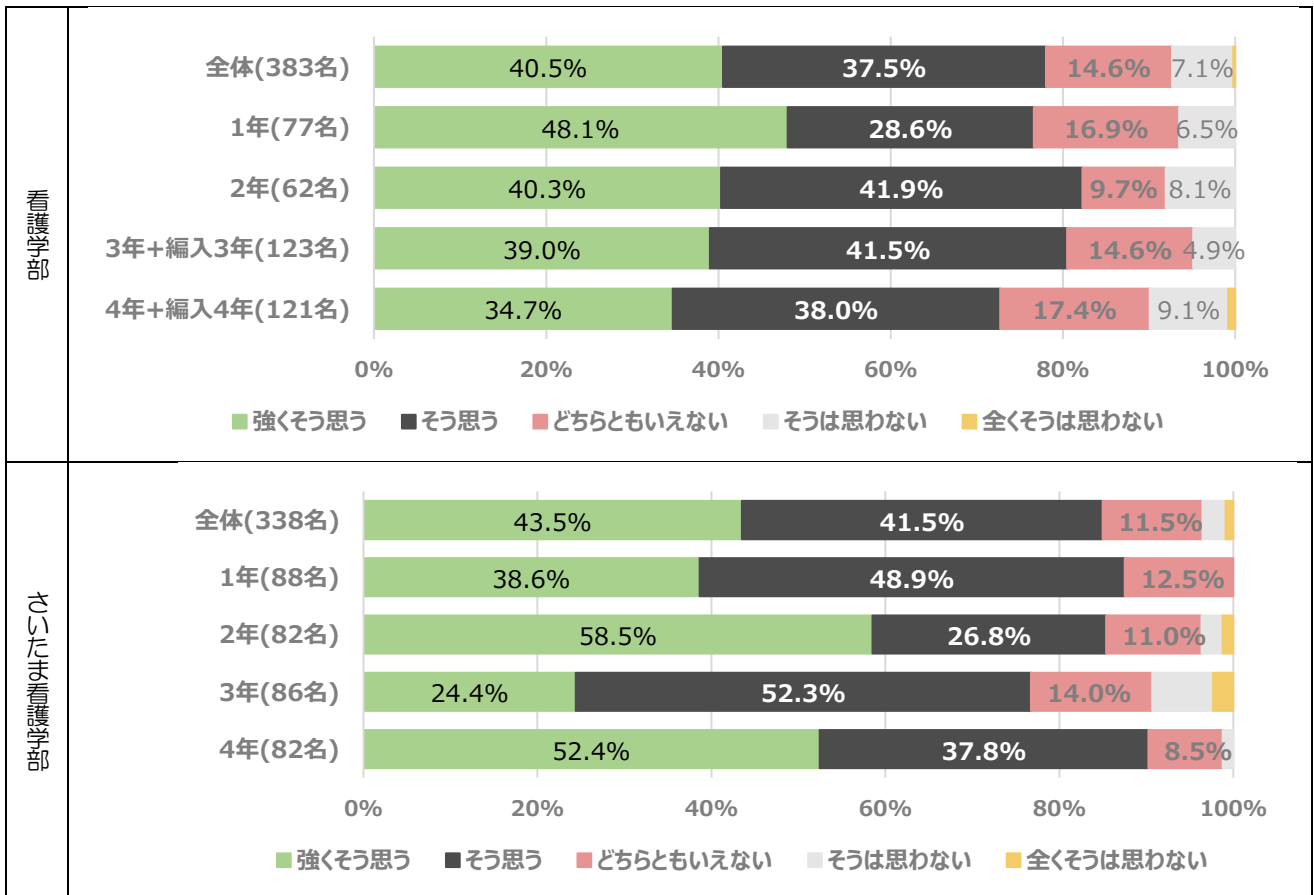


3-5 教員による個別指導が充実している

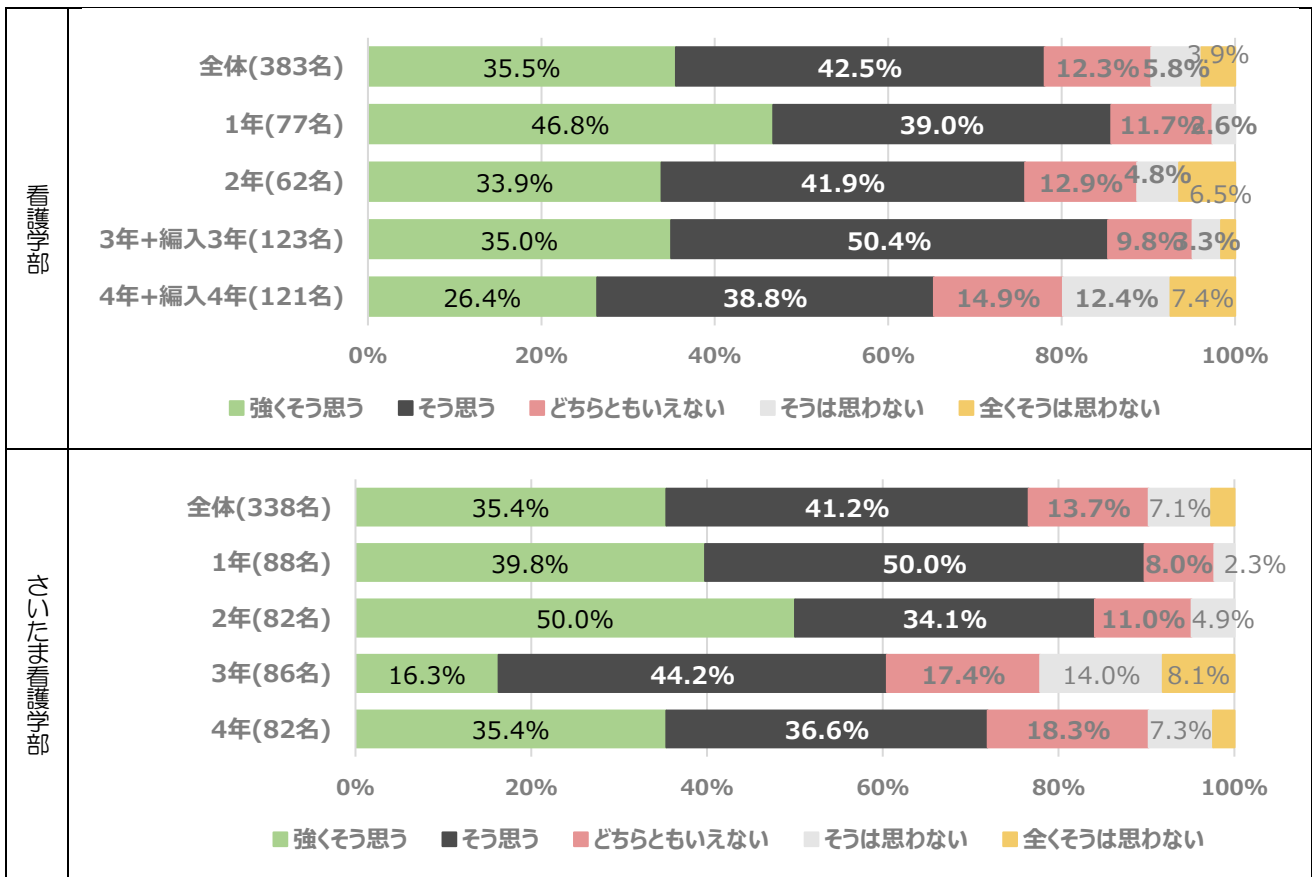


▶ 教育等に関する調査

3-6 クラス担当教員による支援に満足している／学生担当教員による支援に満足している

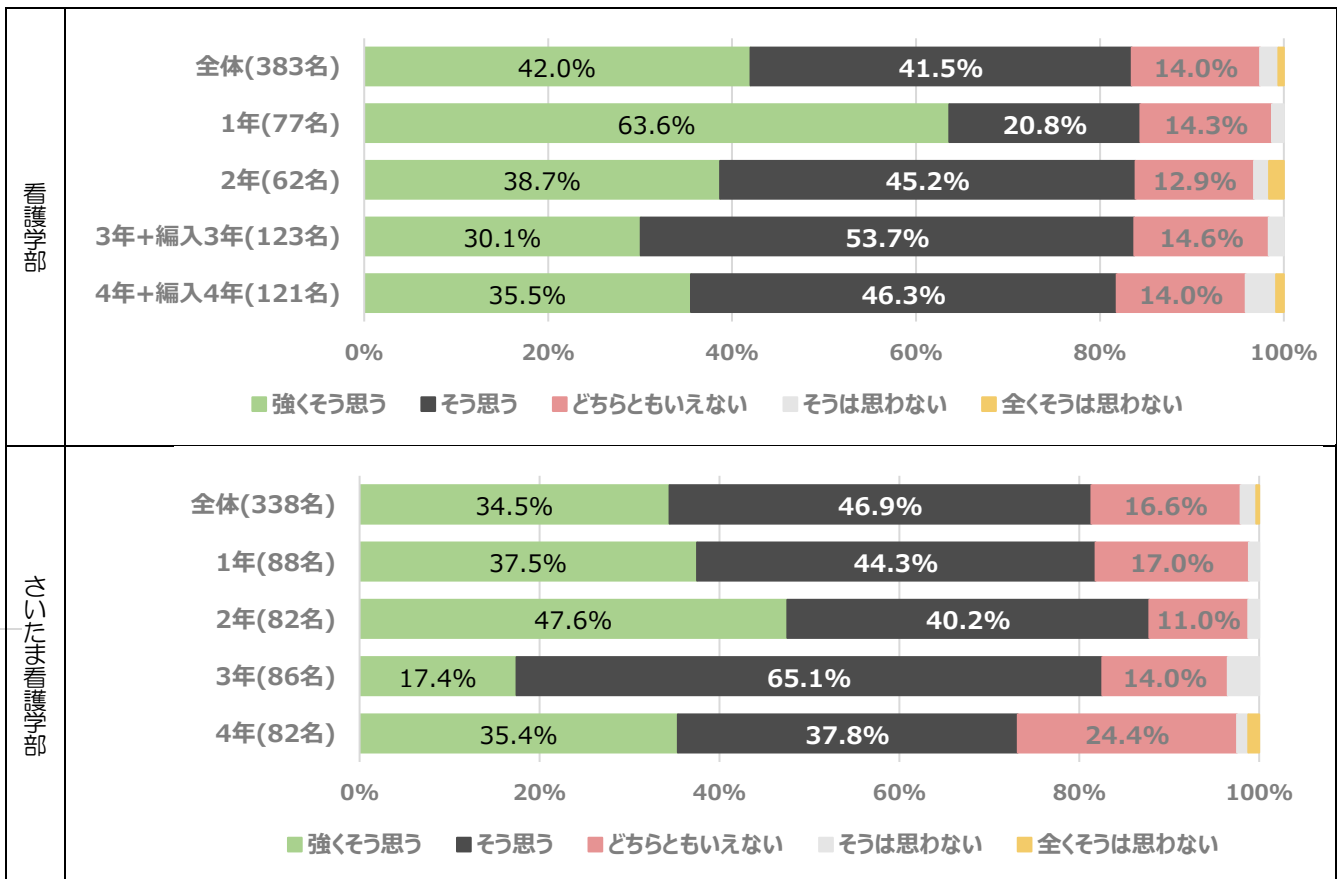


3-7 事務職員の対応や支援に満足している

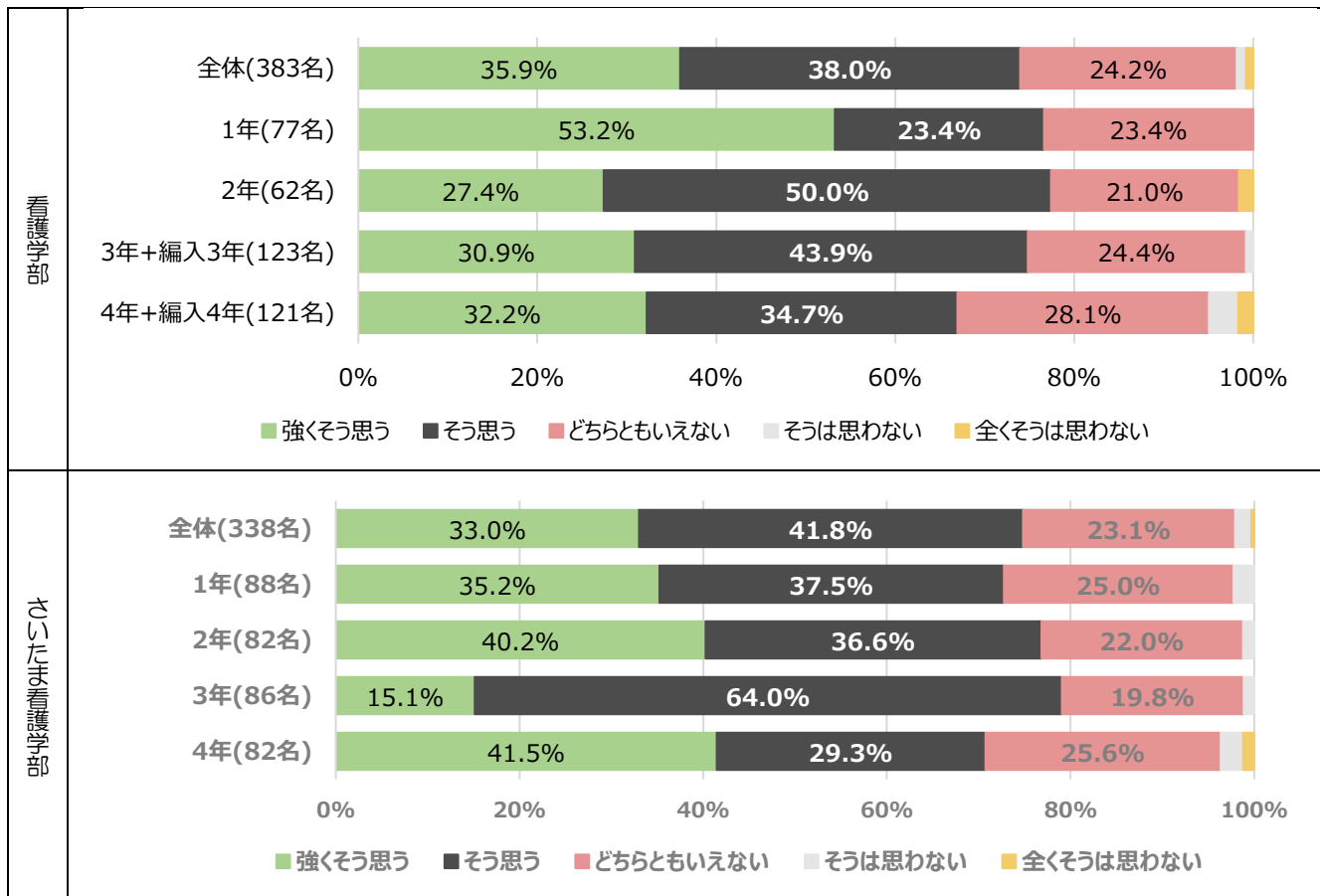


A 教育等に関する調査

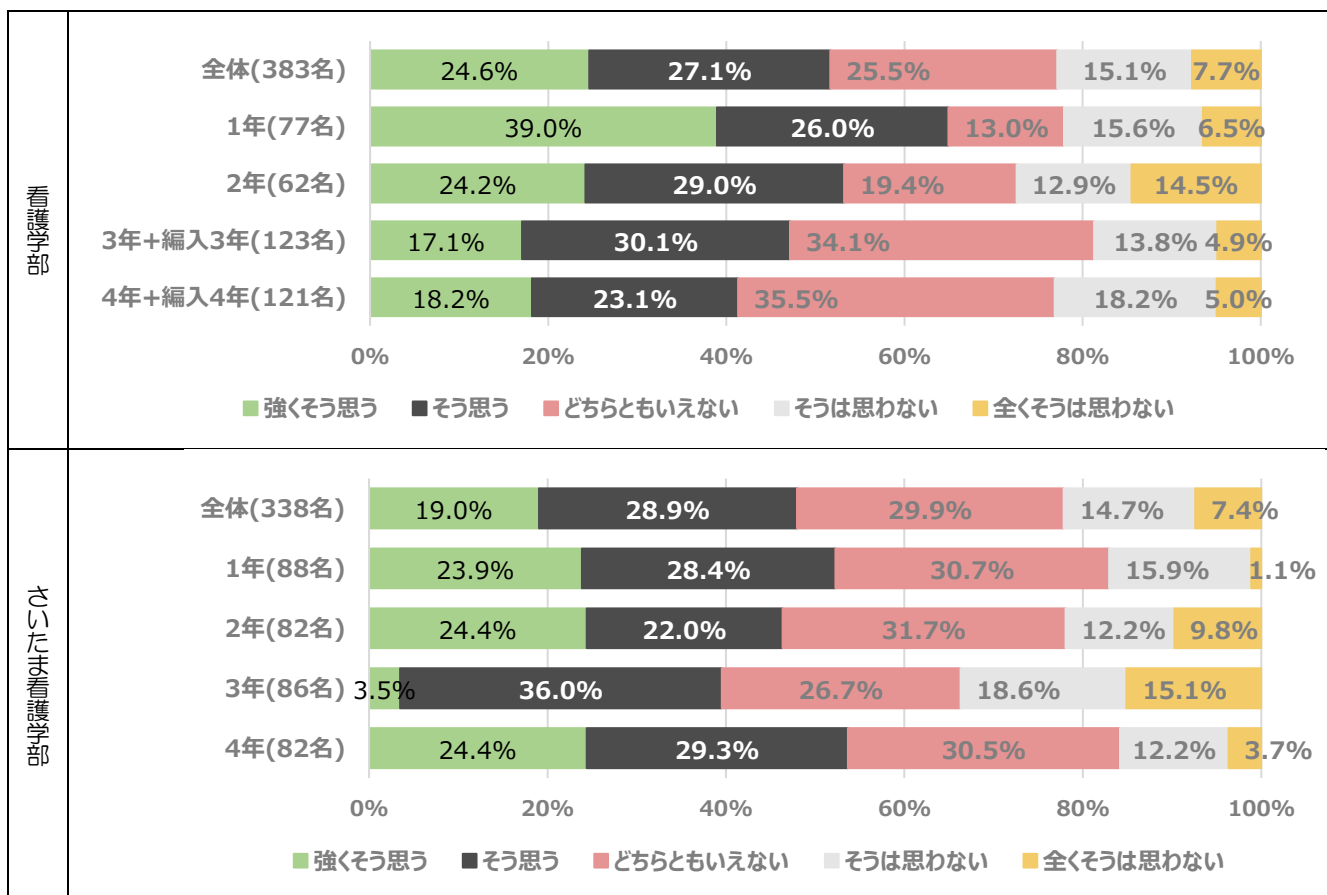
3-8 保健室による支援に満足している



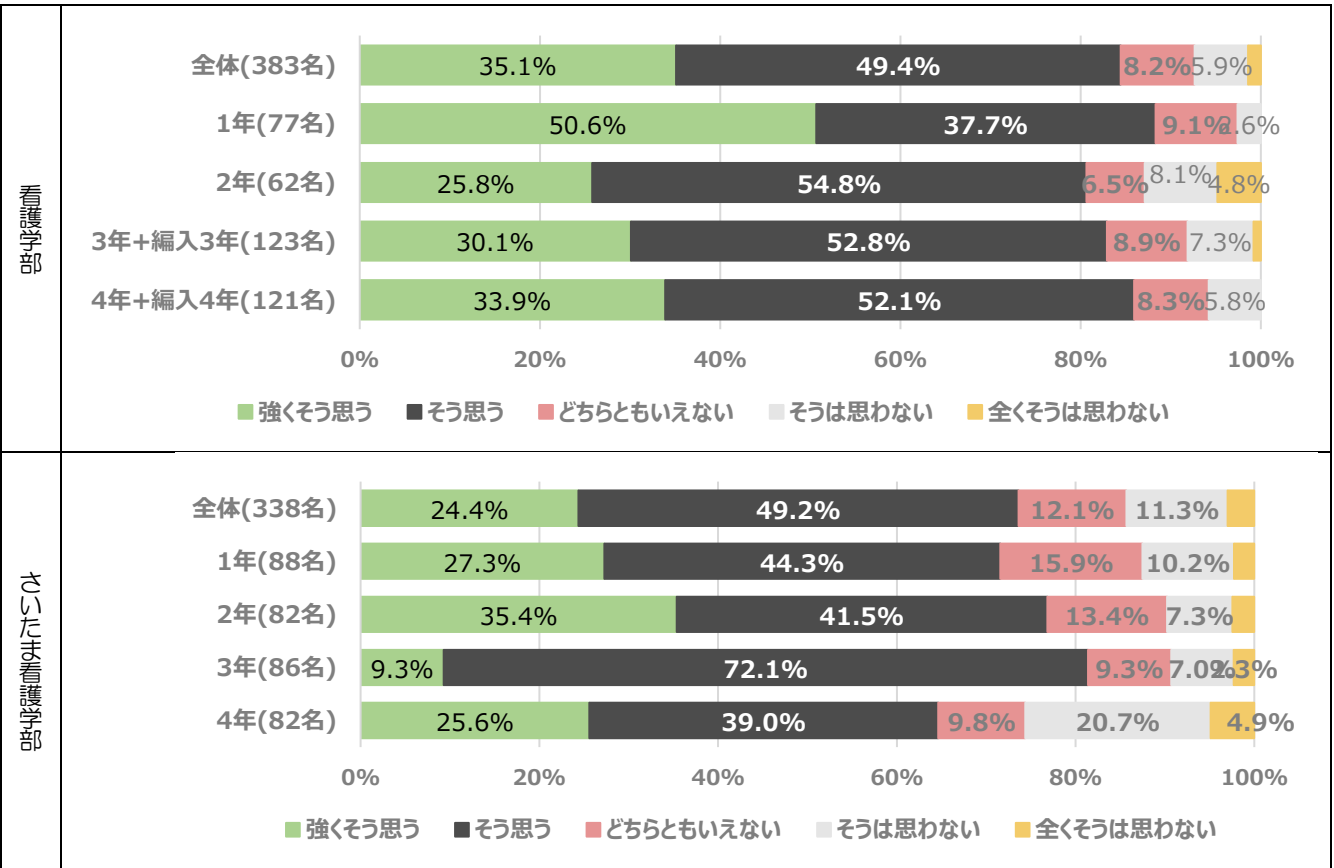
3-8 学生相談室による支援に満足している



3-9 課外活動(部活・サークル・学園祭)に関する支援に満足している

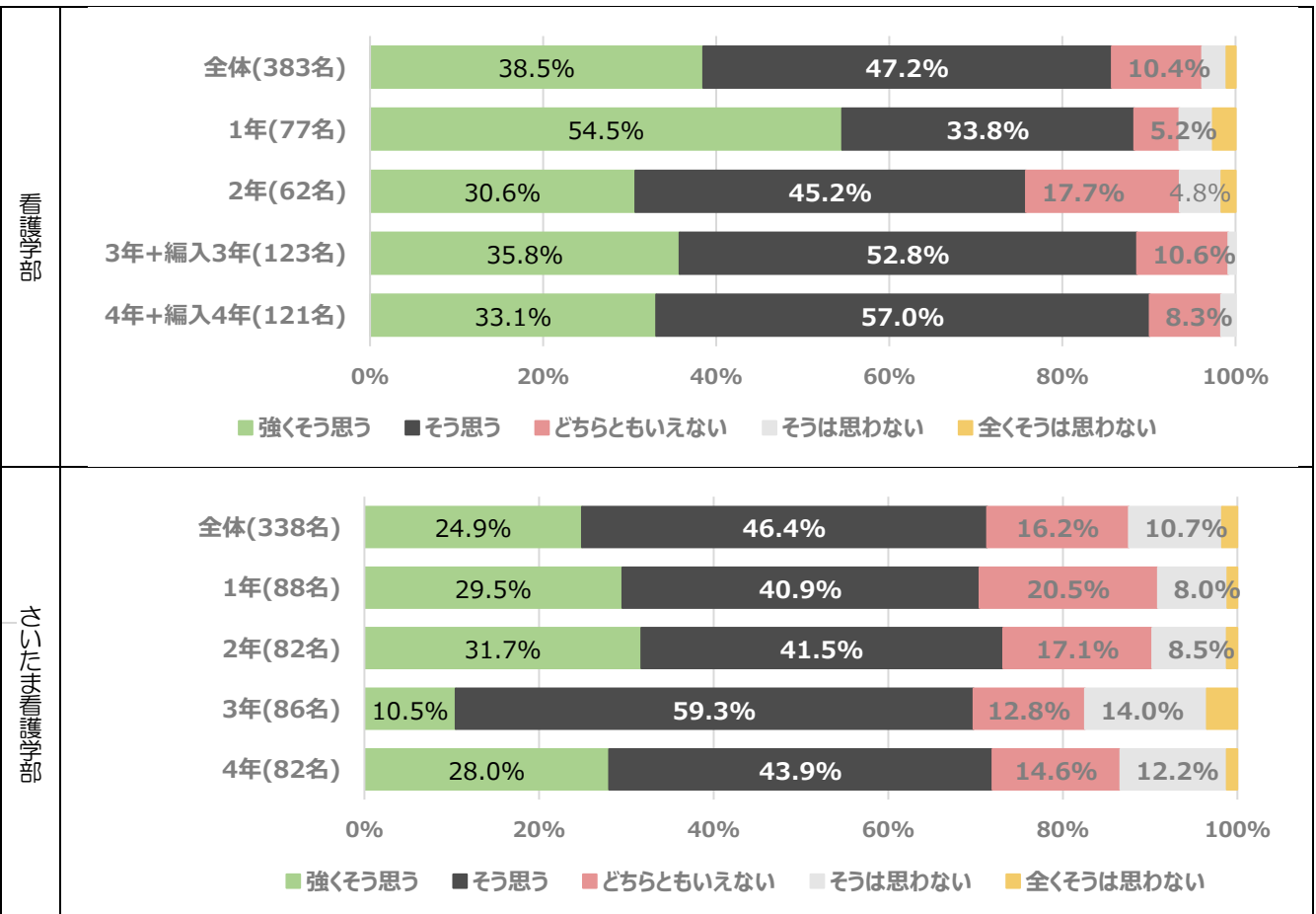


3-10 図書館の開館時間は適切である

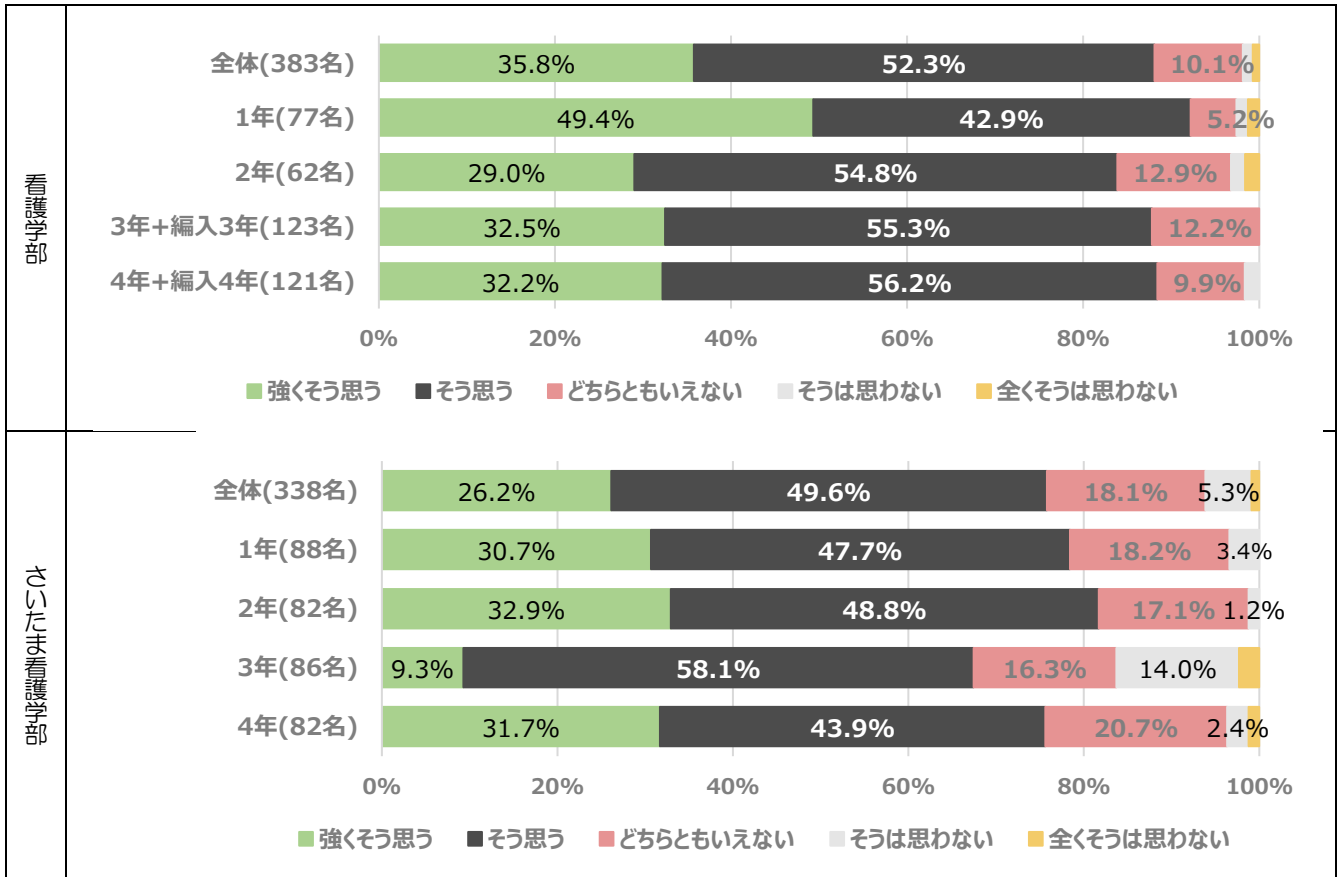


教育等に関する調査

3-11 図書館の蔵書の種類や冊数は十分である

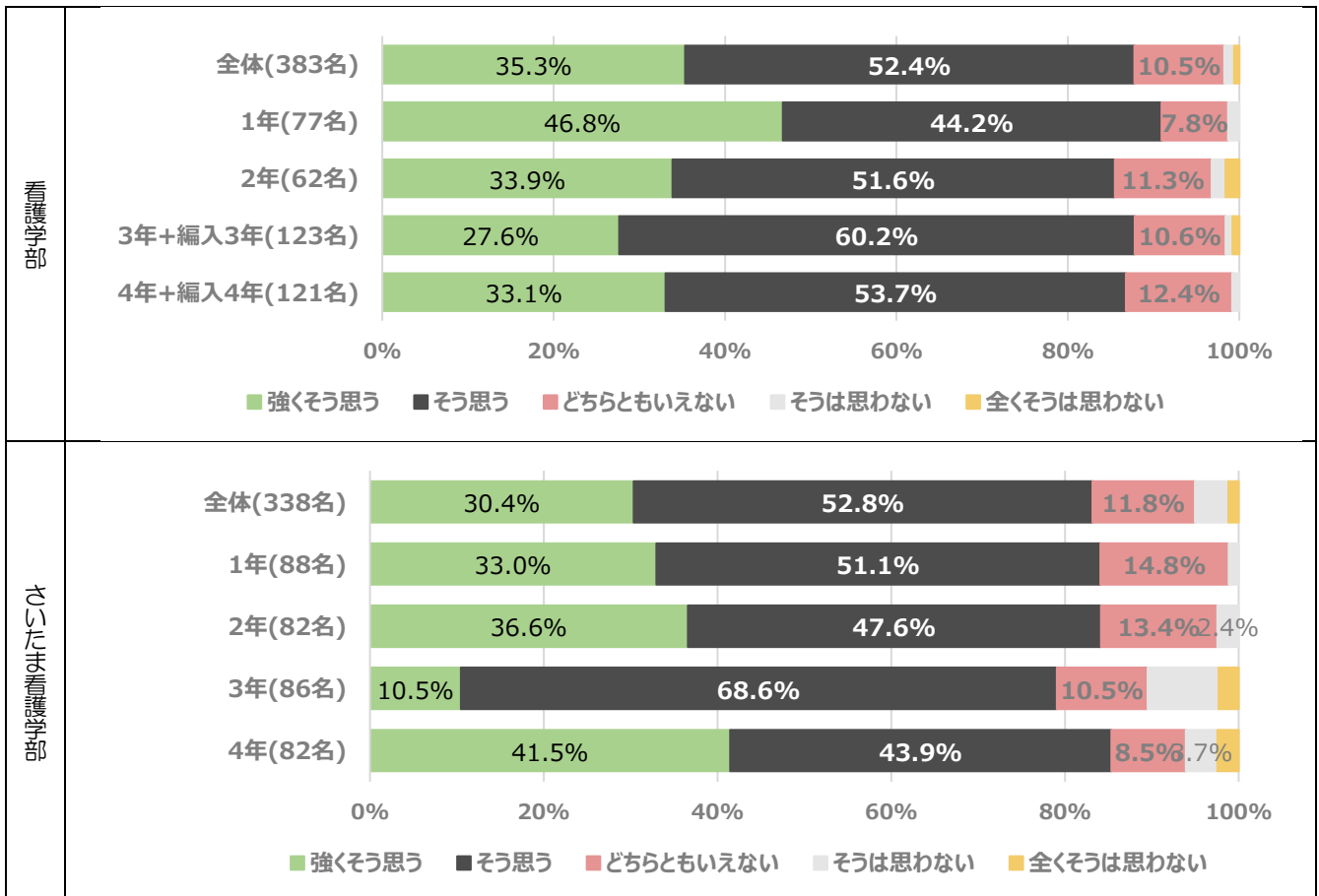


3-12 図書館の文献検索システムは充実している

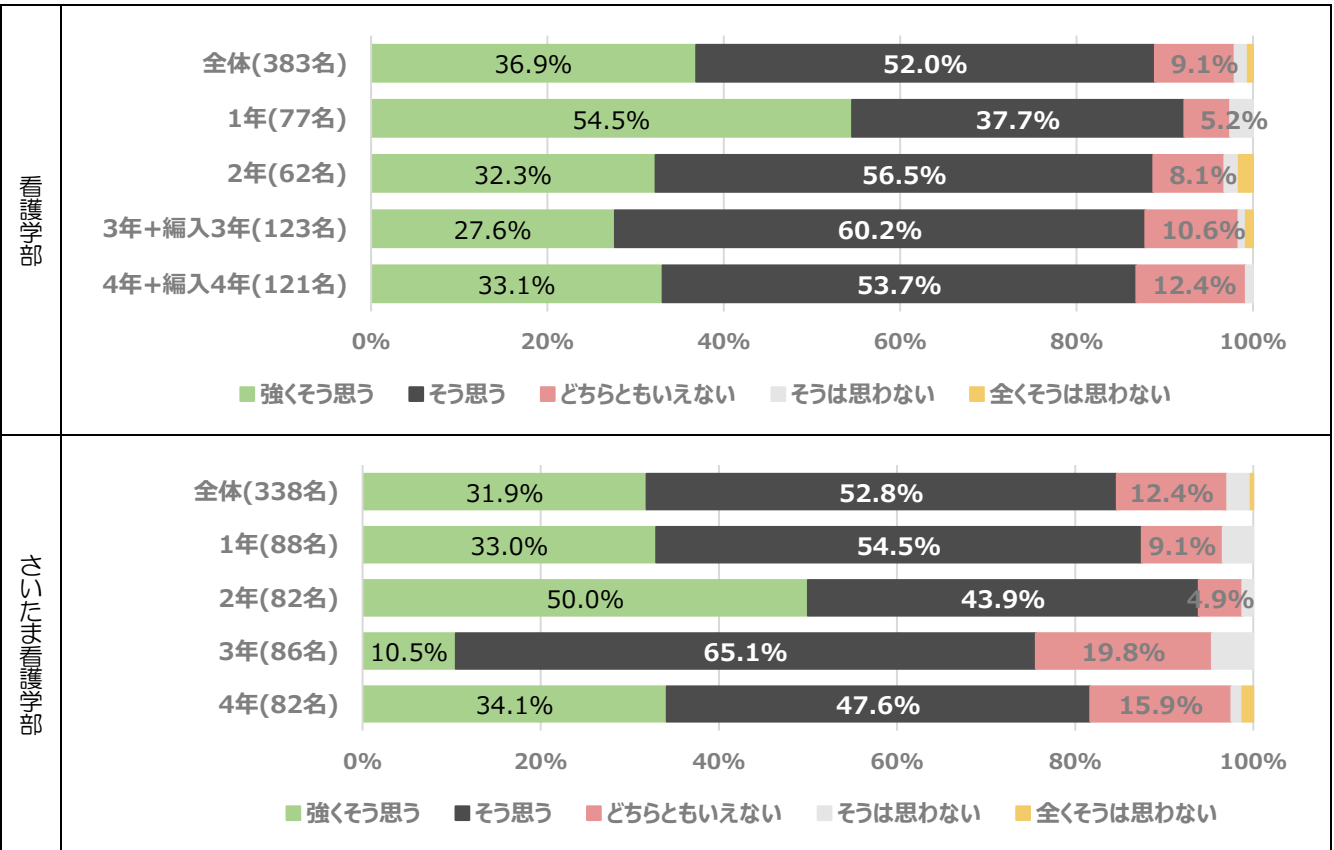


▶ 教育等に関する調査

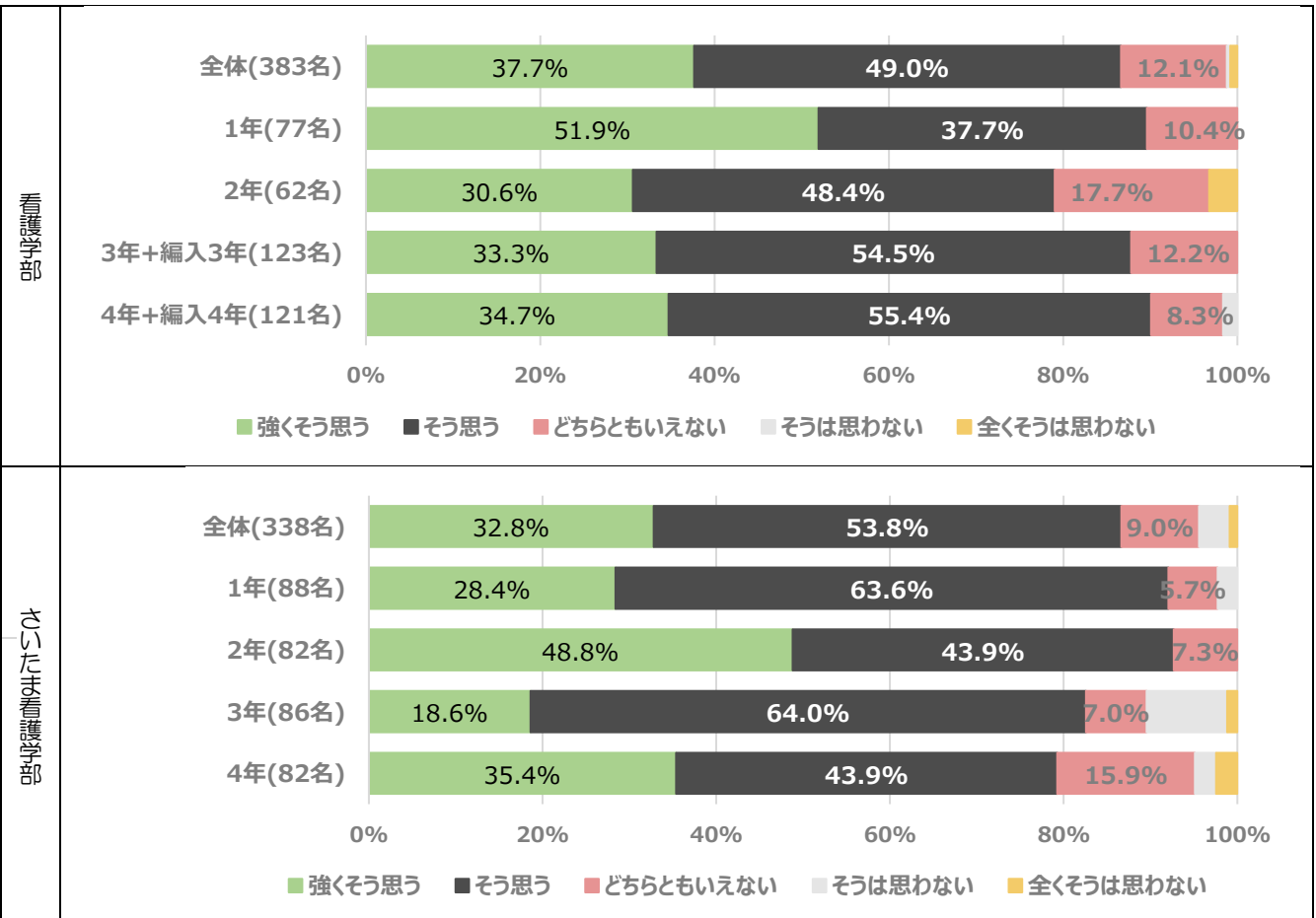
3-13 図書館に関する情報の案内（メールによる情報提供等）は充実している



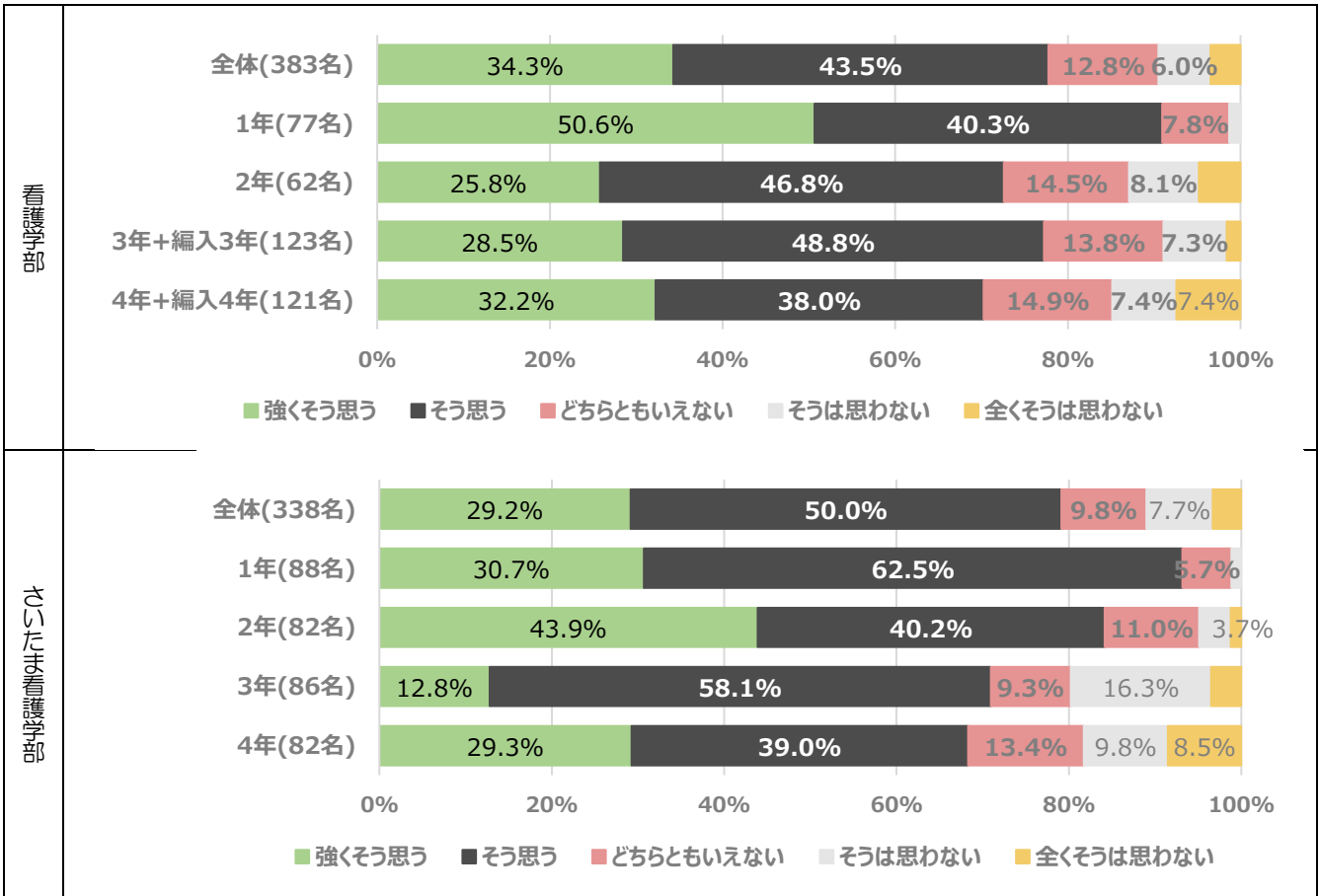
3-14 図書館の利用に関する支援に満足している



3-15 情報処理室あるいは視聴覚教室の開室時間は適切である

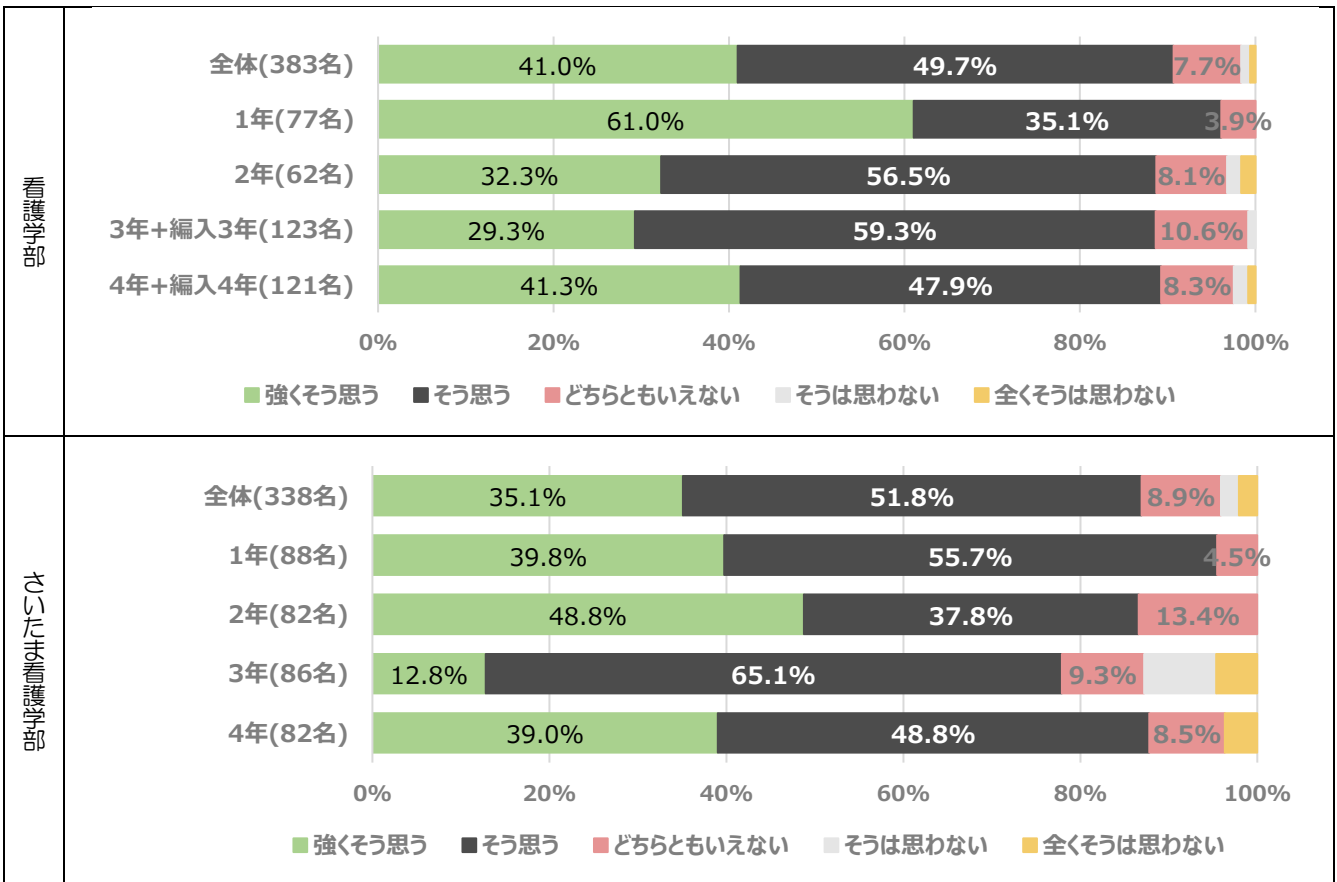


3-16 情報処理室あるいは視聴覚教室のパソコン・印刷機の処理能力や使えるアプリケーションは十分である

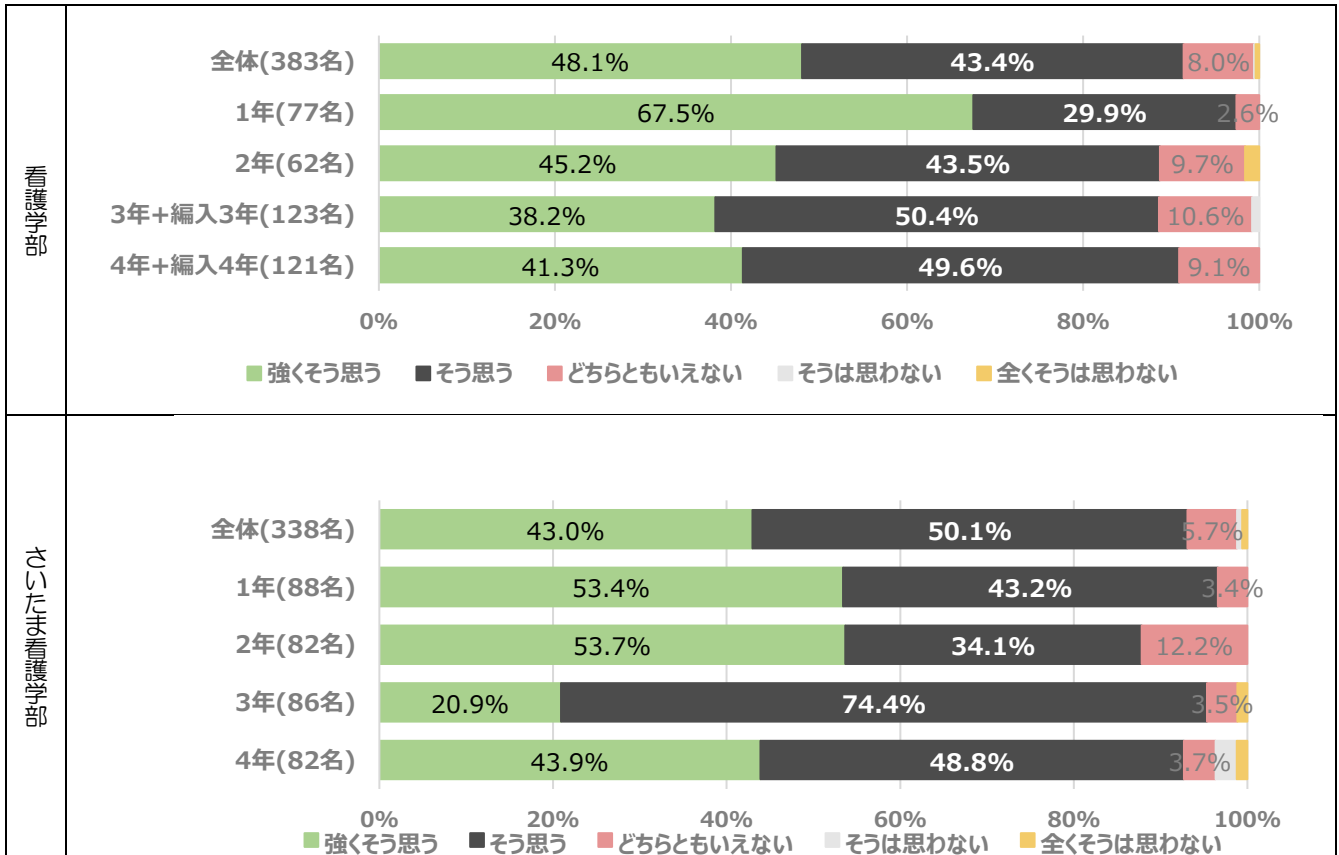


▶ 教育等に関する調査

3-17 情報処理室あるいは視聴覚教室で利用できるパソコンの台数は十分である

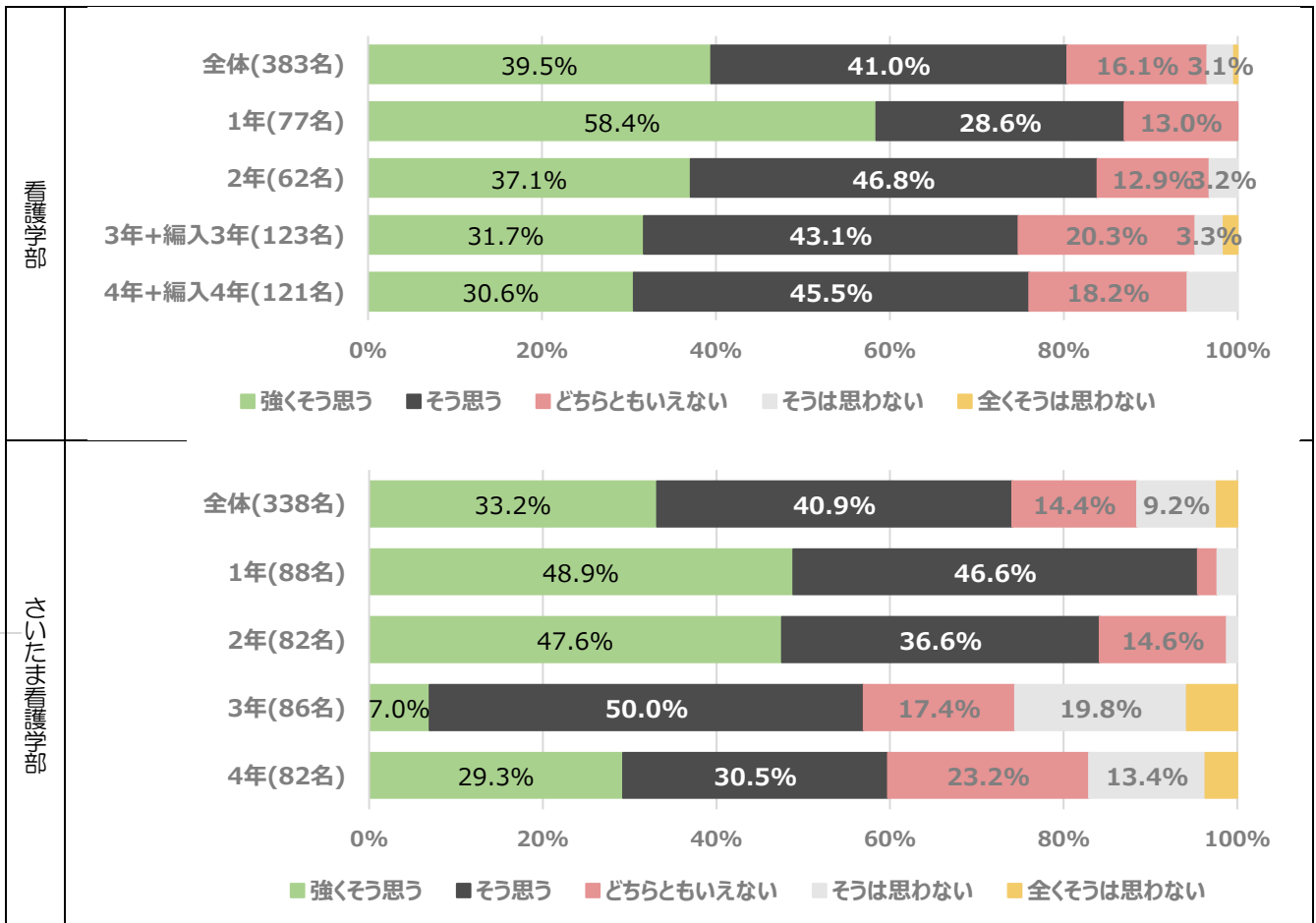


3-18 実習室の教育器材は充実している

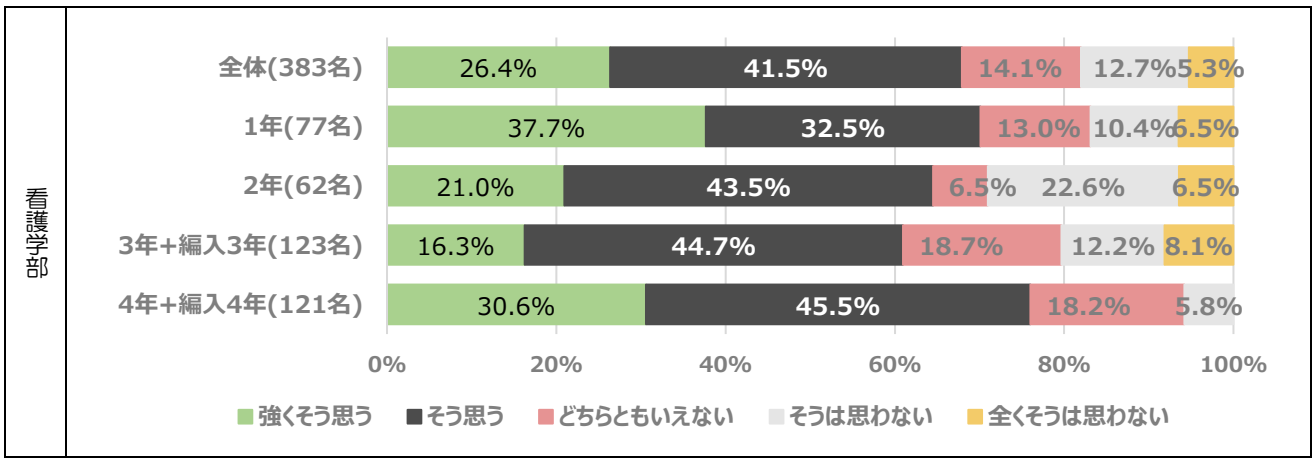


▶ 教育等に関する調査

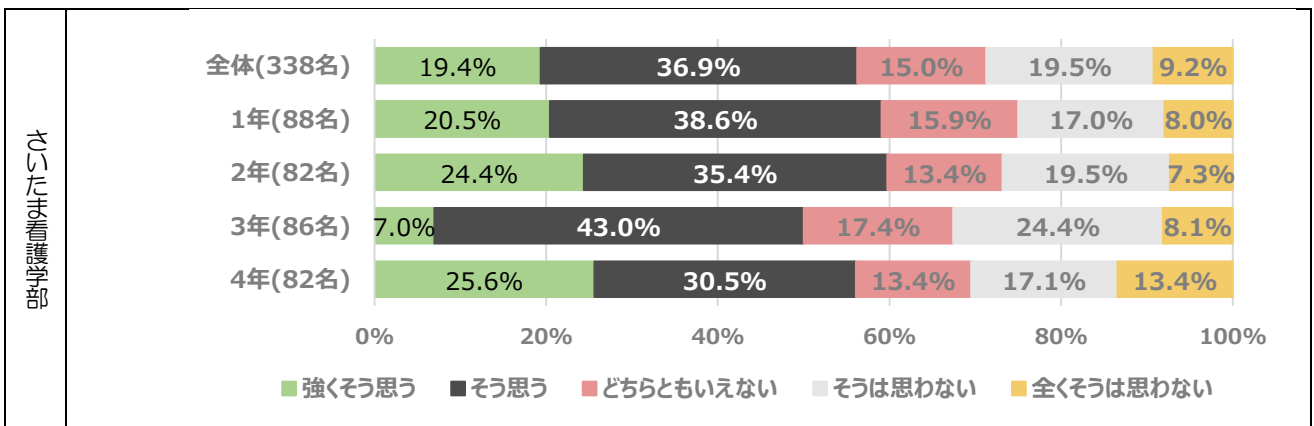
3-19 実習室は学習したい時間に自由に学習できる



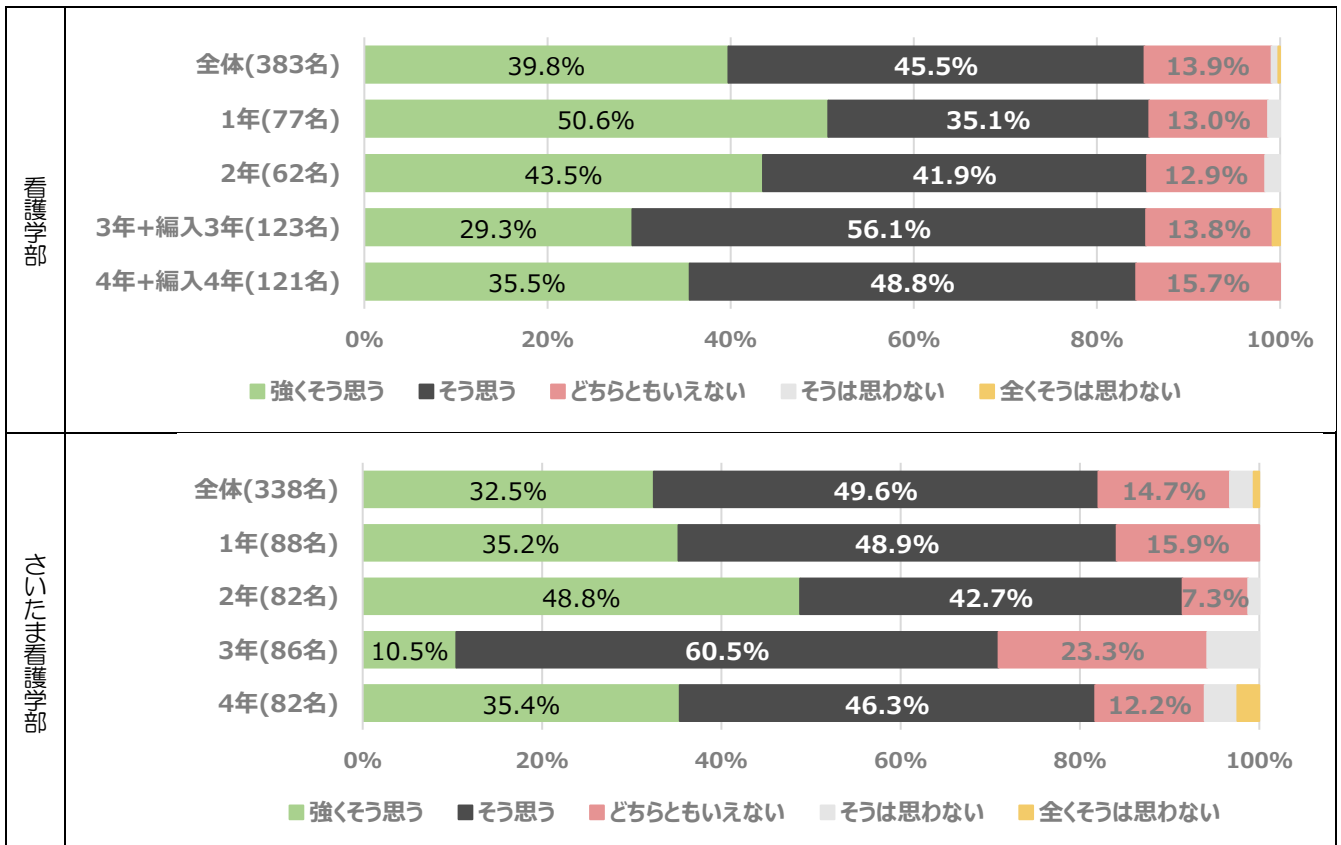
3-20 生協や食堂または自動販売機（食品販売機）のサービスに満足している（看護学部）



3-21 自動販売機（食品販売機）、生協無人販売所のサービスに満足している（さいたま看護学部）

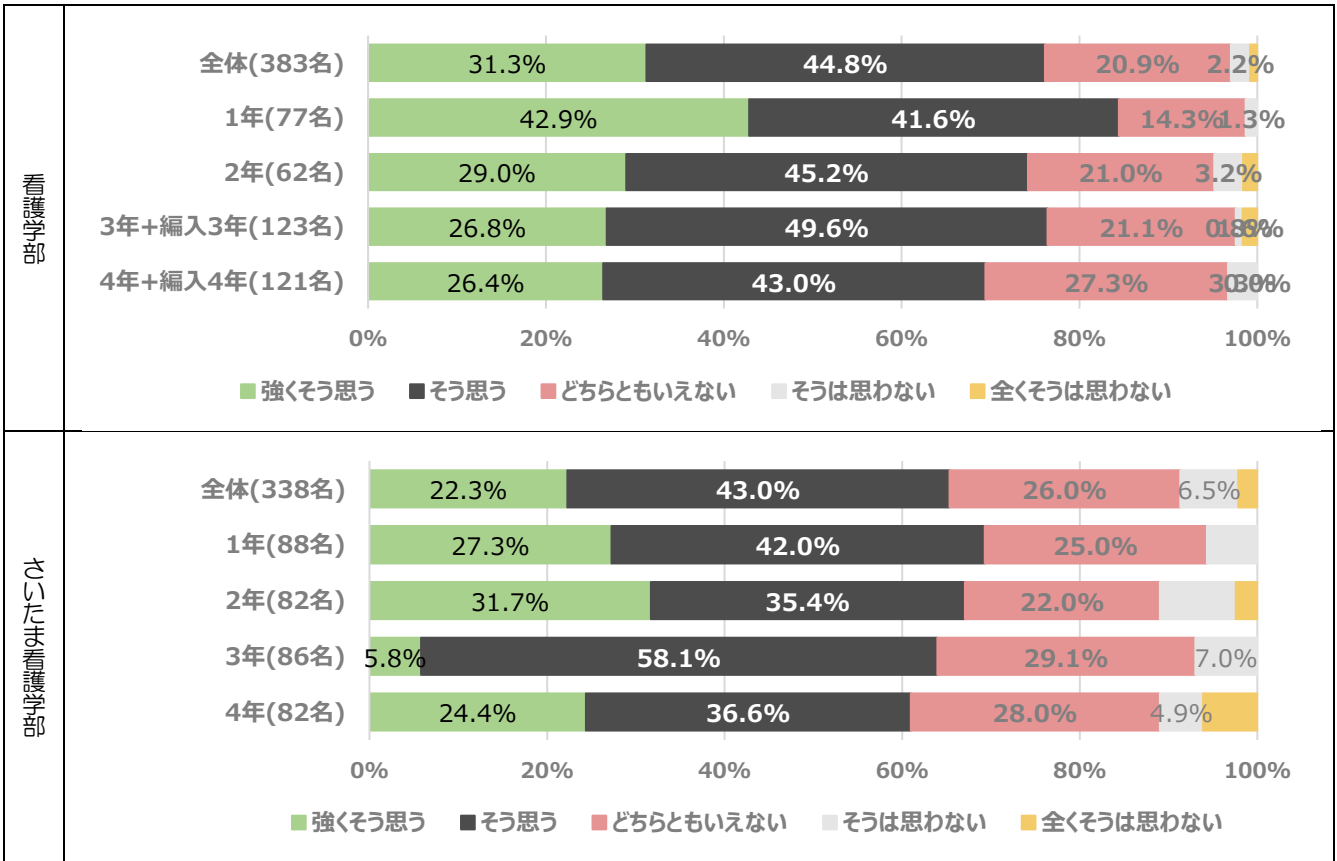


3-22 ハラスメント防止のための大学の体制や支援に満足している

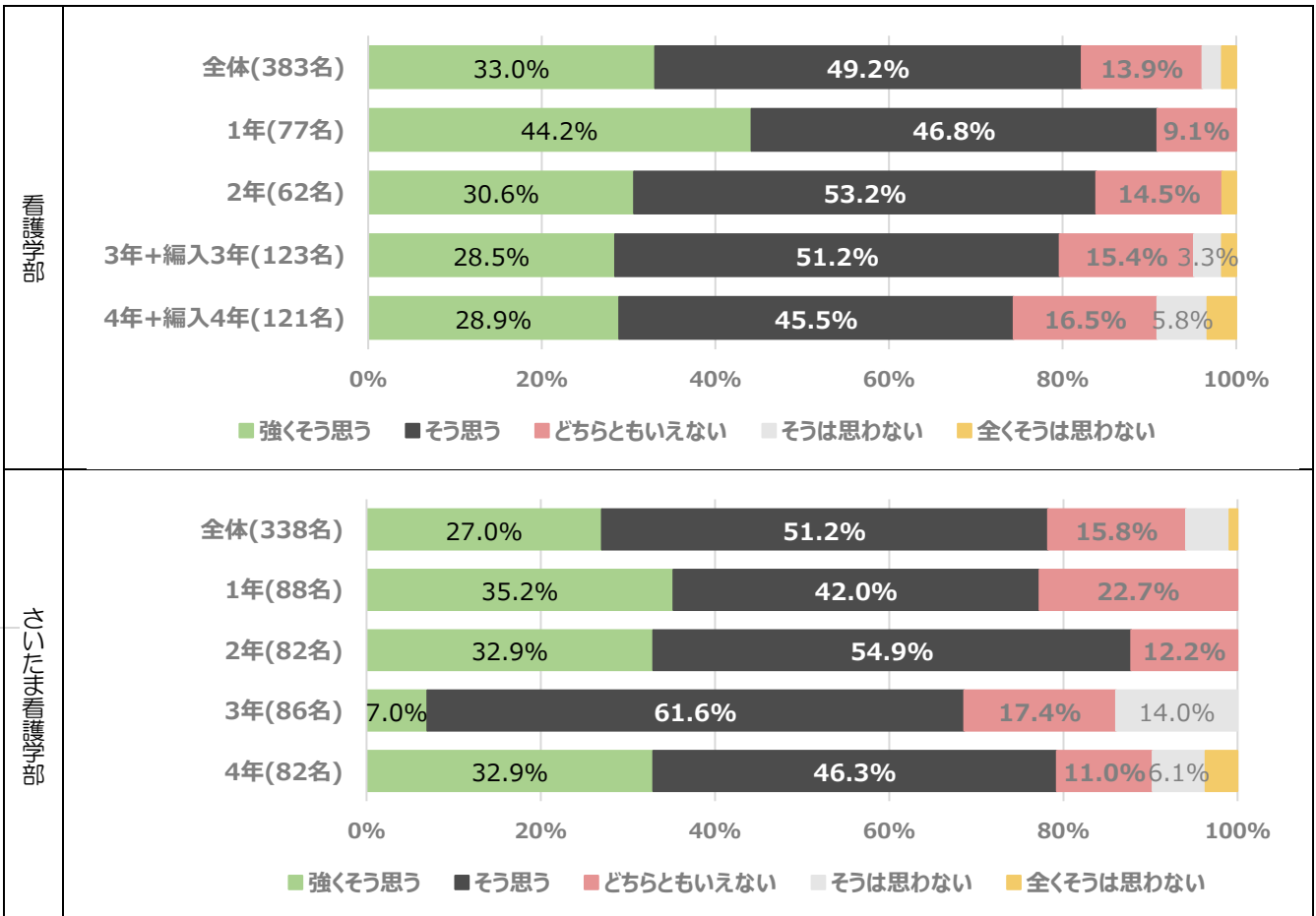


▶ 教育等に関する調査

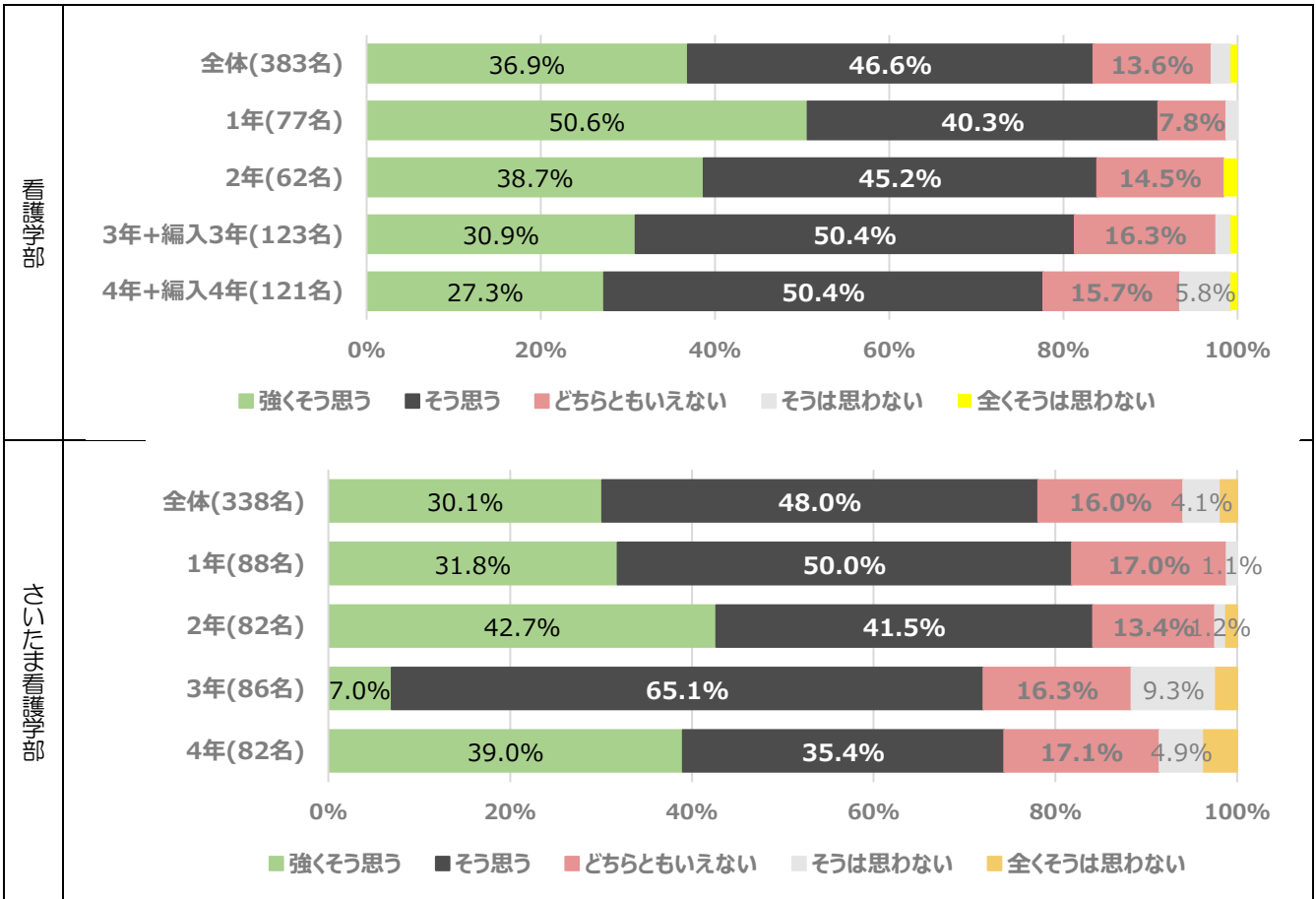
3-23 国際交流・留学に関する支援に満足している



3-24 就職・キャリアに関する支援に満足している

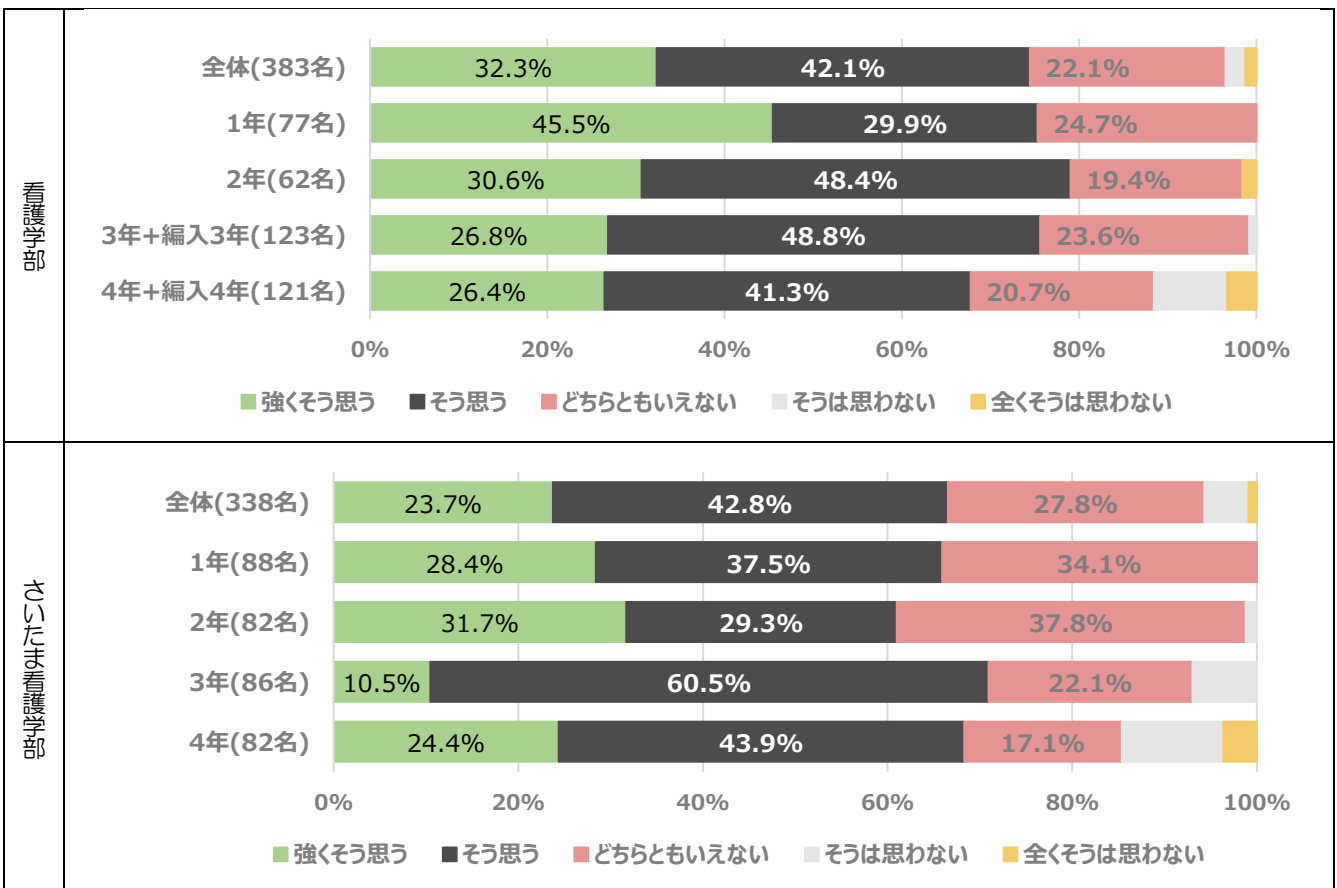


3-25 奨学金制度など経済的なサポートが充実している

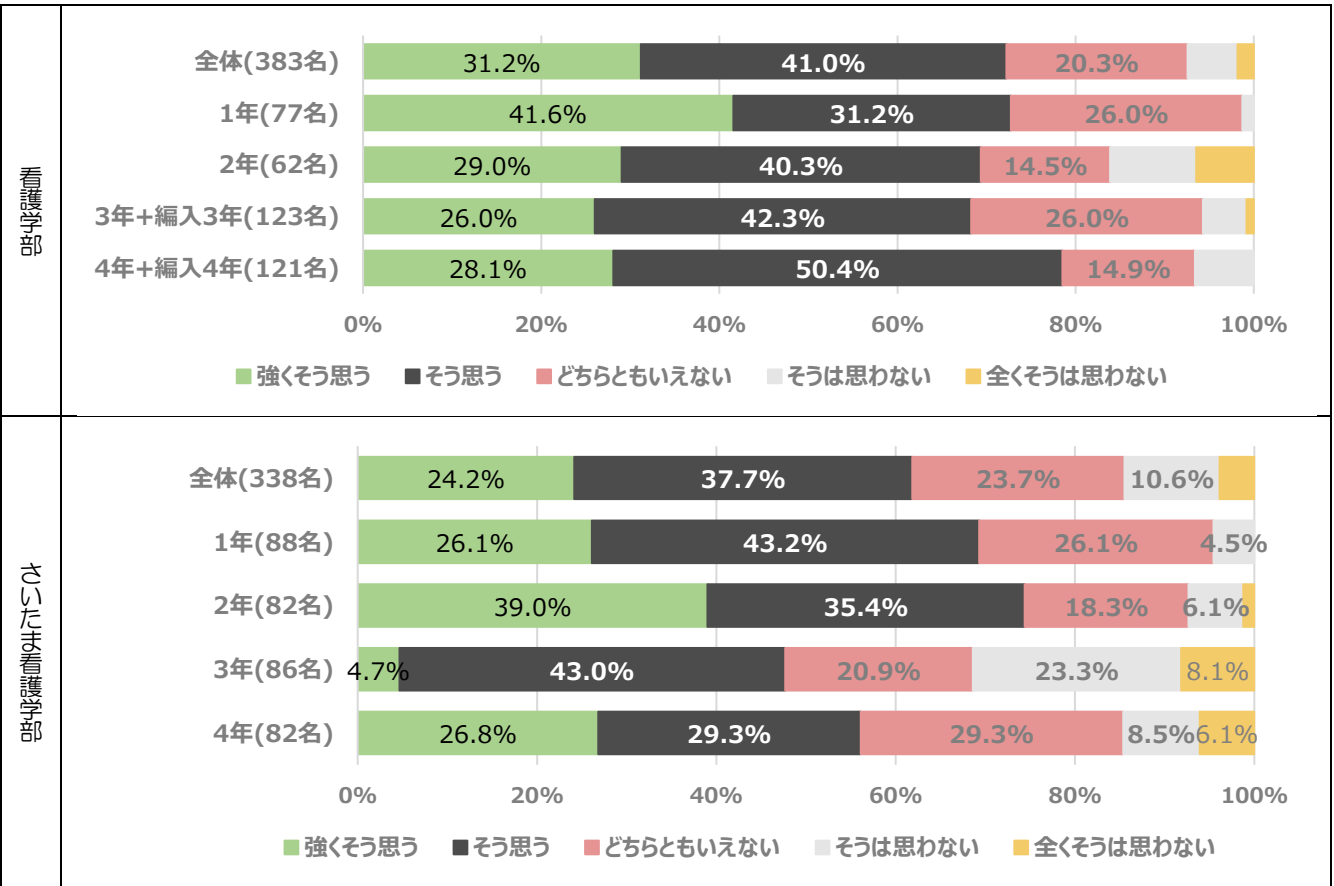


▶ 教育等に関する調査

3-26 国家試験に関する支援に満足している

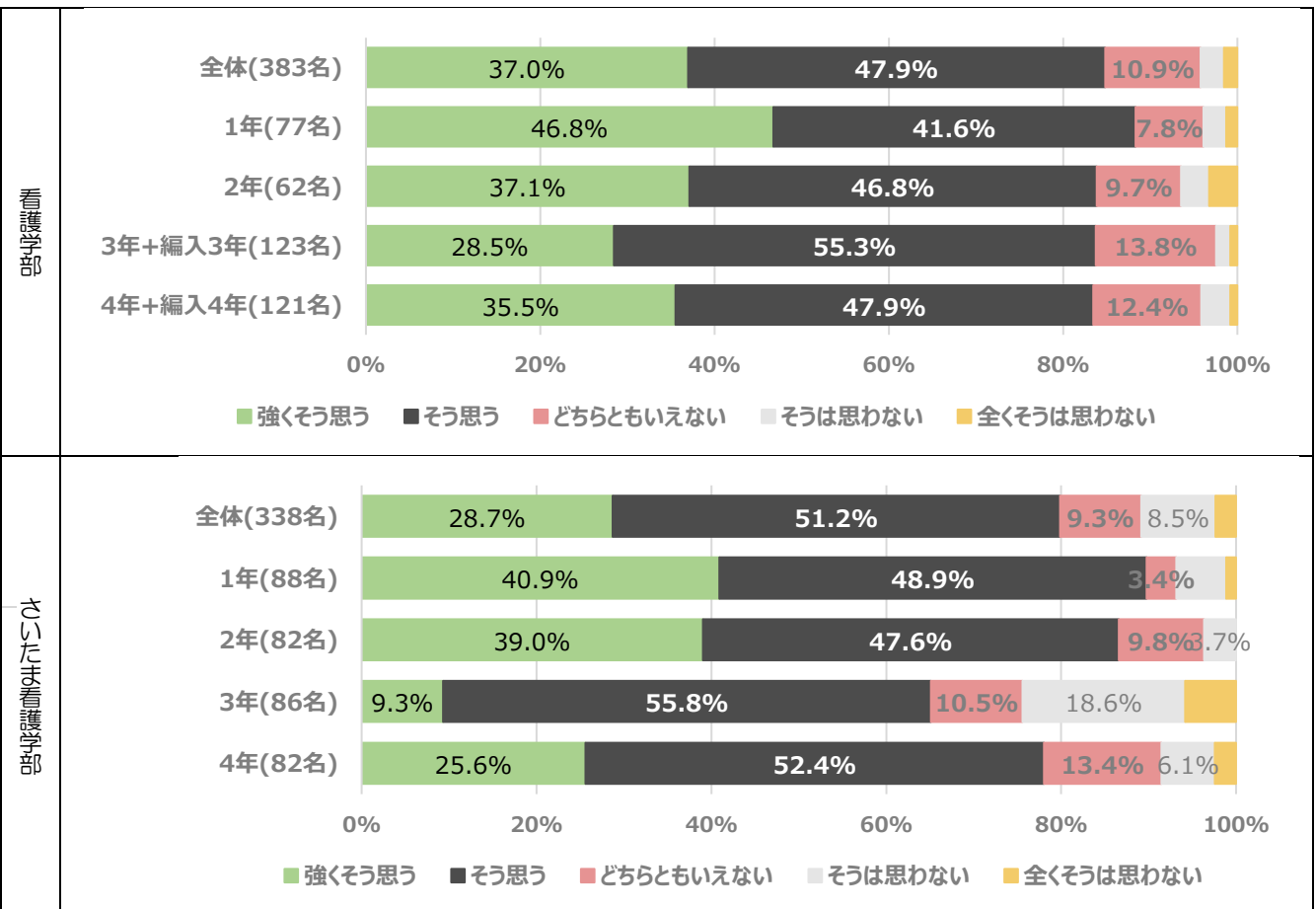


3-27 学生からの要望を即時的に聞き取るシステム（目安箱）に満足している

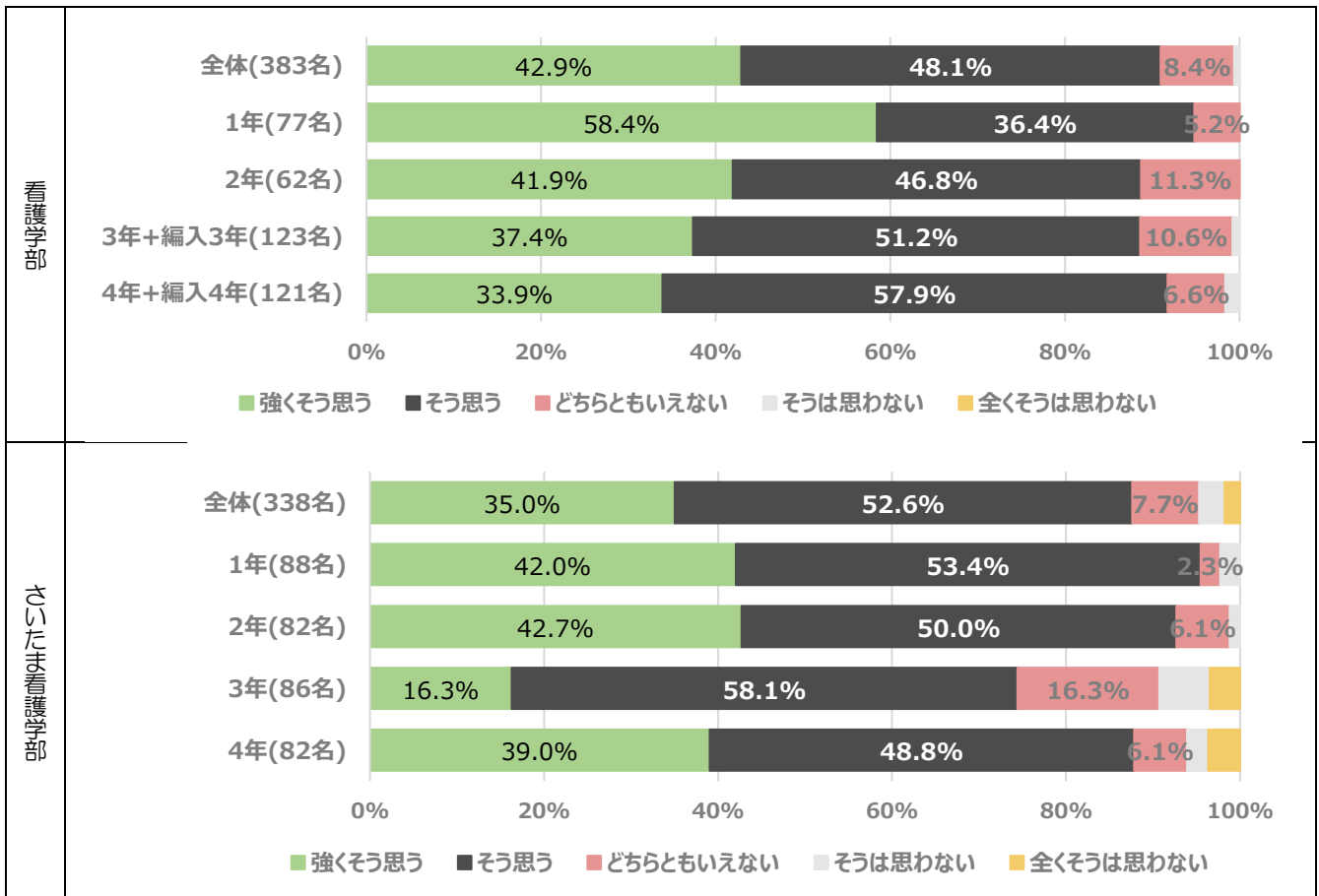


教育等に関する調査

3-28 一般的に施設・設備・教育器材に満足している

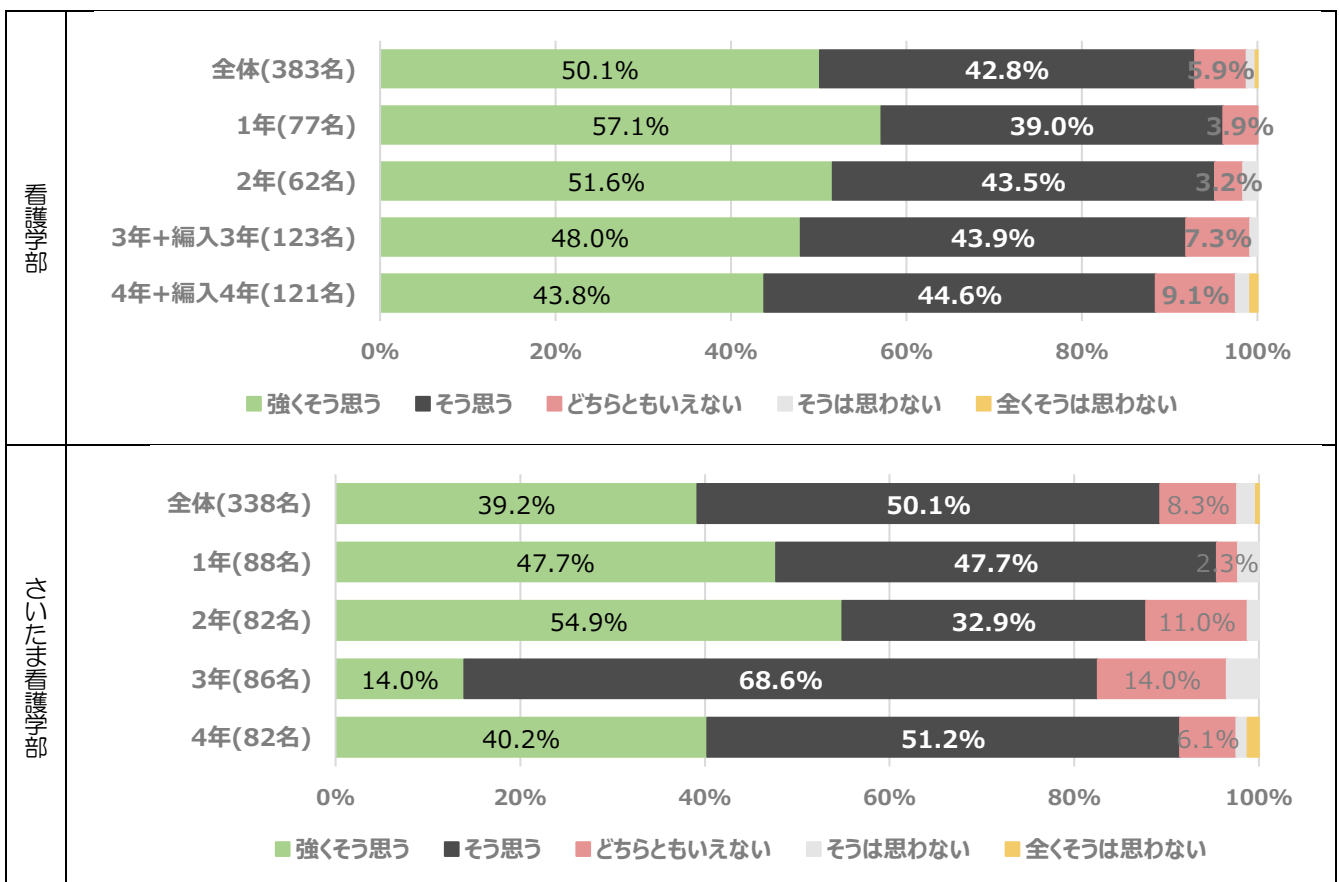


3-29 全般的に学生生活に満足している

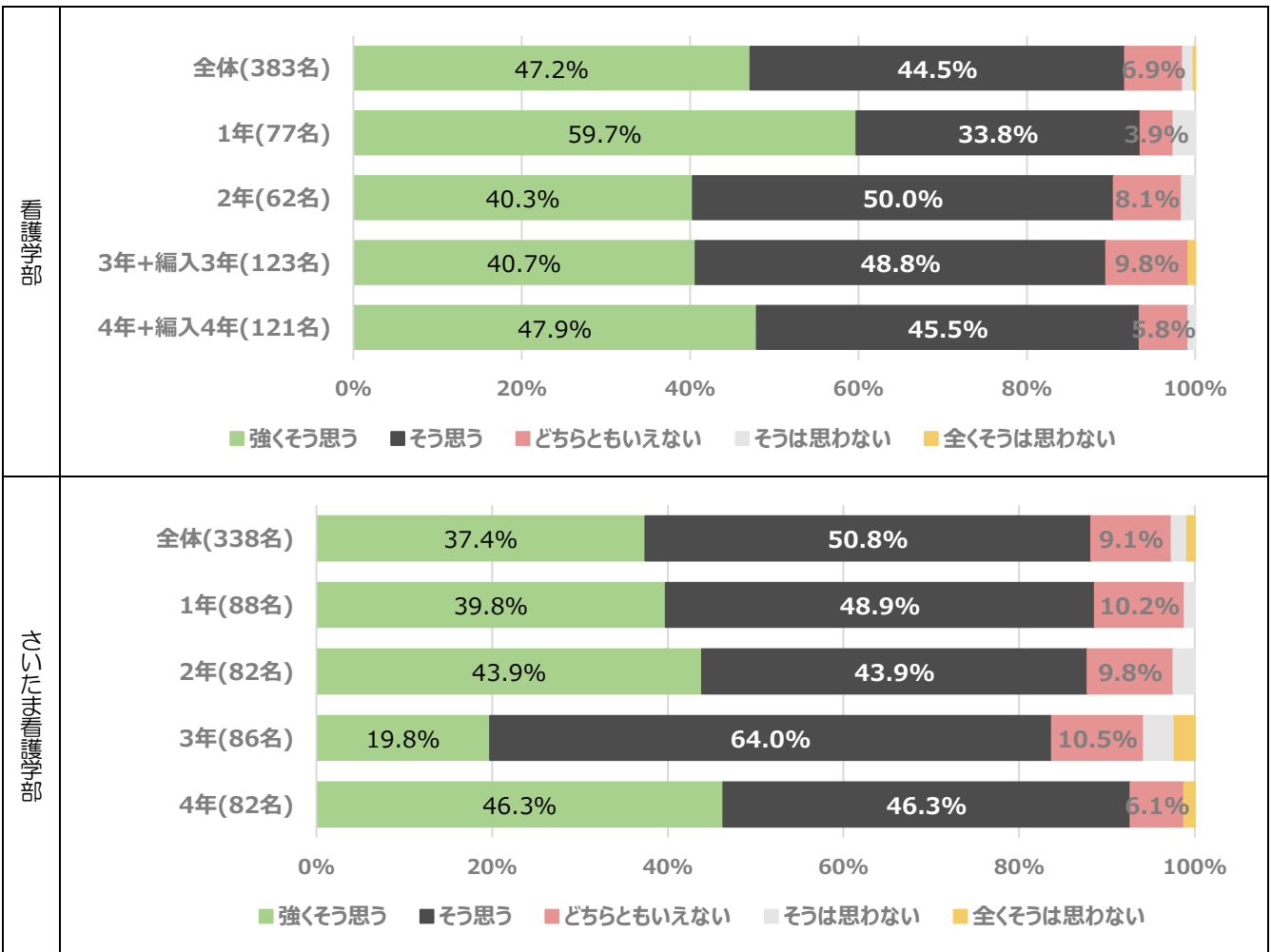


▶ 教育等に関する調査

3-30 本学に入学してよかったと思う

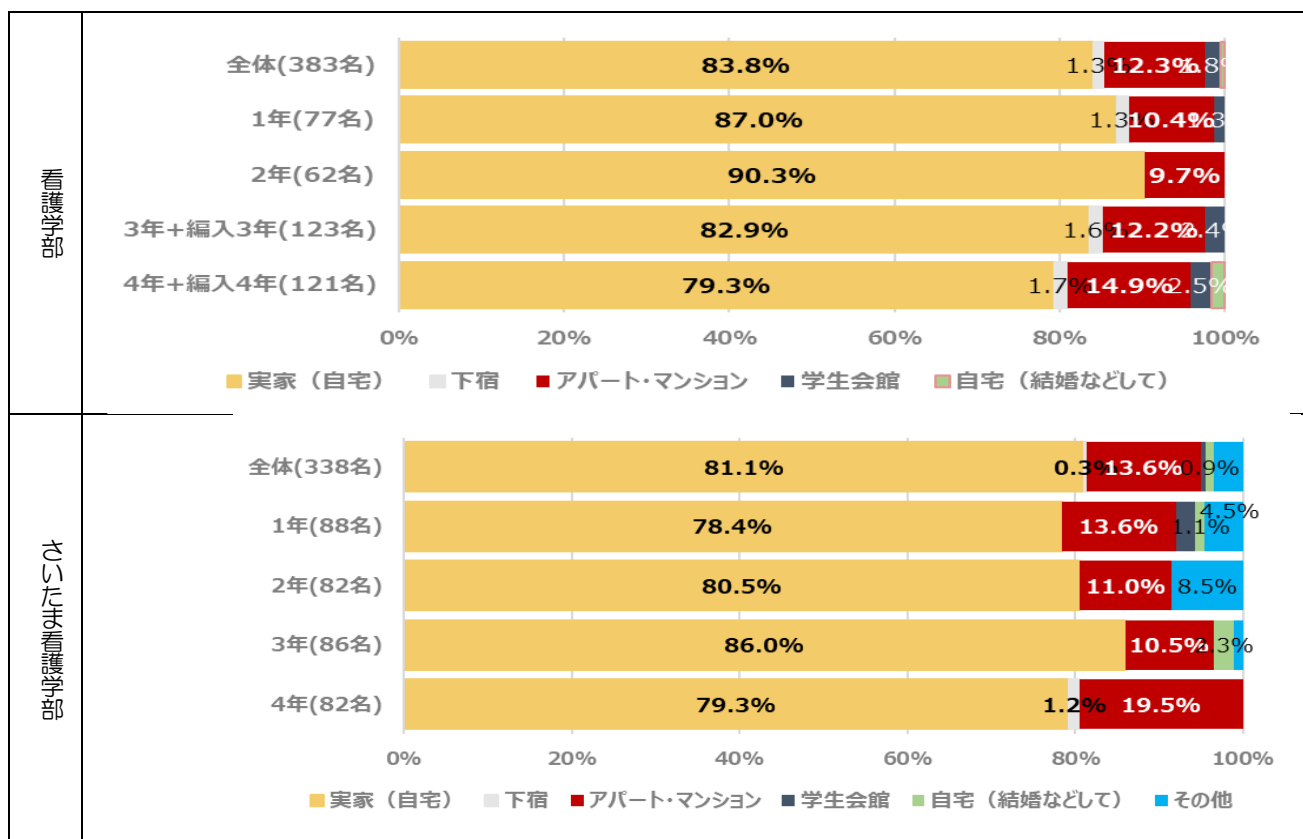


3-31 自分の成長を実感している



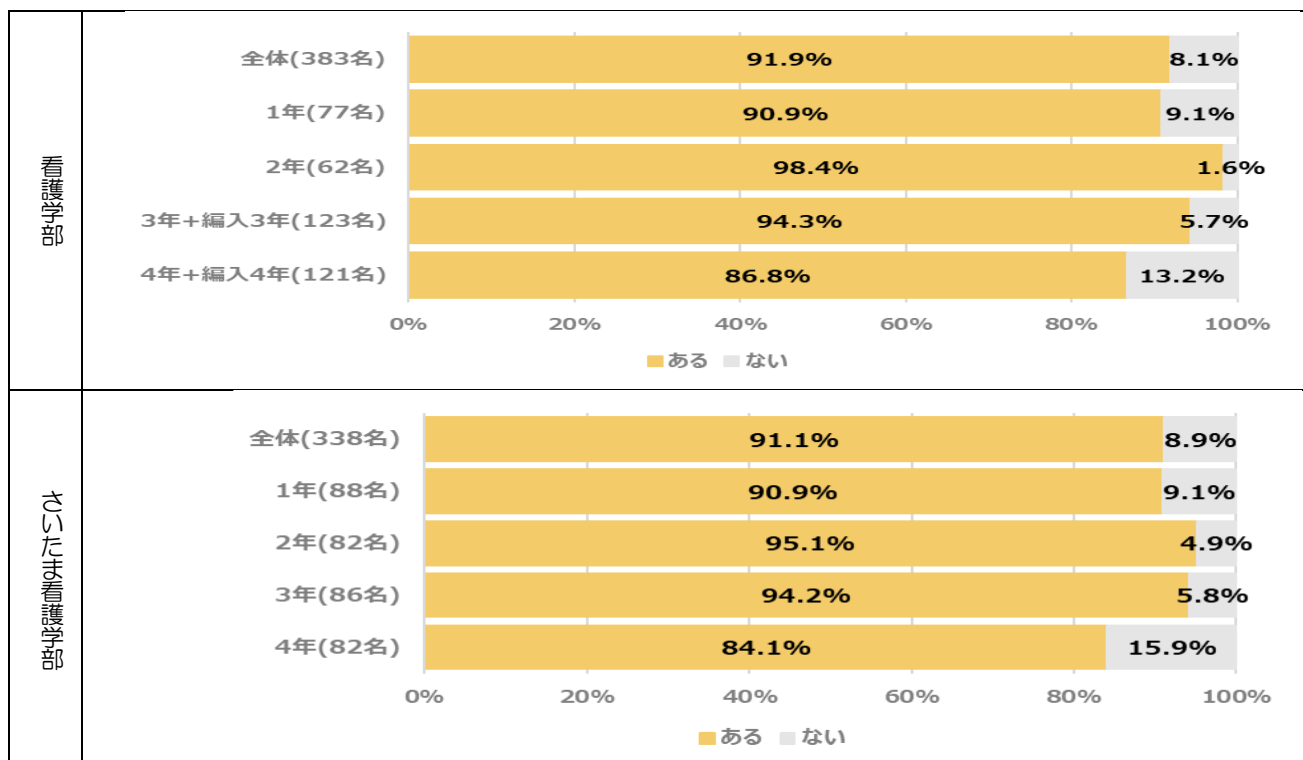
B 学生生活全般に関する調査

1-1 現在、住んでいる住居の種類はどれですか



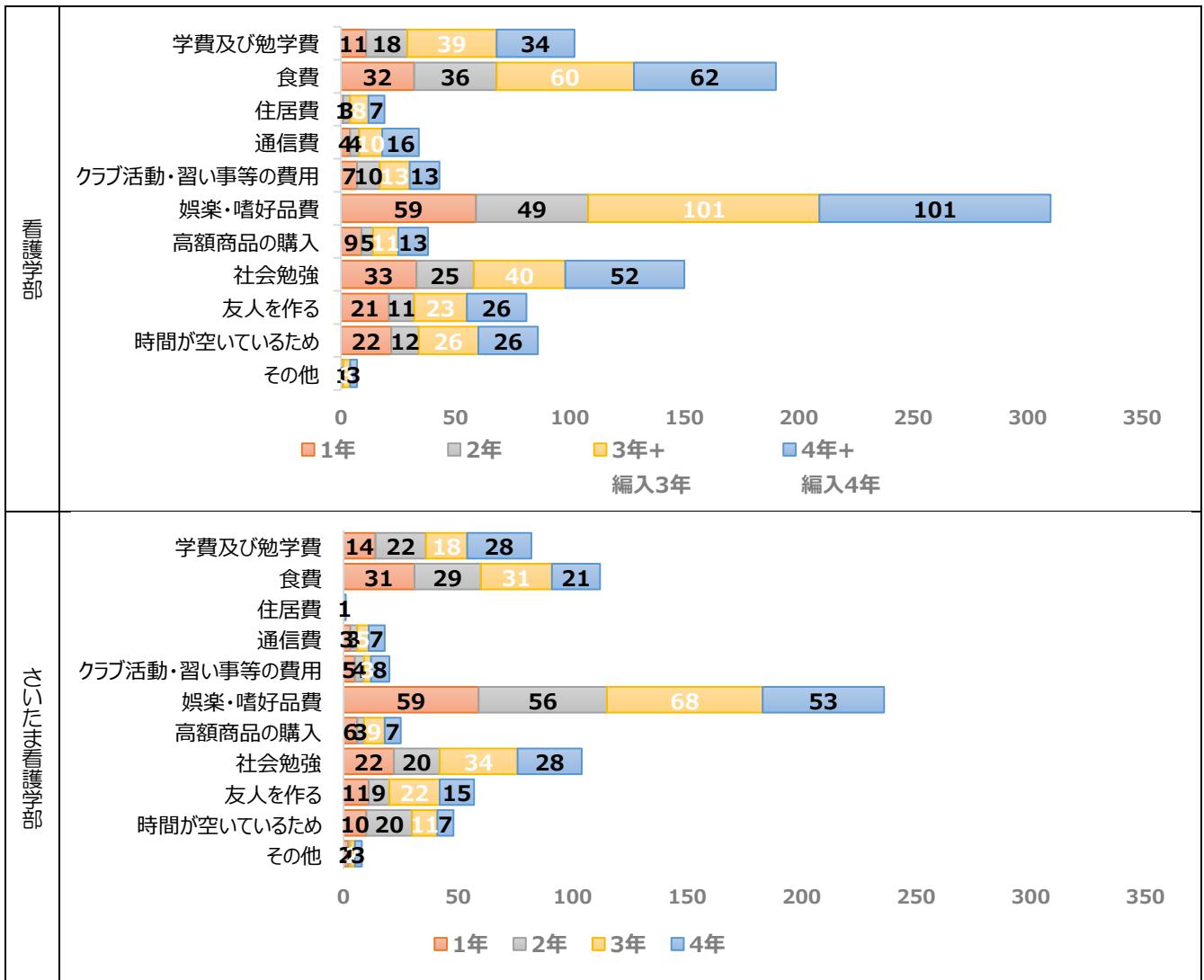
✓ 住んでいる住居の種類については、両学部ともに、全体の約8割が実家に住んでいると回答した。(1-1)

1-2 アルバイトによる収入



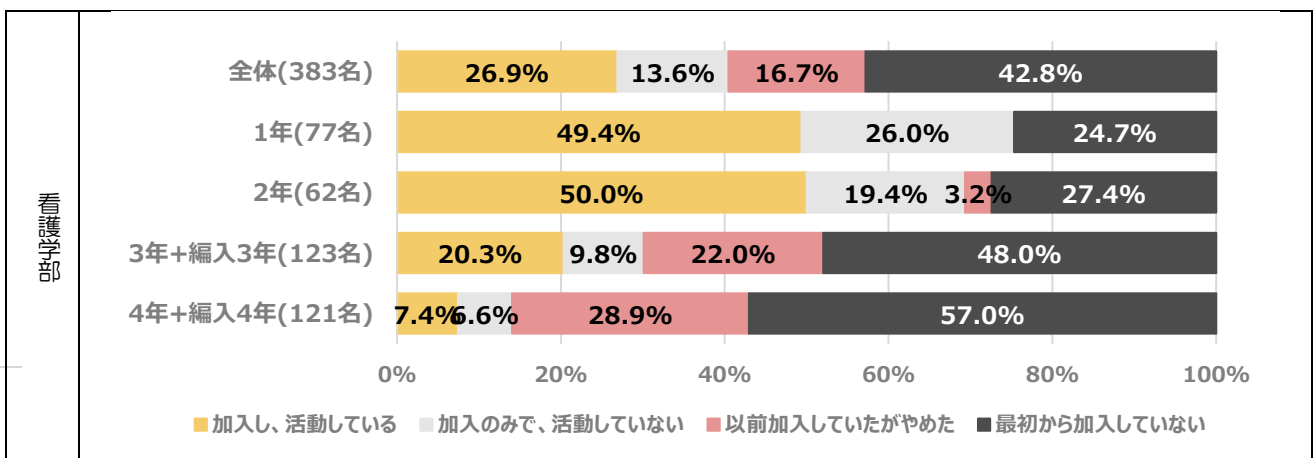
✓ アルバイトについては、全体の9割以上の学生がアルバイトによる収入があると回答した。(1-2)

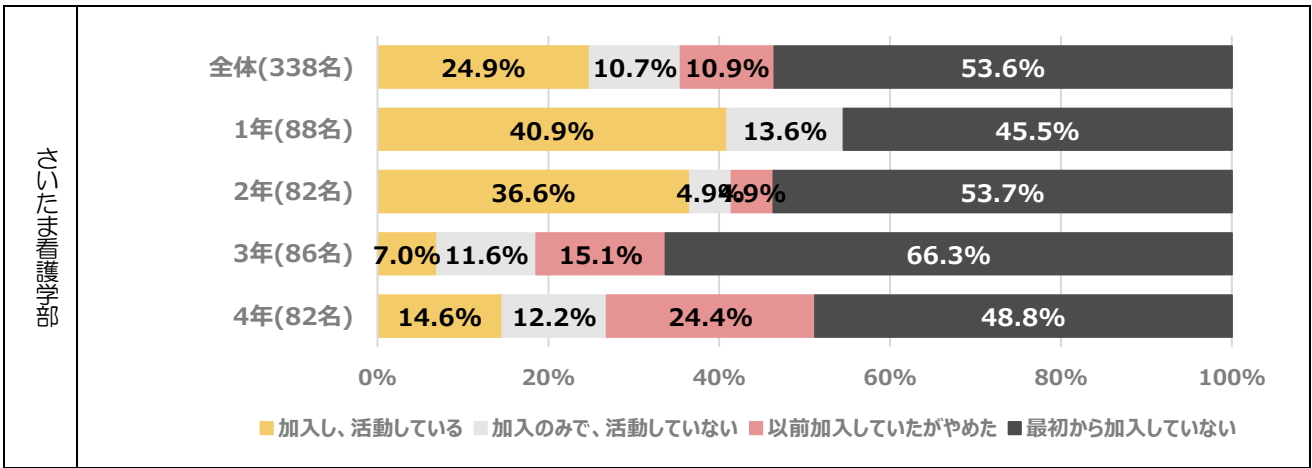
1-3 アルバイトの目的はなんですか。



✓ アルバイトの目的については、両学部とも趣味・嗜好品を購入するためのものが最も多かった。(1-3)

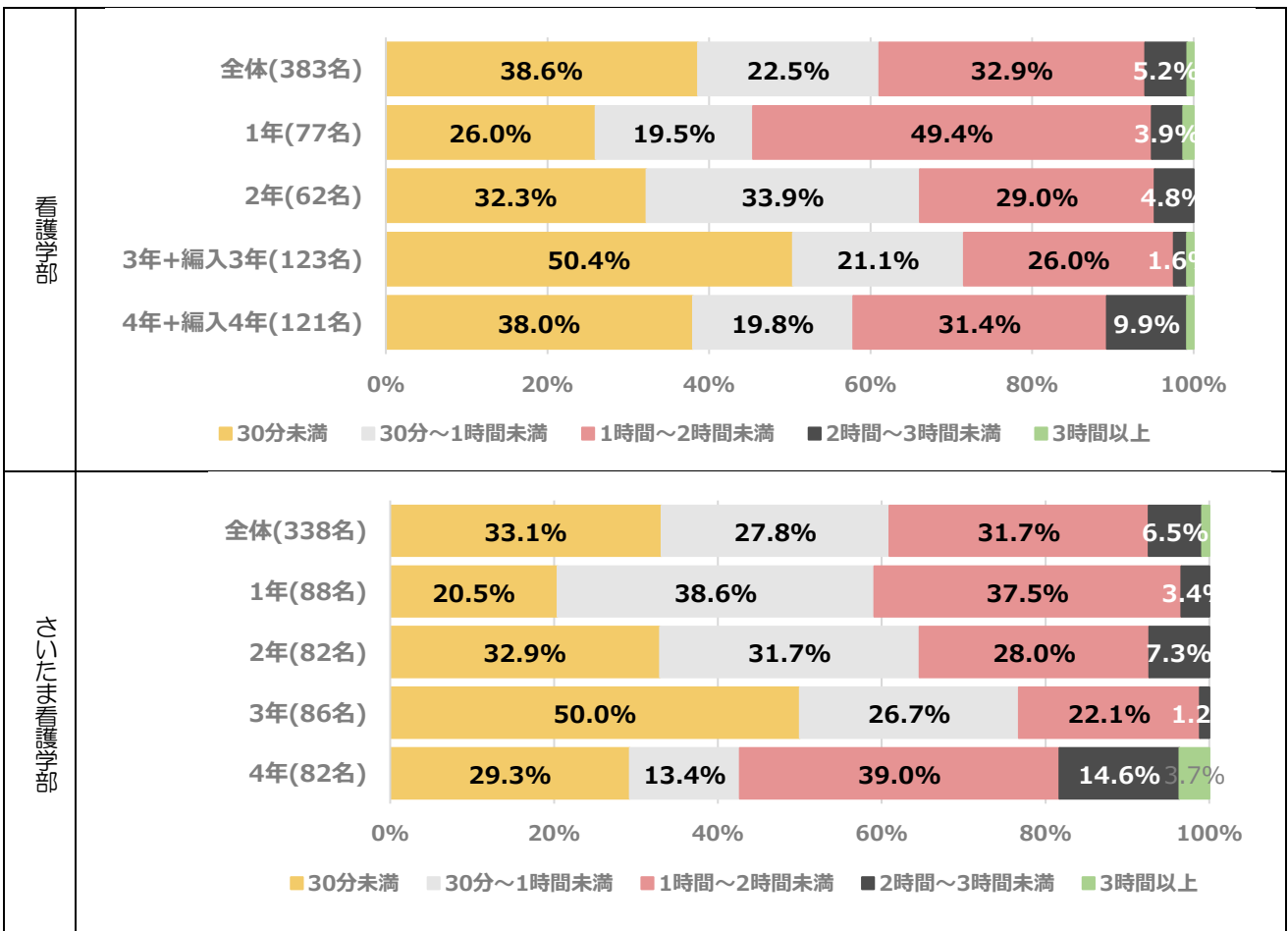
1-4 あなたは、現在、課外活動（学内・学外）に参加していますか。





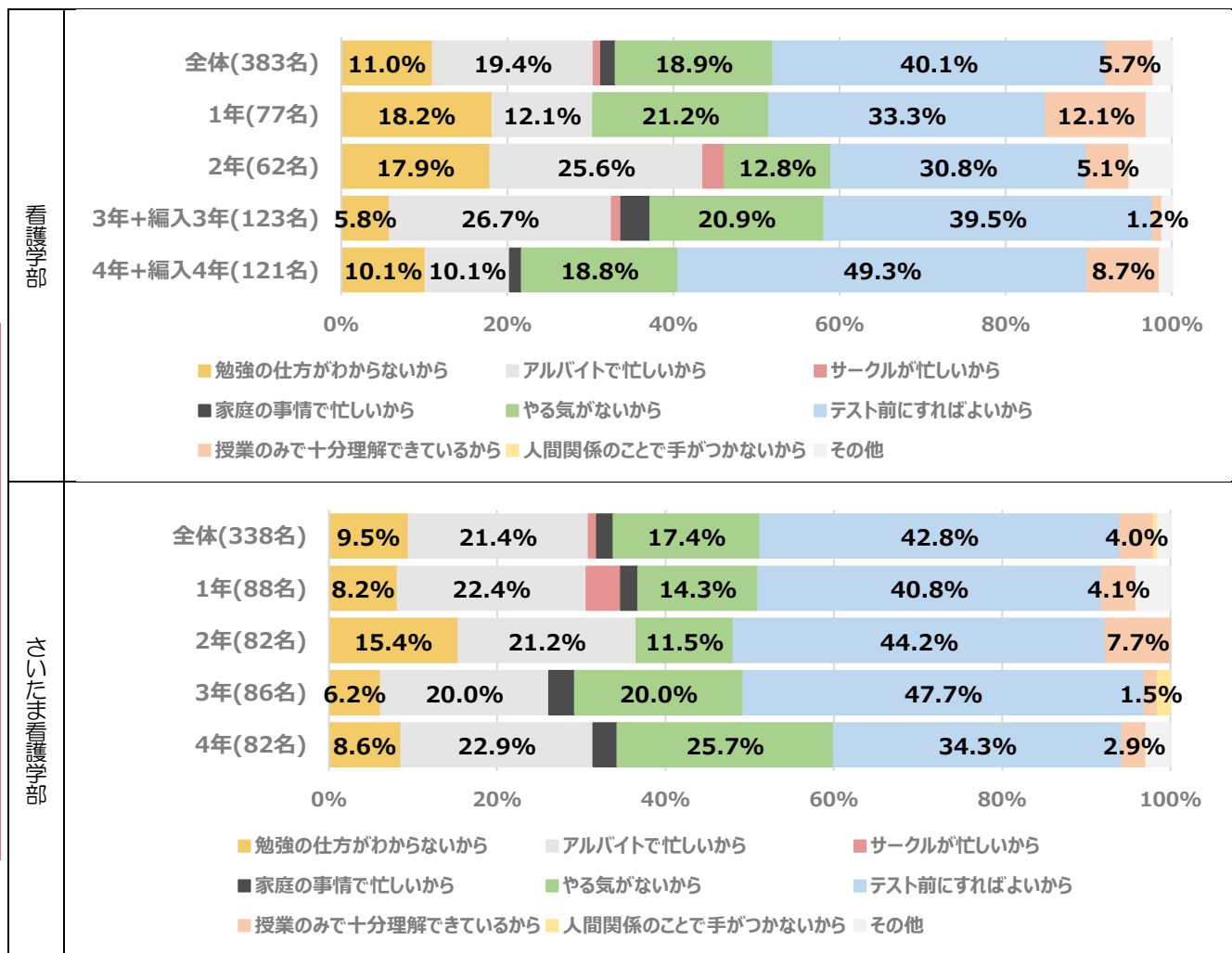
✓ 課外活動への参加については、全体の2~3割が「加入し、活動している」と回答している。両学部とも3年次に活動割合が減少している。(1-4)

1-5 普段時(実習がない期間)の学習時間(看護専門科目)



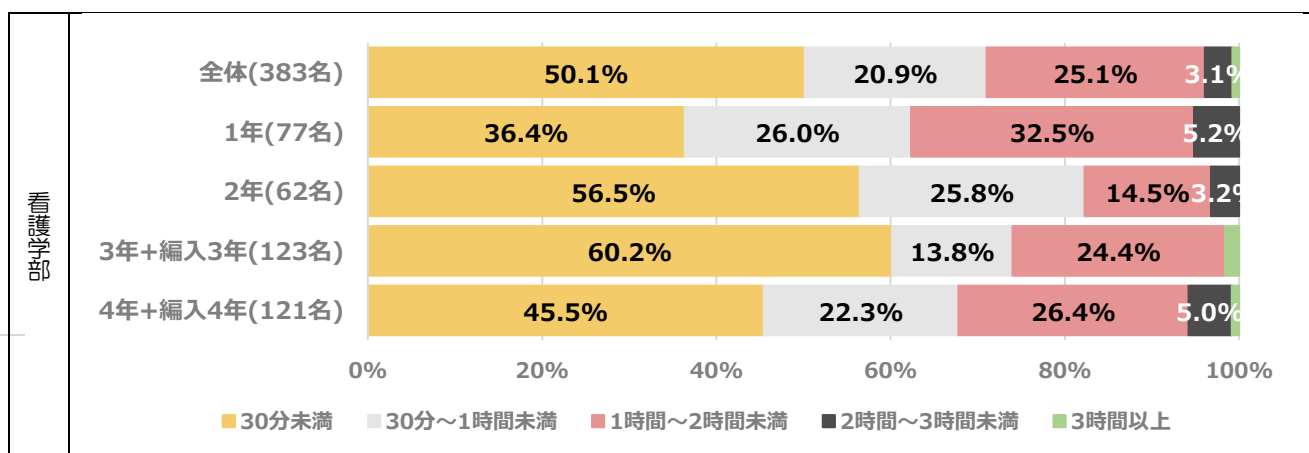
✓ 実習がない期間における看護専門科目の学習時間については、看護学部全体では「30分未満」3割強で最も多かった。1年生では「1時間~2時間未満」が約5割で最も多く、3年生までは学習時間が減少する傾向にある。両学部とも「30分未満」と回答したのは3年生が最も多かった(約5割)。(1-5)

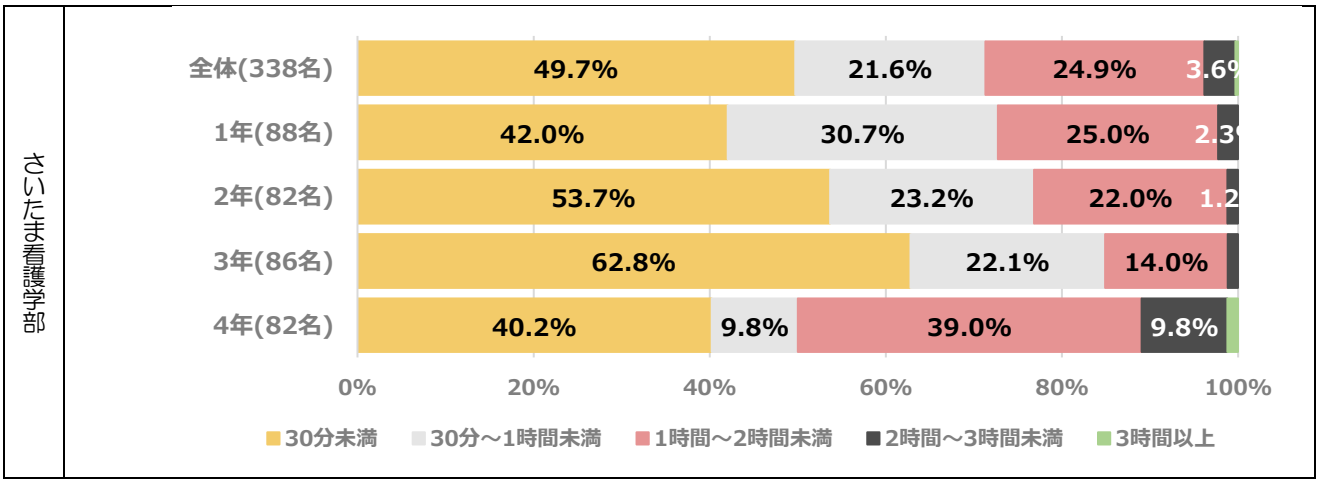
1-6 「看護専門科目」について、「学習時間」が「30分未満」「30分～1時間未満」と回答した学生への質問です。その理由として最も当てはまる1つをチェックしてください。



✓ 学習時間が1時間未満と回答した学生の理由は、両学部ともすべての学年を共通して、「テスト前にすればよいから」の回答者が最も多かった。(1-6)

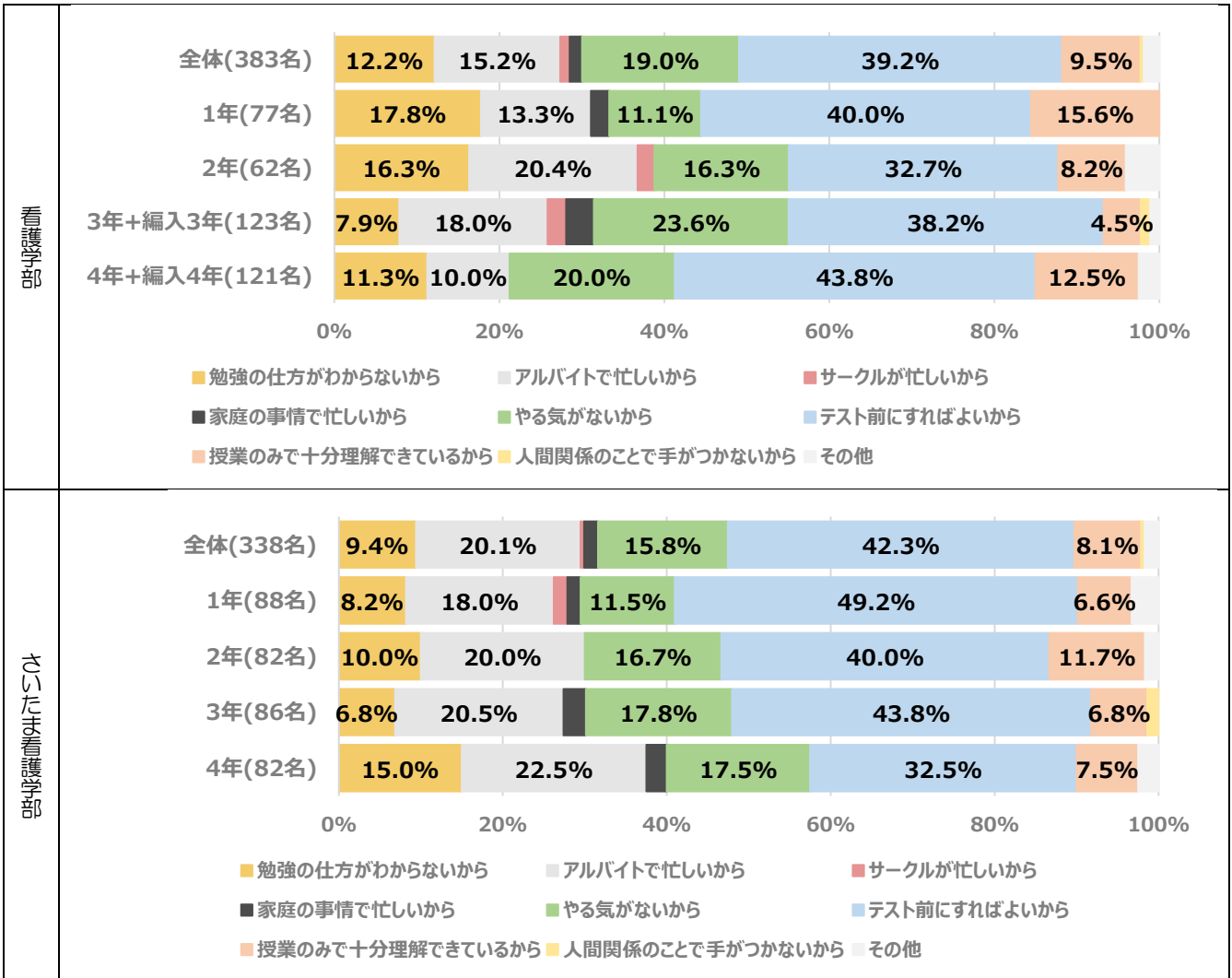
1-7 普段時（実習がない期間）の学習時間（基礎教養科目）





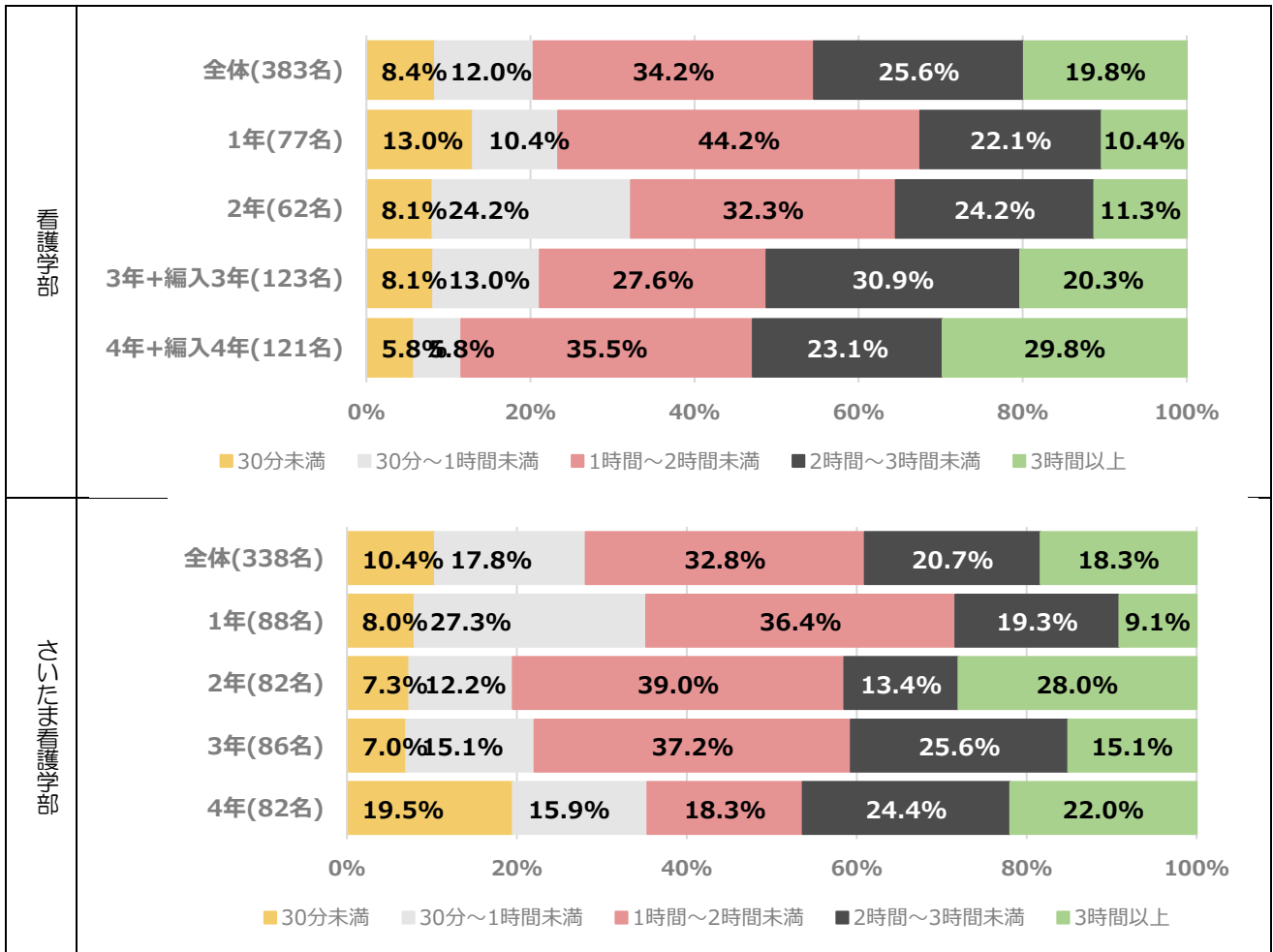
✓ 実習がない期間における基礎教養科目の学習時間については、看護専門科目同様両学部とも共通して、「30分未満」と回答した者が多く、看護専門科目よりも割合が高かった。また、「30分未満」と回答した者が3年生が最も多かったことも看護専門科目同様であった（1-7）

1-8 「基礎教養科目」について、「学習時間」が「30分未満」「30分～1時間未満」と回答した学生への質問です。その理由として最も当てはまる1つをチェックしてください。



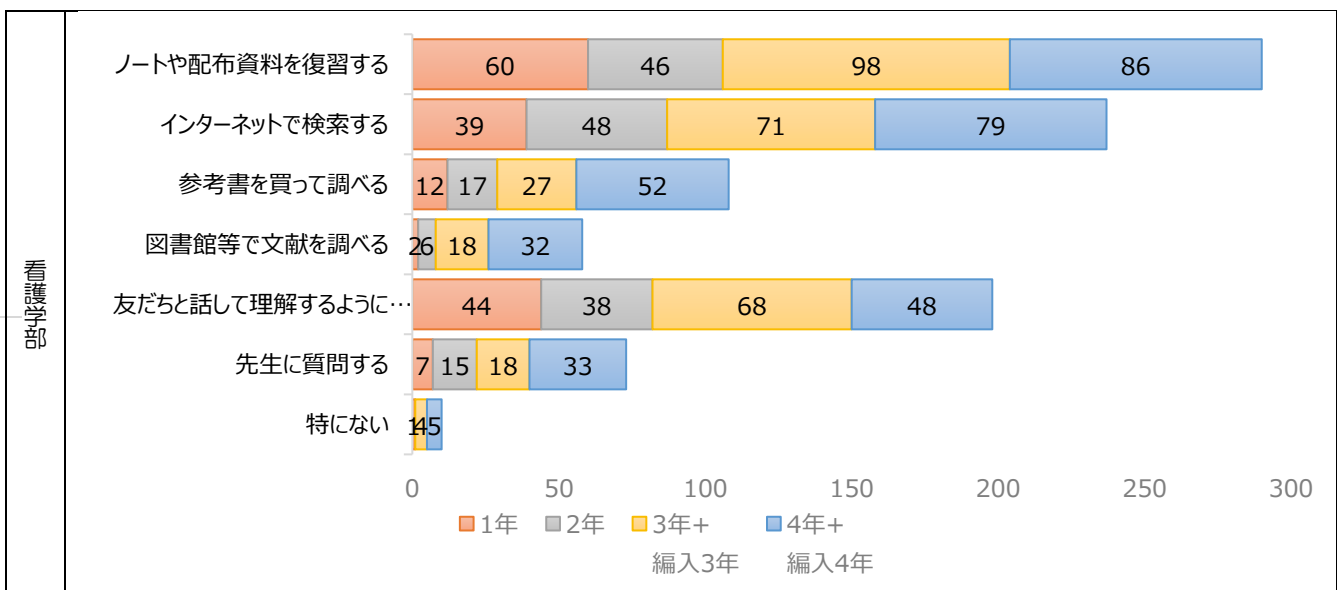
✓ 学習時間が1時間未満と回答した学生の理由は、看護専門科目と同様両学部ともすべての学年に共通して「テスト前にすればよいから」という回答が最も多かった。（1-8）

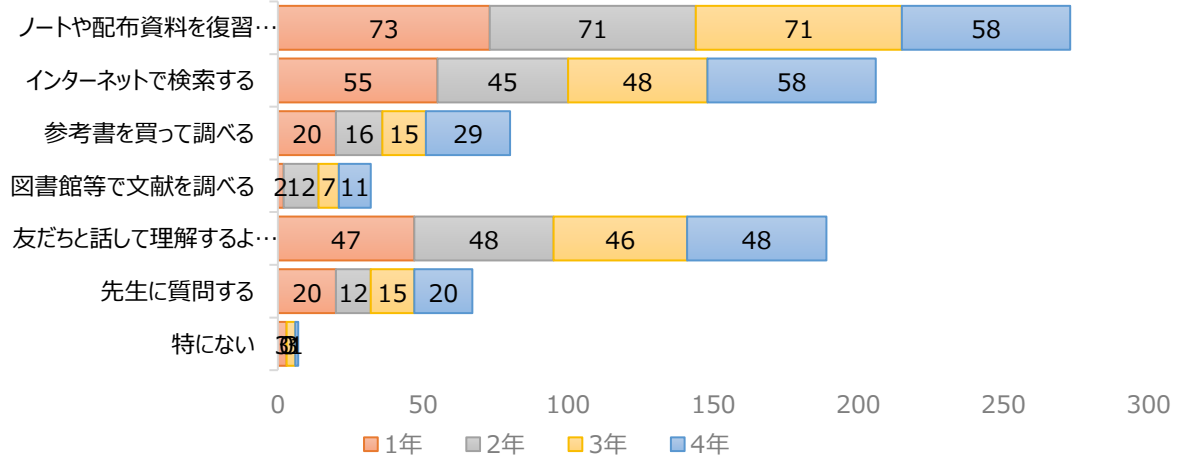
1-9 実習がある期間の学習時間



✓ 実習がある期間の学習時間は、実習がない期間の学習時間と比較し全体で長くなり、両学部ともに「1時間～2時間未満」の回答が最も多かった。看護学部では「3時間以上」の割合が学年が上がるにつれて増加している。(1-9)

1-10 あなたは授業をよく理解するために、どのような勉強の仕方をしていますか。該当する項目全てをチェックしてください。(複数回答)





- ✓ 授業をよく理解するための勉強の仕方については、両学部とも共通して、「ノートや配布資料を復習」、「インターネットで検索」、「友達と話して」が上位3位を占めていた。(1-10)